令和５年度

事　業　報　告

社会福祉法人
目黒区社会福祉事業団

目　　次

Ⅰ　総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　法人運営

第１　法人組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第２　施設概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第３　事務局　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ⅲ　施設の事業概要

第１　特別養護老人ホーム　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

第２　在宅ケア多機能センター　・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

第３　ケアプランセンター　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

第４　心身障害者センター　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

第５　かみよん工房　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

第６　大橋えのき園　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

第７　下目黒福祉工房　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92

第８　みどりハイム　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99

第９　西部包括支援センター　・・・・・・・・・・・・・・・・・107

別紙　事業報告の附属明細書について

Ⅰ　総括

当事業団では、平成 30 年 2 月に第三次経営計画（平成 30 年度～令和 10 年度）を策定し、目黒区の地域福祉の増進を目指し、多様に変化する地域のニーズや福祉事業を取り巻く環境の変化を的確に捉え、自立に向けた事業の拡大を行うとともに、新たな課題に取り組んできました。

しかし、令和 2 年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の影響及びその後生じた国際情勢の変化に伴う光熱費をはじめとする物価の上昇などの影響は令和 5 年度の利用者サービス、事業運営にも大きく影響を及ぼしました。

新型コロナの取り扱いが令和 5 年 5 月には「2 類相当」から「5 類」に移行されるなど収束に向かう流れが加速しましたが、当事業団では重度化リスクのある方が多く利用されていることから、感染対策を継続して予防に努めました。しかし、残念ながら、特別養護老人ホーム（以下、「特養ホーム」という。）においては、依然として集団感染が度々発生することとなり、その対応に追われました。

このような状況の中、施設での日常的な介護、支援及び行事、地域活動も一定の変更、制限等をせざるをえませんでしたが、一方で施設、職員の工夫により代替策を講じ実施するなど、できるだけ利用者サービスの質や地域活動を維持できるようよう努めました。

特養ホームでの集団感染の発生に伴う利用率の減少や前年から続く物価の上昇、高止まり傾向など運営面の影響は数年来続いており、当事業団の財務基盤の立て直しに向け、令和 4 年度に立ち上げたプロジェクトチームでの検討並びに目黒区との協議を、令和 5 年度においても継続して行いました。検討、協議において取りまとめた結果を計画的に行うため、現行の第三次経営計画を令和 6 年 3 月に改定し、今後は、安定した法人、事業運営の早期の回復に向けて、法人、各施設、事業において、改定後の「第三次経営計画」の取り組みを着実に進めていきます。

また、令和 5 年度は、新たな事業として、障害者グループホーム「目黒区立のぞみ寮」の公募に応募し、当事業団が指定管理者として選定されました。同施設の令和 6 年度からの円滑な運営開始に向け、1 月から前事業者からの引継ぎ及び準備を着実に進めました。

上記の他、「第三次経営計画」で重点的な課題として掲げた4つの事項についての主な取り組みの成果及び新型コロナの発生の経緯及び対応については以下のとおりです。

1　個人の尊厳を大切にし、満足していただける安全・安心なサービスの提供

第三次経営計画の経営目標に従って、それぞれの施設・事業において「人権尊重の理念に基づいたサービス提供」や「一人ひとりの立場や個性を大切にし、自立した生活につながる支援」への取り組みを進めました。

新型コロナの取り扱いは 5 類に移行しましたが、重度化リスクのある方が多く利用されている当事業団の各施設、事業では感染予防対策を継続して実施しました。

高齢者施設では、人権委員会で、「人権・サービス評価表」及び「虐待の芽チェックリスト」を活用し、課題の把握と改善に努め、施設内では情報を共有し、人権意識の向上を図りました。

障害者施設では、コロナ禍のため休止又は縮小していた宿泊体験や施設のお祭り等の行事を再開するなど、できるだけコロナ禍以前のサービス内容に戻せるように努めました。

みどりハイムでは、児童虐待防止マニュアルに沿って、母子の様子を適切に把握し、状況に応じて母子の関係調整や子の保育を行うなど、虐待の予防、防止に努めました。

その他の施設・事業でも、定期的な人権研修の実施などにより、虐待防止を含めた人権尊重への

取り組みを継続しました。

2　区立施設としての役割を果たすとともに、地域共生社会の実現を目指す取り組み

新型コロナの影響等はありましたが、次のとおり計画の実現に向け取り組みました。

特養ホームでは、コロナ禍のため休止していた、地域交流スペースでの「地域はつらつセミナー」、「地域交流サロン」、「会食サービス」等の地域交流事業を再開させました。

在宅ケア多機能センターでは、定期的に運営推進会議を開催し、ご家族や地域の関係機関、団体の方々から、地域の行事の予定、実施状況等を確認し、新型コロナの動向を確認のうえ、行事への参加や施設でのボランティアの受け入れを行いました。

ケアプランセンターでは、利用者サービスの充実と収支改善を図るため、3 か所の事業所を 2 か所に集約しました。

心身障害者センターでは、目黒区が設置している「目黒区立のぞみ寮」（知的障害者グループホーム）の指定管理者の公募に事務局と連携し応募し、次期指定管理者に選定されました。

かみよん工房では、区内施設の除草作業やチラシの封入作業、記念品用羊毛フェルトの大量注文等、単発で納期の短い作業も積極的に受注し、就労支援事業収入を向上させました。

大橋えのき園では、地域参加の促進とオリジナルブランドの enone（エノン）商品の販路拡大を目指して、地域のイベント 8 か所に出店し販売を行い好評を得ました。

下目黒福祉工房では、利用者の高齢化等に対応するため、希望や障害の特性に合わせた活動内容の見直しを行い実施したところ、１日当たりの平均利用率は過去最高の約 94％となりました。

みどりハイムでは、コロナ禍のため休止していた、「ママのためのヨガ教室」（保育付き）を特別養護老人ホーム中目黒で再開しました。

西部包括支援センターでは、地域の高齢者の新たな居場所づくりとして、地元の寺院の協力（場所提供）、地域住民の賛同者を得て、「寺子屋やくも」の活動を開始することができしました。

3　質の高いサービスを安定的に提供できる人材の確保・定着・育成

介護人材確保 PT を継続し、新卒等の職員の確保に努めました。若手介護士を中心とした採用チームにより、インスタグラム等の SNS を活用した情報発信、Web イベントへの出展を継続して行うとともに、対面型のイベントへの出展などコロナ禍後に再開が可能となった採用活動にも取り組みました。

また、就活生向け説明会、大学３年生以下向けの職場体験会等を実施し、新卒からの応募獲得に努め、新卒内定者に対しては Web 形式による内定者懇親会を行い、安定的な人材確保につなげました。

上記の結果、令和 6 年 4 月 1 日付け採用者は 23 名となりました。

中途採用においても、施設見学の一部再開、遠隔地からの応募に対応する Web 面接の導入など応募者の要望を踏まえて対応し、応募者獲得、採用につなげました。

また、多様な働き方に対応して業務や勤務時間等を限定した正規職員（サービス専門職 B）を試行導入し、募集を開始しました。

4　効率的で安定した事業運営と法人の経営基盤の強化

平成 29 年度に策定した第三次経営計画で、令和元年度から 10 年度までの収支計画を作成し、本部運営費補助金や高齢者施設の指定管理料の縮減、廃止に取り組むこととしていましたが、令和 2

年初頭に発生した新型コロナ及びその後に生じた国際情勢の変化に伴う光熱費高騰・高止まり、物価上昇などの影響により収支状況が大きく変化したため同計画の見直しが必要となりました。

そこで、令和４年７月に設置した「経営計画見直しPT（プロジェクトチーム)」及びその内容を具体化するため設置した「組織・人員配置見直しPT」、「人事給与制度見直しPT」を５年度においても継続し、具体的な検討を行ないました。また、補助金、指定管理料の見直しに向けても、令和４年度から区の関係所管と協議を開始し、５年度も引き続き協議を行いました。

その結果、利用率の向上、効率的な組織、人員配置の見直し等による収支改善策並びに本部補助金、指定管理料の見直しなどの協議が整い、同見直しを計画的に行うため、令和６年３月に第三次経営計画を改定しました。

なお､自主事業のケアプランセンターについては､利用者サービスの充実と収支改善を図るため、３か所の事業所を２か所に集約することとし、令和５年５月末で東が丘ケアプランセンターを廃止しました。

◎ 新型コロナの発生数及び対応状況等

新型コロナにつきましては、当法人でも令和２年４月の発生以来、目黒区をはじめとする各関係機関との連携、支援を受け感染予防に努めてきました。

同感染症の取り扱いは、令和５年５月からインフルエンザ等と同様の「第５類」へ移行となりましたが、重度化リスクを抱える方が多く利用されている施設を運営する当法人といたしましては、従前と同様に感染予防対策を継続しました。

なお、高齢施設での利用者へのご家族の面会等につきましては、ご家族からの要望等もあり、感染拡大の状況等により段階的に緩和しています。

これまでの感染者の発生状況及びワクチン接種、PCR検査等の実施状況は以下のとおりです。

１　感染者数

令和２年４月１日からの発生から令和６年３月末までの感染者数は下表のとおりです。

区分＼年度別		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	合　計
高齢施設	利用者	14	38	150	93	295
	職員	8	44	139	112	303
障害施設	利用者	0	15	37	10	62
	職員	2	15	32	21	70
合　計	利用者	14	53	187	103	357
	職員	10	59	171	133	373

※感染者の発生に関する情報は、発生の都度、区及び当事業団のホームページに掲載していましたが、令和５年５月に同感染症の取り扱いが５類へ移行したことから、掲載は中止しました。

２　ワクチン接種の状況

目黒区医師会による巡回接種を、特養及び障害者施設の利用者に次のとおり行いました。巡回接種日に接種できなかった利用者には個別に対応しています。

1回目及び2回目を高齢者施設の利用者、職員に対し、令和3年5月29日から開始し、7月下旬に終了しました。障害施設は8月5日に開始し9月中旬に終了しました。

3回目は、高齢者施設の利用者に令和4年1月下旬～2月中旬に順次実施しました。障害者施設は、2月下旬から順次実施し3月下旬に終了しました。

4回目は、高齢者施設の利用者に令和4年7月下旬～8月中旬に順次実施しました。障害者施設は、同8月下旬から9月初旬に順次実施し終了しました。

5回目は、高齢者施設の利用者に令和4年11月下旬から順次開始し、施設内感染の影響もあり令和5年2月初旬に終了しました。障害者施設は、12月17、24日、令和5年1月28日に実施しました。

6回目は、高齢者施設の利用者に令和5年5月下旬から順次開始し、施設内感染の影響もあり令和5年7月下旬に終了しました。障害者施設は、令和5年6月24日、7月22日8月26日に実施しました。以後、巡回接種は、春接種、秋接種の年2回実施となりました。

昨年の秋接種（7回目）は、高齢者施設の利用者に令和5年10月中旬から順次開始し、同12月下旬に終了しました。障害者施設の利用者に令和5年12月16、17日及び令和6年1月27日に実施しました。

3　PCR検査等の実施状況

（1）高齢者施設

東京都が勧奨する高齢者施設の従事職員に対する簡易 PCR 検査(唾液採取による検査)を各施設で令和3年3月下旬から月1回ペースで開始し、以降は以下のとおり毎週実施しています。

ひがしがおかホーム	令和3年7月から毎週、施設従事職員全員(委託先社員等も対象)に実施
ひがしやまホーム	令和3年8月から毎週、施設従事職員全員(委託先社員等も対象)に実施
さんホーム目黒	令和3年8月の第3週から毎週、施設従事職員全員(委託先社員等も対象)に実施
特別養護老人ホーム中目黒	令和5年3月に事業再開後、毎週、施設の従事職員全員に実施（委託先社員等も対象）

（2）障害者施設

障害者施設（4施設）では、東京都が勧奨している職員に対する抗原検査を令和4年3月中旬から週2回実施しました。

（3）短期入所生活介護（ショートステイ）の利用者

高齢及び障害者施設の、短期入所（ショートステイ）サービスの利用者には、令和4年3月中旬から、同サービスの利用開始前に、目黒区から施設での新型コロナの感染拡大防止策の一環として配付された抗原検査キットを使用して、検査を開始しました。

検査キットの配付は令和4年6月末で中断されましたが、同12月に再度配付があり、検査を再開しました。

検査キットの配付は令和5年3月末で終了となりましたが、施設の検査キットを使用し継続しました。その後、同感染症の位置づけが同5月に5類に移行したことに伴い終了しました。

Ⅱ　法人運営

第１　法人組織

１　法人登記

（１）設　　立　平成元年 10 月 2 日

（２）資産総額　1,674,592,987 円（令和 5 年 3 月 31 日変更登記現在）

２　理事会・評議員会

（表 1）理事・評議員の構成（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分	定数	現員	欠員
理事	6～10	8	0
監事	2	2	0
評議員	7～11	9	0

（表 2）役員名簿（令和 6 年 3 月 31 日現在）

役職名	氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
理事長	鈴木 勝	令和 3 年 10 月 19 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	元目黒区副区長
常務理事	田渕 一裕	平成 27 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団経営本部長
理事	森 葉子	平成 23 年 10 月 4 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	弁護士（目黒区法曹会幹事）
理事	長崎 隆	令和 3 年 10 月 19 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉協議会事務局長
理事	松﨑 ひろ子	令和元年 6 月 11 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	民生児童委員（目黒区民生児童委員協議会会長）
理事	渡邊 英章	令和 3 年 8 月 31 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	医師（(一社)目黒区医師会会長）
理事	坂本 勝則	令和 5 年 6 月 26 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団ひがしがおかホーム施設長
理事	白濱 利一	令和 3 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団心身障害者センター施設長
監事	足立 武士	令和 5 年 6 月 26 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(公財)目黒区勤労者サービスセンター事務局長
監事	石橋 一	平成 29 年 6 月 12 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	税理士

（表 3）評議員名簿（令和 6 年 3 月 31 日現在）

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
石渡 和実	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	東洋英和女学院大学名誉教授
澤 節子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	元保健所長
井手 俊文	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区町会連合会常任理事
山田 秀昭	令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区住区住民会議連絡協議会委員

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
東川 邦昭	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和７年度の定時評議員会終結の時	目黒区民生児童委員協議会　南部第 2 地区民生児童委員協議会会長
脇山 博之	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和７年度の定時評議員会終結の時	目黒区医師会副会長
吉田 敏英	令和元年 10 月 21 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和７年度の定時評議員会終結の時	目黒区歯科医師会会長
小林 富佐子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和７年度の定時評議員会終結の時	東京商工会議所目黒支部副会長
白鳥 千恵子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和７年度の定時評議員会終結の時	元(福)目黒区社会福祉事業団心身障害者センター施設長

（表 4）運営協議会委員名簿（令和 6 年 3 月 31 日現在）

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	所属団体等
坂元 達也	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	芳窪町会副会長
中井 澄子	令和元年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	東山三丁目自治会副会長
髙津 肇	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	中目黒五丁目町会会長
小林 雅子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	八雲町会副会長
佐熊 とよ子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	上四町会会長
辻 弘	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	駒場町会副会長
二ノ宮 啓吉	平成 30 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	不動前町会会長
木村 秀利	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	下二南町会副会長
濵野 眞理	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	高齢者施設利用者家族
大辻 嘉代子	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	障害者施設利用者家族
大島 良子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	施設ボランティア
高島 尚子	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
坂元 悠紀	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
濵 陽子	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
岩﨑 史博	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
百瀬 聡	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	北部第 1 地区民生児童委員協議会会長
打越 優子	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	東部第 2 地区民生児童委員協議会会長
久保 ミヨ子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区竹の子クラブ連合会女性部長
岸井 泰子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区障害者団体懇話会会計
深山 キクエ	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区女性団体連絡会会員
土方 公久	令和 4 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区職員労働組合執行委員長

第２　施設概要（令和 6 年 3 月 31 日現在）

1　施設の概要

（表 5-1）特別養護老人ホーム

施設名称	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	目黒区立特別養護老人ホーム東山	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	さんホーム目黒
所在地	目黒区東が丘 1-6-4	目黒区東山 3-24-6	目黒区中目黒 5-7-35	目黒区目黒 3-20-8
敷地面積	3,854.33 ㎡	3,728.85 ㎡	1,990.12 ㎡	2,921.81 ㎡
建物	鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階 (5,771.81 ㎡)	鉄筋コンクリート造 地上 4 階地下 1 階 (7,396.20 ㎡)	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 1 階 (2,973.08 ㎡)	鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階 (4,454.74 ㎡)
床面積	特養部分 4,523.67 ㎡	特養部分 6,534.88 ㎡	特養部分 2,690.07 ㎡	特養部分 3,629.45 ㎡
特養定員	100 人	130 人	55 人	96 人
ｼｮｰﾄ定員	10 人	10 人	5 人	10 人
受託年月日	平成 7 年 4 月 21 日	平成 12 年 4 月 1 日	平成 2 年 4 月 1 日	―
開設年月日	平成 7 年 4 月 28 日	平成 12 年 4 月 1 日	平成 2 年 5 月 7 日	令和 3 年 8 月 1 日

（表 5-2）在宅ケア多機能センター

施設名称	目黒区立東が丘在宅ケア多機能センター	目黒区立東山在宅ケア多機能センター
所在地	特別養護老人ホーム東が丘に併設	特別養護老人ホーム東山に併設
敷地面積		
建物		
床面積	在宅ケア多機能センター部分 641.28 ㎡	在宅ケア多機能センター部分 792.40 ㎡
小規模多機能	東が丘多機能ホームあすなろ　登録 29 人	東山多機能ホームけやき　登録 29 人
認知症対応デイ	東が丘デイホームしいの木　1 日 12 人	東山デイホームいちょう　1 日 12 人
受託年月日	平成 30 年 3 月 1 日	平成 29 年 3 月 1 日
開設年月日	平成 30 年 3 月 1 日	平成 29 年 3 月 1 日

（表 5-3）ケアプランセンター（居宅介護支援事業所）

施設名称	目黒区社会福祉事業団 東山ケアプランセンター	目黒区社会福祉事業団 さんホーム目黒ケアプランセンター
所在地	特別養護老人ホーム東山に併設	さんホーム目黒に併設
敷地面積		
建物		
床面積	ケアプランセンター部分 68.92 ㎡	ケアプランセンター部分 9.03 ㎡
受託年月日	―	―
開設年月日	平成 28 年 4 月 1 日（自主事業化）	令和 2 年 4 月 1 日

※東が丘ケアプランセンターは令和 5 年 5 月末で事業終了。

（表 5-4）心身障害者センター

施設名称	目黒区心身障害者センターあいアイ館
所在地	目黒区八雲 1-1-8
敷地面積	めぐろ区民キャンパス敷地の一部
建物	

床面積	2,775.66 ㎡
利用定員	・生活介護（週 5 日）21 人 ・障害者活動訓練 デイサービスコース　Ａコース（週 3 日）15 人、Ｂコース（週 2 日）15 人 機能訓練コース　Ａコース（週 3 日）8 人、Ｂコース（週 2 日）8 人 ・短期入所　1 日 2 名 [利用定員に定めのない事業] ・特定相談支援(基本相談・計画相談)・訪問食事サービス ・入浴サービス(機械入浴、介助入浴、巡回入浴)
受託年月日	平成 13 年 4 月 1 日（開設平成 13 年 4 月 1 日）

（表 5-5）就労継続支援（B 型）施設

施設名称	目黒区立かみよん工房
所在地	目黒区上目黒 4-1-26
敷地面積	423.10 ㎡
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階地下 1 階・796.88 ㎡
利用定員	40 人
受託年月日	平成 6 年 7 月 1 日（法内施設平成 8 年 8 月 1 日）

（表 5-6）生活介護施設

施設名称	目黒区立大橋えのき園
所在地	目黒区大橋 2-19-38
敷地面積	1,141.37 ㎡
建物・床面積	鉄筋コンクリート・一部鉄骨鉄筋コンクリート造地上 6 階地下 1 階の内 1 階の一部及び 2 階・大橋えのき園部分 1,040.64 ㎡
利用定員	57 人
受託年月日	平成 9 年 4 月 1 日（開設平成 9 年 5 月 1 日）

（表 5-7）就労継続支援（B 型）施設

施設名称	目黒区立下目黒福祉工房
所在地	目黒区下目黒 3-10-2
敷地面積	645.4 ㎡
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階塔屋付・895.54 ㎡
利用定員	40 人
受託年月日	平成 30 年 4 月 1 日（開設昭和 63 年 5 月）

（表 5-8）母子生活支援施設

施設名称	目黒区みどりハイム
敷地面積	1,395.24 ㎡（隣接の公園含む）
建物・床面積	鉄筋コンクリート 5 階建て・1,594.61 ㎡
利用定員	20 世帯 60 人
受託年月日	平成 2 年 4 月 1 日（移転平成 17 年 4 月 1 日）

（表 5-9）地域包括支援センター

施設名称	目黒区西部包括支援センター
所在地	目黒区柿の木坂 1-28-10
床面積	70.2 ㎡
受託年月日	平成 18 年 4 月 1 日

第３　事務局

事務局は、理事会及び評議員会等の開催等法人運営に関する事務のほか、各施設の小口現金管理を除く経理処理を一括して行うとともに、法人全体の財務、人事、給与及び健康管理等の管理業務を行いました。また、各施設の事務処理について、施設から支援・応援要請があったものへの対応を行いました。

１　令和５年度の重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 収支計画に基づき、財務運営の自立化を進めていきます	新型コロナの発生に伴う利用率の減少、国際情勢の変化に伴う光熱費の高騰、物価上昇などの影響による数年来の各年度の収支状況の変化が財務基盤へも及び、主に財務運営面の大幅な見直しが必要となりました。このため、令和４年から検討チームを立ち上げ検討を重ねるとともに目黒区と協議を重ね、事業運営の効率、改善を図る推進計画とその計画に基づく収支計画を見直し、３ 月に第三次経営計画の改定を行いました。
(2) 事業収益による本部運営への転換を図っていきます	法人運営に係る区からの補助金については、区と協議の上、実施時期を見直し、令和７年度から段階的に縮減し、令和15年度までに廃止することとしました。
(3) 将来の退職手当支払いに必要な資金を確保していきます	退職手当支払いに係る区からの補助金については区と協議の上、令和６年度以降も継続し、必要な資金を確保することとしました。
(4) さんホーム目黒及び特別養護老人ホーム中目黒の安定的な運営を支援します	自主事業の「さんホーム目黒」（特別養護老人ホーム）は３年目を迎えましたが、他の施設と同様に新型コロナ及び物価高騰の影響等により見込んでいた収支状況に達しないため、改善に向けた見直しを行うとともに、食費、居住費について、東京都等に申請を行い、料金改定を実施しました。 特別養護老人ホーム中目黒については、令和５年３月の事業再開後の目標稼働率への早期到達に努めた他、令和６年度から機械警備を導入し収支改善を図ることとしました。
(5) ケアプランセンターの安定的な運営体制を検討します	各ケアプランセンターは介護支援専門員３人体制で、欠員が生じた場合などサービス提供に影響があり、また各所とも厳しい収支状況となっていました。このため、事業所数を現行の３ケ所から２ケ所に集約し配置職員を４名以上の体制することで、安定したサービス提供及び収支の改善を図ることとして、東が丘ケアプランセンターを令和５年５月に廃止しました。

事業計画	具体的な取り組みと結果
(6) 介護人材の確保に努めます	慢性的な介護人材不足に対応するため、人材確保PTを継続し、若年層の人材確保に努めました。インスタグラム等のSNSを活用した情報発信の継続や就職サイト、フェアへの出展等、広報活動も積極的に実施しました。また、Withコロナ時代を迎え、対面での就活フェアが復活したため、就活生及び求職者と直接対話することができるようになりました。加えて、遠距離の応募者にも対応できるWEB説明会や面接を行い、ニーズに応える活動に努めました。特定技能（介護）に該当する海外人材を新たに1名（韓国国籍）採用しました。 さんホーム目黒においては、東京都や目黒区の「介護職員宿舎借上げ支援事業」を活用し、職員が賃貸住宅に住む際の支援を行いました。
(7) 職員の定着・育成に努めます	新卒や未経験者でも安心して仕事に従事できるよう、初任者・実務者研修の受講を実施しました。新規採用職員には、配属後、個々の能力に応じたOJTを行いました。 職層研修は、職員の職層や経験のほか、年齢等に応じたプログラムを選定し、受講者のモチベーションアップや能力の向上を目指しました。新型コロナ流行以降、オンラインによる研修が主流となりつつも、必要に応じて、対面式による研修も実施し、能力向上等の他、他団体・他企業との交流の機会を創出しました。
(8) ストレスコントロール、腰痛防止など職員の心身の健康管理に努めます	労働安全衛生法に基づきストレスチェックを実施しました。職員にストレスへの気づきを促すとともに、変化のあった職員に対し、産業医との連携を行い、面談の機会を設けるなど、職員のメンタルヘルス不調の未然防止に努めました。 また、定期健診や腰痛健診を実施し、疾病の早期発見、症状の悪化防止に努めました。
(9) ホームページの活用等、情報を可能な限り提供し、タイムリーな情報の発信を行います	職員募集や採用活動に関して、ホームページから募集サイトやインスタグラムを直接見に行けるようにするなどタイムリーな情報提供に努めました。 各施設で実施した行事の様子や施設発行の新聞、月間献立表や各種予定表など、都度情報を掲載し発信しました。
(10) 新型コロナの取り扱いが変更されることに伴う影響を検討し、適切な対応を行います	令和5年5月に同感染症の取り扱いが5類に移行しましたが、各施設では重度化リスクのある方が多く利用されていることから、感染予防対策は基本的には継続しましたが、休止していた行事等については、各施設事業の状況に応じて、徐々に従前のサービスを再開するようにしました。 また、特養ホームで制限していた面会についてはご家族からの強い要望もあり、感染症対応の実施、面

事業計画	具体的な取り組みと結果
	会時間を所定時間にすることを前提に、利用者の入所フロアでの面会を再開するよう調整しました。
(11) 法人の経営状況・財務状況を正確に把握し、透明性の高い財務管理を行います	財務状況に大きな変化が生じたことから、その原因把握、分析及び改善に向け第 3 次経営計画の改定を推進しました。 会計監査人により、今年度も監査計画に基づく、拠点訪問、固定資産・現金等の実査、事業未収金、事業未払金の確認並びに期末監査を実施しました。 また、東が丘ケアプランセンターの廃止に伴う会計処理を適正に処理しました。
(12) 職員の経営感覚・コスト意識の徹底を図ります	毎月開催の経営会議において、従来から実施してきた各施設の稼働状況及び介護報酬収納実績の報告及び水道光熱費の管理に加え、各施設別の収支状況の把握・分析を徹底し、収支状況の改善に努めました。

2　運営管理

（1）理事会・評議員会等

理事会・評議員会及び運営協議会を次のとおり開催しました。

（事務局　表 1-1）理事会の開催状況

回	開催年月日	議案等
1	令和 5 年 6 月 6 日	議案第 1 号　令和 4 年度事業報告書 議案第 2 号　令和 4 年度決算報告書 議案第 3 号～12 号　理事・監事候補者の決定 議案第 13 号　役員等賠償責任保険契約について 議案第 14 号　評議員会（定時評議員会）の招集 報告事項　理事長及び常務理事の職務執行状況報告 苦情解決第三者委員の委嘱について
2	令和 5 年 6 月 26 日	議案第 15 号　理事長の選定 議案第 16 号　常務理事の選定 議案第 17 号　評議員選任・解任委員会委員の選任
3	令和 5 年 10 月 10 日	議案第 18 号　令和 5 年度補正予算書（第 1 号） 議案第 19 号　評議員会の招集 報告事項　理事長及び常務理事の職務執行状況報告 目黒区立知的障害者グループホーム「目黒区立のぞみ寮」の指定管理者応募について 新型コロナウイルス感染症の発生状況及び対応状況等について 令和 5 年度施設別利用実績中間報告
4	決議の省略（決議があったものとみなされた日　令和 5 年 10 月 31 日）	議案第 20 号　評議員会議案の決議の省略に係る提案について
5	決議の省略（決議があったものとみなされた日　令和 5 年 12 月 28 日）	議案第 21 号　東山デイホームいちょう所長の任命について

回	開催年月日	議案等
6	令和6年2月16日	議案第22号　さんホーム目黒運営規程の一部改正
7	令和6年3月8日	議案第23号　令和5年度補正予算書（第2号） 議案第24号　第三次経営計画の一部改定 議案第25号　令和6年度事業計画書 議案第26号　令和6年度予算書 議案第27号　組織運営規程の一部改正 議案第28号　事案決定手続規程の一部改正 議案第29号　目黒区立のぞみ寮指定共同生活援助事業（介護サービス包括型事業所）運営規程の制定 議案第30号　目黒区立のぞみ寮短期入所事業運営規程の制定 議案第31号　職員就業規則の一部改正 議案第32号　給与規程の一部改正 議案第33号　経理規程の一部改正 議案第34号　個人情報保護規程の一部改正 議案第35号　目黒区立特別養護老人ホーム東が丘運営規程の一部改正 議案第36号　目黒区立特別養護老人ホーム東山運営規程の一部改正 議案第37号　目黒区立特別養護老人ホーム中目黒運営規程の一部改正 議案第38号　さんホーム目黒運営規程の一部改正 議案第39号　東が丘多機能ホームあすなろ指定小規模多機能型居宅介護兼指定介護予防小規模多機能型居宅介護事業運営規程の一部改正 議案第40号　東山多機能ホームけやき指定小規模多機能型居宅介護兼指定介護予防小規模多機能型居宅介護事業運営規程の一部改正 議案第41号　東が丘デイホームしいの木指定認知症対応型通所介護兼指定介護予防認知症対応型通所介護事業運営規程の一部改正 議案第42号　東山デイホームいちょう指定認知症対応型通所介護兼指定介護予防認知症対応型通所介護事業運営規程の一部改正 議案第43号　評議員会の招集 報告事項　理事長及び常務理事の職務執行状況報告 新型コロナウイルス感染症の発生状況及び対応状況等について 令和5年度施設別利用実績中間報告
8	決議の省略（決議があったものとみなされた日　令和6年3月26日）	議案第44号　事務局長の任命 議案第45号　総務部長の任命 議案第46号　なかめぐろホーム施設長の任命 議案第47号　さんホーム目黒施設長の任命 議案第48号　のぞみ寮所長の任命 議案第49号　理事候補者の決定

回	開催年月日	議案等
		議案第 50 号　常務理事の選定 議案第 51 号　苦情解決第三者委員の選任 議案第 52 号　評議員会議案の決議の省略に係る提案について

（事務局　表 1-2）評議員会の開催状況

回	開催年月日	議案等
1	令和 5 年 6 月 26 日 （定時評議員会）	議案第 1 号　令和 4 年度事業報告 議案第 2 号　令和 4 年度決算報告 議案第 3 号～第 12 号　理事・監事の選任
2	決議の省略（決議があったものとみなされた日 令和 5 年 11 月 2 日）	議案第 13 号　令和 5 年度補正予算書（第 1 号）
3	令和 6 年 3 月 22 日	議案第 14 号　令和 5 年度補正予算書（第 2 号） 議案第 15 号　令和 6 年度事業計画書 議案第 16 号　令和 6 年度予算書 報告事項　事業団の運営状況について 1 第三次経営計画の一部改定 2 新型コロナウイルス感染症の発生及び対応状況等 3 令和 5 年度施設別利用実績中間報告
4	決議の省略（決議があったものとみなされた日 令和 6 年 3 月 28 日）	議案第 17 号　理事の選任

（事務局　表 1-3）運営協議会の開催状況

回	開催年月日	内容
1	令和 5 年 7 月 26 日	・令和 4 年度の事業報告及び令和 5 年度事業計画 ・意見交換
2	令和 6 年 2 月 13 日	・令和 5 年度の事業実施状況と令和 6 年度の予定 ・意見交換

（2）監事監査

（事務局　表 2）監事監査の状況

開催年月日	内容
令和 5 年 5 月 22 日・24 日	・令和 4 年度事業に関する事項及び理事の職務執行の状況 ・令和 4 年度決算に関する事項（会計監査人の会計監査報告）

（3）会議

事業運営の一体性を確保し施設間相互の調整等円滑な事業執行を図るため経営会議を月 1 回定例で開催するとともに、臨時経営会議を随時開催しました。

（4）経理

本部に集中化した会計処理については、取り扱いの共通化や本部と施設の連携の取り組みを継続し、効率的に処理を行いました。

また、高齢者施設における利用料金の収納に伴う請求書、領収書の作成、発送等を行いました。

3　職員育成・管理

（1）研修（職層研修）

事業団職員として、共通的に求められる職務遂行上必要な知識、能力の向上、また、人事考課制度の精度向上及び定着化を図るため、毎年、下表の職層研修及び人事考課研修を外部委託して実施しています。新型コロナ流行以降、オンライン形式及び対面形式の 2 パターン開催が常態化し、開催状況に合わせて受講しました。

（事務局　表 3）研修実施状況

研修名	内容	対象
新人職員研修	経営理念並びに事業団職員の役割及び 組織人としての在り方	新規採用者 前年度中途採用者
入社 2 年目研修	被考課者研修 ビジネスマナー研修	採用 2 年目及び 2 年目研修 未受講者
総合職転換研修	仕事の進め方研修	総合職転換者
中堅職員研修	中堅職員の能力向上研修 主体性の発揮 キャリアデザイン研修（40 代 50 代向け） 問題解決研修	サービス専門職 4 年目 総合職一般 4 年目 サービス専門職 7 年目 サービス専門職 9 年目
指導職研修	OJT 指導者研修 組織のタイムマネジメント研修 コーチング研修 現場マネージャー研修	指導職 2 級昇格者 指導職 2 級 5 年目 指導職 1 級昇格者 指導職 1 級 3 年目
管理職研修	評価者研修 管理職向け課題整理研修	管理職 2 級昇格者 管理職 2 級 3 年目

（2）職員の福利厚生

① 健康診断

（事務局　表 4）健康診断実施状況

種別	対象者	実施時期
定期健康診断	全職員	6 月
婦人科健診	女性職員	8 月～11 月
夜勤者健康診断	夜勤に従事している職員	11 月～12 月
腰痛健診	介護士・生活支援員	6 月、11～12 月
ストレスチェック	週 30 時間以上勤務の全職員	8 月

（3）職員の採用・退職状況（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

（事務局　表 5）採用・退職状況（人数）

区分別＼職種		介護士	保健師	看護師	生活支援員	PT OT ST	包括	幹部	その他	計
採用	正規	36	6	11	0	0	0	3	56
	契約	4	3	7	1	0	1	2	18
退職	正規	25	2	3	1	1	1	4	37
	契約	4	1	9	0	0	2	3	19

4　介護・福祉人材育成事業

新型コロナの影響により、昨年度に引き続き ZOOM（オンライン）での開催とし、予定どおり実施することができました。アンケート等を活用し地域で活動する介護職員のニーズに合う研修事業を実施しました。

（1）研修事業

区内介護事業所の職員を対象に、「介護職員のためのスキルアップ研修」を 11 回開催しました。研修内容は、認知症や障害の特性に応じたケアを学ぶためのものや職員に必要な知識について学ぶものなどのテーマを定めて実施しました。

（2）介護職員相談事業

区内介護事業所の職員を対象に、職場での悩みなどの相談を受ける相談事業を実施しました。毎週水曜日の午後に電話で受け付けるほか、メールや FAX でも常時受け付けを行っています。令和 4 年度は相談の申し込みはありませんでしたが、今年度は 2 件の相談がありました。

Ⅲ　施設の事業概要

第１　特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム（以下、「特養」という。）は、介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として施設サービスを提供するとともに、指定短期入所生活介護事業を行いました。

新型コロナの取り扱いは５類に移行しましたが、感染予防対策は、継続して実施しました。ご家族の面会、各活動等については、状況に応じて段階的に制限を緩和しました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	高齢者虐待防止法の理念に基づき、人権指針等を基に全職員を対象に人権研修を年２回実施しました。 また、人権委員会（高齢者虐待防止委員会、身体的拘束適正化委員会含む）では、「人権・サービス評価表」及び「虐待の芽チェックリスト」を活用し、課題の把握と改善に努め、施設内では情報を共有し、人権意識の向上を図りました。
(2) 新型コロナの予防対策を徹底し、発生と蔓延を防ぎます	前年度と同様にマニュアルに沿って感染予防、早期発見、感染者が発生した場合は拡大防止に努めました。クラスター発生時は、保健所や即応支援チームの支援を受け、事業継続計画、マニュアル等に基づき対応しました。 東京都の「高齢者入所施設向け感染症対策リーダー研修」を施設長、課長が受講し、それをもとに職員に対して研修を行いました。 同感染症の取り扱いが「5類」へ移行したことに伴い、ご家族の面会方法を、感染対策を講じたうえで各階の生活フロアで面会していただけるよう緩和しました。
(3) 地域交流スペースを有効活用し、地域に開かれた施設づくりに取り組みます	感染症対策を講じたうえで、10 月から会食サービスと地域交流サロンを再開し、感染症対策を実施しながら、ボランティアの方にも参加していただきました。 11 月 11 日（介護の日）には区民を対象に「特養での暮らし」についての講座及び見学会を再開しました。また、各施設において地域の方向けの「いきいきセミナー」を開催しました。
(4) 介護人材の確保に努めます（継続）	ホームページや SNS を活用し、施設や法人の魅力を発信し、応募者の拡大を図りました。 また、広く人材が集まるよう、勤務や雇用形態等の限定的な正規職員の活用を検討しました。
(5) 利用率の向上の取り組み	入院等による空床ベッドをショートステイで活用するなど利用率の向上に取り組みました。しかし、新型コロナの集団感染発生時にはショートステイのキャンセルも多くあり、目標の利用率を達成できませんでした。

（特養　表 1）利用率（%）

施設別 / 年度別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和 5 年度	94.1 (94.9)	98.4	93.4 (93.8)	97.8	90.2 (91.6)	99.8	85.7 (85.7)	97.0
令和 4 年度	91.6 (92.5)	93.2	92.9 (93.5)	89.4	60.9 (60.9)	56.1	89.9 (90.0)	92.7
令和 3 年度	94.7 (95.6)	100.0	95.3 (95.7)	95.7	97.5 (97.6)	98.0	87.4 (87.4)	79.1

注 1)（ ）は短期入所の空床利用を含む利用率
注 2）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 3）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

2　第三者評価･利用者アンケート等からの改善結果

（1）特養東が丘

改善事項	具体的な取り組みと結果
ホームでの生活の様子を写真で紹介するなど、ホームページなどで情報を発信します	SNS を活用し、行事や普段の生活を写真に撮り、個別で家族に送信をしました。また、ホームページに施設の食事メニューと写真を掲載し、できるだけ生活の様子が分かるようにしました。
感染症の対応実施をしながら面会方法を段階的に見直していきます	新型コロナが 5 月に 5 類に移行したことで、移行後は感染症対応を続けながら面会時間の延長を開始､10 月からは時間帯を設定して入所フロアでの面会を再開し、予約なしで面会ができるようにするなど、状況により順次緩和しました。

（2）特養東山

改善事項	具体的な取り組みと結果
日常の生活の様子や施設での様子を、ご家族に伝えます	毎月『ひがしやま通信』を作成し、ホームページに掲載しました。また、季節の行事やお食事なども写真を中心にお知らせを作成し、ホームページに掲載しました。
地域との繋がりや外部の方と触れ合える機会をつくります	地域の方の紹介で､『綿の親プロジェクト』に参加し、利用者の方にも協力してもらいながら、施設敷地内で綿花の栽培を始めました。 フロアでの面会を再開する前でしたが、敬老会には、節目の年齢のお祝い対象者のご家族にも参加していただくなど、コロナ禍以前のサービス提供状態に少しでも戻れるようにしました。

（3）特養中目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者の個別性を活かしたサービスを提供します	介護支援専門員が家族から利用者の「好きなこと」「楽しいと思うこと」「やってみたいこと」を聞き取り､施設サービス計画書に反映させました。また、日々の利用者との会話の中で要望のあった外気浴等を行い喜んでいただきました。

改善事項	具体的な取り組みと結果
ご家族や地域に向けて、施設を知ってもらえるよう情報を発信していきます	行事や日々のレクリエーションの様子を写真と共にホームページ及び「中目黒だより」にて発信しました。 「中目黒だより」は施設玄関に過去のものも閲覧できるようにして掲示し、来所されたご家族や地域の方等にも見ていただくことができました。 日々の様子の動画や写真をスライドにして、家族懇談会の場でお見せしたことで、ご家族からは「安心した」とのお声をたくさん頂きました。 10 月からは時間帯を設定したフロアでの面会を開始し、多くのご家族に来ていただくことができました。

（4）さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
お一人おひとりの生活に合わせたサービスを提供します	一日の生活の流れを示す【24 時間シート】を個々に作成し、それに基づいた施設サービスを提供しました。また、【24 時間シート】をアセスメントに活用し、個々の【施設サービス計画】作成に活かしました
ご家族等にホームでの生活の様子を発信していきます	ホーム全体の生活の様子等は月に数回ホームページに掲載したほか、事務室前カウンターにも印刷したものを置き、面会で来所された際閲覧できるようにしました。

3　特養のサービス

介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として、令和５年度事業計画に沿って施設サービスを提供しました。

（特養　表 2）入退所状況及び利用状況

［特養東が丘］　定員：100 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入所者数		3	1	2	2	2	2	3	2	3	1	2	3	26
退所者数		3	2	1	2	5	1	0	4	2	2	2	4	28
理由	死亡	2	1	1	1	4	1	0	2	2	1	1	4	20
	長期入院	0	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	7
	他施設入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数		98	97	98	98	95	96	99	97	98	97	97	96	
延利用可能床数		3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,900	3,100	36,600
特養利用床数		2,884	2,989	2,839	2,875	2,864	2,786	2,920	2,794	2,938	2,955	2,693	2,886	34,423
利用率（%）		96.1	96.4	94.6	92.7	92.4	92.9	94.2	93.1	94.8	95.3	92.9	93.1	94.1
空床利用数		29	21	43	41	15	0	52	8	30	17	54	14	324
延利用床数		2,913	3,010	2,882	2,916	2,879	2,786	2,972	2,802	2,968	2,972	2,747	2,900	34,747
空床利用を含む利用率（%）		97.1	97.1	96.1	94.1	92.9	92.9	95.9	93.4	95.7	95.9	94.7	93.5	94.9

［特養東山］　定員：130 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入所者数		1	3	7	7	3	2	1	4	2	6	2	2	40
退所者数		5	7	4	3	3	0	3	3	5	3	4	1	41
理由	死亡	4	5	3	3	2	0	3	2	4	2	4	1	33
	長期入院	1	2	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	8
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月末利用者数	125	122	125	128	129	130	128	129	126	129	127	128	
延利用可能床数	3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,770	4,030	47,580
特養利用床数	3,711	3,585	3,428	3,791	3,808	3,768	3,866	3,691	3,736	3,795	3,527	3,722	44,428
利用率（%）	95.2	89.0	87.9	94.1	94.5	96.6	95.9	94.6	92.7	94.2	93.6	92.4	93.4
空床利用数	0	45	20	10	0	0	0	7	53	24	0	22	181
延利用床数	3,711	3,630	3,448	3,801	3,808	3,768	3,866	3,698	3,789	3,819	3,527	3,744	44,609
空床利用を含む利用率（%）	95.2	90.1	88.4	94.3	94.5	96.6	95.9	94.8	94.0	94.8	93.6	92.9	93.8

［特養中目黒］　定員：55 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数		7	4	1	1	2	2	3	2	2	1	3	0	28
退所者数		2	1	1	3	2	2	1	2	1	2	1	4	22
理由	死亡	2	1	1	2	2	1	0	1	1	2	1	4	18
	長期入院	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末利用者数		50	53	53	51	51	51	53	53	54	53	55	51	
延利用可能床数		1,650	1,705	1,650	1,705	1,705	1,650	1,705	1,650	1,705	1,705	1,595	1,705	20,130
特養利用床数		1,427	1,559	1,570	1,591	1,537	1,462	1,462	1,456	1,600	1,592	1,425	1,484	18,165
利用率（%）		86.5	91.4	95.2	93.3	90.1	88.6	85.7	88.2	93.8	93.4	89.3	87.0	90.2
空床利用数		0	5	0	27	2	20	31	54	31	45	41	17	273
延利用床数		1,427	1,564	1,570	1,618	1,539	1,482	1,493	1,510	1,631	1,637	1,466	1,501	18,438
空床利用を含む利用率（%）		86.5	91.7	95.2	94.9	90.3	89.8	87.6	91.5	95.7	96.0	91.9	88.0	91.6

［さんホーム目黒］　定員：96 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数		6	5	5	4	3	5	7	2	1	1	2	2	43
退所者数		2	2	3	1	1	4	0	2	1	2	1	2	21
理由	死亡	2	1	3	0	1	4	0	1	1	1	0	1	15
	長期入院	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	4
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
月末利用者数		74	77	79	82	84	85	92	92	92	91	92	92	
延利用可能床数		2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,784	2,976	35,136
特養利用床数		2,063	2,326	2,252	2,429	2,483	2,398	2,592	2,668	2,783	2,747	2,567	2,797	30,105
利用率（%）		71.6	78.2	78.2	81.6	83.4	83.3	87.1	92.6	93.5	92.3	92.2	94.0	85.7
空床利用数		0	8	2	0	0	5	5	0	0	0	2	0	22
延利用床数		2,063	2,334	2,254	2,429	2,483	2,403	2,597	2,668	2,783	2,747	2,569	2,797	30,127
空床利用を含む利用率（%）		71.6	78.4	78.3	81.6	83.4	83.4	87.3	92.6	93.5	92.3	92.3	94.0	85.7

注 1）延利用可能床数：定員×各月の日数

注 2）特養利用床数：各月の特養利用者延べ数

注 3）利用率（%）＝特養利用床数÷延利用可能床数×100

注 4）空床利用数＝特養利用者の入院等による空きベッドを短期入所として活用した数

注 5）延利用床数＝特養利用床数＋空床利用数

注 6）空床利用を含む利用率（%）＝延利用床数÷延利用可能床数×100

（特養　表 3）平均入所期間

施設別 / 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度	3 年 2 月	3 年 2 月	0 年 10 月	1 年 5 月
令和 4 年度	3 年 2 月	3 年 6 月	0 年 11 月	1 年 1 月
令和 3 年度	3 年 5 月	3 年 7 月	3 年 11 月	0 年 6 月

注 1）特養中目黒：令和 4 年度は、令和 5 年 3 月の事業再開後の実績（さんホーム目黒からの帰所者は新規入所者として計算）

注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

（1）入所前の事前説明

入所後安心した生活ができるように、入所に際して、施設が提供できるサービス内容及びサービス提供体制等説明を行いました。

（2）施設サービス計画の立案

介護支援専門員とサービス提供職員が連携し、利用者個々の心身の状態に応じた自立支援と生活の質の向上の観点から、本人の要望、課題、目標、サービス内容と達成時期を設定した施設サービス計画原案を作成し、各専門職が参加するサービス担当者会議において施設サービス計画を決定しました。

施設サービス計画について利用者と家族等に説明し、同意を受けサービスを提供し、サービス提供後にはモニタリング(評価)を実施しました。退院時や利用者の状況に変化があった場合は、随時、計画を見直しました。

（3）介護

介護にあたっては人権に配慮し、施設サービス計画に沿って、入浴・排泄・食事・移動等の必要なサービスを提供しました。自立支援の観点から、利用者で行える行為は利用者自身が行うように支援し、残存能力の維持回復に努めました。

① 入浴の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき週 2 回以上の入浴サービスを提供しました。

② 排泄の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき排泄ケアを実施しました。

③ 食事の介護

利用者の嚥下能力に応じて、安全に自立して食事ができるように、個々の施設サービス計画に基づき食事の援助を実施しました。

管理栄養士が定期的に開催する食事懇談会や、個別に聞き取った利用者の嗜好に関する情報を献立に反映させ、季節感があり楽しめる変化に富んだ食事づくりを心がけました。行事食に加え、イベント食や選択食の日を設けるなど、利用者の食生活の充実を図りました。

（特養　表 4）利用者の要介護状態区分（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設別 / 介護区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
要介護 1	0	0	6	4.7	0	0	4	4.4
要介護 2	3	3.1	4	3.1	1	2.0	6	6.5
要介護 3	8	8.4	16	12.5	5	9.8	28	30.4

施設別 / 介護区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
要介護 4	46	47.9	52	40.6	24	47.0	30	32.6
要介護 5	39	40.6	50	39.1	21	41.2	24	26.1
合　計	96	100.0	128	100.0	51	100.0	92	100.0

（特養　表 5）利用者平均介護度の推移（令和 6 年 3 月 31 日現在）

年度別 / 施設別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度	4.3	4.1	4.3	3.7
令和 4 年度	4.4	4.3	4.3	3.9
令和 3 年度	4.5	4.2	4.3	4.1

（特養　表 6）利用者の年齢構成（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設別 / 年齢層別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	男	女	男	女	男	女	男	女
55～59 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64 歳	0	0	2	0	0	0	1	0
65～69 歳	0	0	0	0	0	0	2	1
70～74 歳	1	1	3	2	0	1	1	1
75～79 歳	4	3	2	9	1	1	2	3
80～84 歳	2	10	9	13	1	6	5	6
85～89 歳	6	14	2	24	4	12	5	16
90～94 歳	5	21	8	23	5	17	9	24
95～99 歳	1	19	2	20	0	2	0	11
100 歳～	0	9	0	9	0	1	0	5
合　計	19	77	28	100	11	40	25	67
最低年齢	74	73	62	71	76	72	64	69
最高年齢	96	104	98	103	92	102	94	103
平均年齢	85.8	91.5	83.0	90.0	86.9	88.4	84.0	90.0
	90.3		88.0		88.0		88.0	

注 1）平均年齢は小数点第 2 位四捨五入

（特養　表 7）入退所者数の推移（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設別 / 年度別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入　所	退所
令和 5 年度	26	28 (20)	40	41 (33)	28	22 (18)	43	21 (15)
令和 4 年度	34	31 (22)	46	44 (37)	46	1 (1)	29	55 (25)
令和 3 年度	23	26 (23)	34	37 (32)	2	46 (1)	104	8 (7)

注 1）（　）内は死亡退所者数で内数

注 2）特養中目黒：令和 4 年度入所者数には、事業再開に伴うさんホーム目黒からの帰所者を含む

注 2）特養中目黒：令和 3 年度退所者数には、さんホーム目黒への移動者を含む

注 注 2）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績

注 3）さんホーム目黒：令和 4 年度の退所者数には、特養中目黒への帰所者を含む

注 3）　　令和 3 年度入所者数には、特養中目黒からの移動者を含む

（特養　表 8）利用者の日常生活動作等の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分・状況＼施設別		特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
食事介助	自立	29	30.2	71	55.4	31	60.8	12	13.0
	一部介助	28	29.2	20	15.6	8	15.7	64	69.6
	全介助 (経管栄養含む)	39	40.6	37	28.9	12	23.5	16	17.4
口腔ケア	自立	7	7.3	23	18.0	11	21.6	11	11.9
	一部介助	46	47.9	58	45.3	24	47.0	56	60.9
	全介助	43	44.8	47	36.7	16	31.4	25	27.2
入浴介助	自立	1	1.1	1	0.8	1	2.0	0	0.0
	一部介助	32	33.3	47	36.7	26	51.0	46	50.0
	全介助	63	65.6	80	62.5	24	47.0	46	50.0
入浴方法	一般浴	5	5.2	12	9.4	0	0.0	7	7.6
	機械浴	52	54.2	54	42.2	20	39.2	12	13.0
	リフト浴	39	40.6	62	48.4	31	60.8	73	79.3
体位交換	自立	22	22.9	50	39.1	24	47.0	35	38.1
	一部介助	35	36.5	13	10.1	8	15.7	36	39.1
	全介助	39	40.6	65	50.8	19	37.3	21	22.8
移乗介助	自立	4	4.2	20	15.6	13	25.5	11	11.9
	一部介助	34	35.4	54	42.2	15	29.4	48	52.2
	全介助	58	60.4	54	42.2	23	45.1	33	35.9
	内 リフト使用者	(34)	(35.4)	(38)	(29.7)	(12)	(23.5)	(5)	(5.4)
着脱介助	自立	0	0.0	11	8.6	1	1.9	2	2.2
	一部介助	30	31.3	60	46.9	29	56.9	57	61.9
	全介助	66	68.7	57	44.5	21	41.2	33	35.9
排泄介助	自立	0	0.0	12	9.4	3	5.9	6	6.6
	一部介助	16	16.7	62	48.4	25	49.0	43	46.7
	全介助	80	83.3	54	42.2	23	45.1	43	46.7
	内 オムツ使用者	(94)	(97.9)	(124)	(96.9)	(32)	(62.7)	(87)	(94.6)
認知症日常生活自立度	自立	3	3.1	3	2.3	0	0.0	0	0.0
	Ⅰ(ほぼ自立)	6	6.2	5	3.9	3	5.9	13	14.1
	Ⅱ(見守りが必要)	16	16.7	21	16.4	8	15.7	27	29.4
	Ⅲ(介護が必要)	41	42.7	53	41.4	19	37.3	28	30.4
	Ⅳ(常時介護)	28	29.2	40	31.3	19	37.3	23	25.0
	M(専門医療が必要)	2	2.1	6	4.7	2	3.8	1	1.1

（特養　表 9）利用者の年間外泊件数の推移

年度別＼施設別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度	0	0	0	0
令和 4 年度	0	0	0	0
令和 3 年度	0	0	0	0

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

（特養　表 10）年間面会者数の推移

施設別 / 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度	4,270	3,408	2,409	2,767
令和 4 年度	2,161	1,354	34	875
令和 3 年度	1,280	1,136	113	608

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績
※ご家族等の面会は、新型コロナ取り扱いが 5 類に移行後、状況により段階的に緩和しました。

（4）栄養ケアマネジメント

栄養ケア計画に基づき、低栄養状態の利用者に対しては高栄養食等の付加食の提供、摂食・嚥下困難な利用者に対してはソフト食やゼリー食等で対応することにより栄養状態の改善に努めました。また、疾病による食事の指示が医師より出された利用者へは療養食の提供を行いました。

（特養　表 11）利用者の食事形態と療養食の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分・種類＼施設別		特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
主食	米飯	30	31.3	40	31.3	20	39.2	32	34.8
	全粥	32	33.3	37	28.9	20	39.2	40	43.5
	全粥ﾐｷｻｰｾﾞﾘｰ	19	19.8	28	21.9	5	9.8	9	9.8
	パン	3	3.1	5	3.9	1	2.0	4	4.3
	パン粥･ミキサー	2	2.1	8	6.2	1	2.0	3	3.3
副食	常食	15	15.6	20	15.6	13	25.5	21	22.8
	刻み	19	19.8	38	29.7	13	25.5	26	28.3
	極刻み	29	30.2	23	18.0	13	25.5	28	30.5
	ミキサー食	23	24.0	37	28.9	8	15.7	13	14.1
経管栄養		10	10.4	10	7.8	4	7.8	4	4.3
療養食		6		3		0		1	

注 1）副食のミキサー食にはソフト食、ペースト食が含まれる
注 2）療養食＝糖尿病、腎臓病等を考慮した食事（介護報酬の療養食加算対象）

（5）健康管理

嘱託医師（内科・精神科）及び看護師が専門性を活かし、利用者の状態に応じた健康管理を行いました。

① 全ての特養において夜間看護師1名を配置し医療的ケアの必要な利用者が安心して生活できるよう対応しました。

② 定期健康診断を実施し疾病の早期発見に努めました。

③ 感染症予防及び発生時の適切な対策を実施するために「感染症・食中毒の予防蔓延防止に関する指針」に基づき、定期的に感染症対策のための会議を開催しました。また、利用者・職員等に新型コロナが発生した場合、マニュアル等に基づき対応を行いました。

④ インフルエンザの感染予防及び発病時の軽症化を図るために、利用者と職員を対象に予防接種を実施しました。

⑤ 新型コロナに対する予防対策や感染症対策を「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」に基づき実施を徹底しました。

特養入所にあたっては、家族等の同意を得たうえで可能な限りPCR検査を実施しました。

目黒区医師会の巡回接種による新型コロナのワクチン接種を希望する利用者に、接種を実施しました。

高齢者施設で業務する全従業者を対象にPCR検査を毎週、抗原検査を適宜実施しました。

⑥ 協力病院と連携して、利用者の緊急対応や入院・通院の便宜を図りました。

（特養　表 12）利用者の受診科目状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設・区分 / 科目	特養東が丘				特養東山				特養中目黒				さんホーム目黒			
	通院		往診		通院		往診		通院		往診		通院		往診	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
歯科	3	3	93	367	1	1	56	462	0	0	33	240	4	10	49	862
内科	42	80	0	0	35	127	0	0	24	86	0	0	22	54	0	0
神経科	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11	0	0
外科	2	2	0	0	21	39	0	0	4	8	0	0	8	14	0	0
整形外科（形成含）	9	28	0	0	26	63	0	0	10	28	0	0	10	17	0	0
眼科	5	10	0	0	3	4	0	0	5	20	0	0	4	14	0	0
皮膚科	2	3	45	108	6	12	29	113	5	34	23	48	1	4	29	112
耳鼻科	0	0	0	0	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	4	10	0	0	16	105	0	0	6	19	0	0	7	50	0	0
婦人科	0	0	0	0	2	4	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
精神科	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0
救命救急	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	9	19	0	0	3	4	0	0	2	2	0	0	3	12	0	0
合計	／	174	／	475	／	374	／	575	／	198	／	288	／	192	／	974

注 1)「実」は実人員、「延」は延人数

（特養　表 13）利用者の入院状況推移

施設別 / 年度別	特養東が丘			特養東山			特養中目黒			さんホーム目黒		
	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数
令和 5 年度	43	61	1,285	62	89	1,938	34	50	1,003	51	66	1,077
令和 4 年度	43	56	1,380	84	129	2,212	1	1	2	60	80	1,471
令和 3 年度	43	56	1,650	47	66	1,118	7	8	94	21	29	620

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

（特養　表 14）利用者のうち医療的ケアの必要者数（令和 6 年 3 月 31 日現在）

種別＼施設別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
経管栄養	10	10	3	4
常時吸引	15	2	2	2
バルーンカテーテル留置	6	7	2	3
人工肛門	2	6	1	1
ペースメーカー	2	1	2	1
褥そう処置者	0	5	0	0
インスリン	1	4	1	3
難病	1	7	1	2
在宅酸素	0	3	1	0
その他	0	0	2	0

（特養　表 15）感染症の発生状況（延人数）

種類別＼施設別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
新型コロナ	36	5	15	1	13	0	12	1
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	1
ノロウィルス	0	0	0	0	0	0	0	0
疥癬	0	0	0	0	1	0	0	0
結核	0	0	0	0	0	0	1	0

（特養　表 16）職員の新型コロナ感染症発生状況（延人数）

特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
28	21	9	26

（6）口腔ケア・マネジメント

歯科医や歯科衛生士と連携して、利用者の口腔機能や嚥下機能に応じた口腔ケア計画を作成し、個別の口腔ケアを実施しました。歯科衛生士による口腔ケア指導を特養東が丘、特養東山及びさんホーム目黒では月 2 回実施、特養中目黒は月 1 回実施しました。

（7）看取りケア

「看取りケア指針」に基づいて、利用者・家族等の意向に沿った看取りケア計画を作成し、「その人らしい尊厳のある看取り」を実施しました。

（特養　表 17）看取りケア実施実績（施設でご逝去された件数）

種別＼施設別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度	10	16	14	15
令和 4 年度	6	19	0	15
令和 3 年度	4	23	1	6

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

（8）機能訓練

利用者の意向と生活状況を踏まえて個別機能訓練計画を作成し、機能訓練指導員と多職種が共同・連携し生活場面で以下の機能訓練(生活リハビリ)を行いました。

① 心身機能と生活能力の維持に努めました。

② 利用者の持つ生活能力を活かした自立支援を行いました。

③ 行事への参加や利用者に合わせたコミュニケーション等、精神面及び生活の活性化を図りました。

④ 安心して過ごせるように居室のベッド周辺や車いす等の生活環境の調整をしました。

（特養　表 18）機能訓練の実施人数および割合（%）（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設・実施者区分 ＼ 機能訓練の目的・主な実施内容		特養東が丘（在籍 96 人）		特養東山（在籍 128 人）	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、安楽に着替えや排泄の介助を受けられる	・関節可動域訓練	93 (96.9)	84 (87.5)	102 (79.7)	99 (77.3)
離床して、生活リズムを維持する 居室から出て周囲の人と交流する	・座位訓練	94 (97.9)	89 (92.7)	119 (93.0)	104 (81.3)
安全に食事が出来るように座位姿勢を整える	・嚥下訓練	73 (76.0)	70 (72.9)	91 (71.1)	65 (50.8)
食事や移乗、トイレ等、生活場面で出来る事を自分で行う	・ADL 訓練 ・移乗訓練 ・筋力訓練 ・立位訓練 ・バランス訓練	75 (78.1)	72 (75.0)	107 (83.6)	92 (71.9)
歩行する機会をもつ	・歩行訓練 ・筋力訓練 ・バランス訓練	16 (16.5)	28 (29.1)	27 (21.1)	53 (41.4)
自発的に交流を広げる	・グループ訓練	94 (97.9)	37 (38.5)	122 (95.3)	3 (2.3)
その他	・発声発語訓練など	79 (82.3)	55 (57.3)	118 (92.2)	115 (89.8)

施設・実施者区分 ＼ 機能訓練の目的・主な実施内容		特養中目黒（在籍 51 人）		さんホーム目黒（在籍 92 人）	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、安楽に着替えや排泄の介助を受けられる	・関節可動域訓練	21 (41.2)	48 (94.1)	78 (84.8)	85 (92.4)
離床して、生活リズムを維持する 居室から出て周囲の人と交流する	・座位訓練	51 (100.0)	41 (80.4)	92 (100.0)	86 (93.5)
安全に食事が出来るように座位姿勢を整える	・嚥下訓練	39 (76.5)	39 (76.5)	25 (27.2)	24 (26.1)

機能訓練の目的・主な実施内容 ＼ 施設・実施者区分		特養中目黒（在籍 51 人）		さんホーム目黒（在籍 92 人）	
		多	機	多	機
食事や移乗、トイレ等、生活場面で出来る事を自分で行う	・ADL 訓練 ・移乗訓練 ・筋力訓練 ・立位訓練 ・バランス訓練	44 (86.3)	44 (86.3)	81 (88.0)	31 (33.7)
歩行する機会をもつ	・歩行訓練 ・筋力訓練 ・バランス訓練	20 (39.2)	21 (41.2)	42 (45.7)	53 (57.6)
自発的に交流を広げる	・グループ訓練	0 (0.0)	39 (76.5)	64 (69.6)	0 (0.0)
その他	・発声発語訓練など	21 (41.2)	22 (43.1)	64 (69.6)	70 (76.1)

注 1）多：介護士、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員等多職種協働で実施
注 2）機：機能訓練指導員で実施

（9）身体拘束

利用者の人権を尊重するとともに、生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束は行わないサービスの提供に取り組みました。

（特養　表 19）身体拘束件数

年度別 ＼ 施設別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和 5 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和 4 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和 3 年度	0	0	1	0	0	0	0	0

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

（１０）レクリエーション等

新型コロナ感染予防の観点から、行事等は規模を縮小し職員が工夫を凝らし実施しました。

ボランティアの受け入れについては、直接利用者と接するボランティアは理美容のみでしたが、新型コロナウイルスの類型が５類となったことから、行事等でイベントのボランティアを再開するなど、徐々に受入れを再開しました。

（特養　表 20）主な実施行事

月	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	行事食
4	・創立記念日（祝い膳、おやつ）	・お花見		・お花見	・お花見御膳
5	・端午の節句（菖蒲湯）	・端午の節句（香り湯） ・風船バレーボール大会		・端午の節句（菖蒲湯） ・母の日	・端午の節句膳

月	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	行事食
6	・お買い物サロン	・映画鑑賞会	・端午の節句 （菖蒲湯） ・母の日	・父の日	
7	・七夕飾り ・お盆供養 （迎え火・送り火） ・初夏のおやつ会 ・花火大会	・七夕 ・お盆供養 （迎え火・送り火）	おやつ作り	・七夕 ・お盆供養	・七夕メニュー ・土用の丑の日
8	・夏祭り （各フロア開催）	・花火を楽しむ会 ・映画鑑賞会 ・昭和週間	・七夕交流会 ・お盆供養 （迎え火・送り火）	・開所記念日	・夏祭りメニュー
9	・敬老会 （各フロア開催）	・敬老会 ・花火を楽しむ会	・敬老会 ・花火を楽しむ会	・敬老会 ・花火 ・月見の会	・敬老祝い膳
10	・運動会 （各フロア開催）	・映画観賞会 ・風船バレーボール大会	・秋祭り	・秋祭り （お神輿）	
11	・お買い物サロン	・焼き芋会	・お寿司の日 ・おやつ作り	・お寿司の日 ・映画会 ・運動会	
12	・望年会 ・柚子湯 ・デザートバイキング ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・映画鑑賞会 ・クリスマスケーキ ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・クリスマス ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・クリスマス ・大晦日	・望年会メニュー ・年越しそば
1	・お正月 ・七草 ・初詣（浄真寺）	・お正月 ・七草	・お正月 ・初詣(ﾎｰﾑ内) ・七草 ・鏡開き	・お正月 ・書初め会 ・初詣(ﾎｰﾑ内) ・七草 ・鏡開き	・おせち料理 ・七草粥 ・お汁粉
2	・節分（豆まき）	・節分（豆まき）	・節分（豆まき）	・節分（豆まき）	・福内膳
3	・桃の節句 （雛人形飾り） ・リラクゼーションバスタイム ・お花見	・ひな祭り （雛人形飾り） ・お花見ドライブ		・ひな祭り （雛人形飾り） ・映画会	・桃の節句膳

（特養　表 21）ホーム喫茶等の行事

特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
・利用者集会（毎月） ・選択食（毎月） ・イベント食（毎月） 郷土料理食「日本全土を巡る食の旅」 ・新茶を楽しむ会 ・おやつ作り （チョコレート蒸しパン） （スイートポテト） ・和菓子選択食（2 回） ・洋菓子選択食（1 回）	・利用者集会（毎月） ・選択食（毎月） ・イベント食（毎月） 「季節の行事食」 ・手作りプリンを食べる会 ・新茶を味わう会 ・焼き芋を食べる会 ・お汁粉を食べる会 ・お好み焼きを食べる会 ・出前を楽しむ会 ・桃の節句 ・桃を食べよう会 ・スイカを食べよう会	・利用者集会（毎月） ・選択食（毎月） ・イベント食（毎月） 「スマイルホリデー」 ・おやつ作り （紫陽花ゼリー・焼き芋） ・ホーム喫茶（毎月）	・誕生会（ユニット毎） ・選択食（毎月） ・イベント食（毎月） 「バスで巡る絶景グルメ旅」 ・コーヒーを楽しむ会（随時） ・おやつ作り （かき氷・きんつば・おにぎりを食べる会等）

（特養　表 22）クラブ活動の実施状況

特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数
0	0	0	0	0	0	0	0

注 1）参加者数は 1 回の活動の参加者

（１１）生活相談

生活相談員が中心になり、利用者やその家族に介護に関する相談をはじめ日常生活全般に関する相談に応じ、適切な助言・援助を行いました。

（１２）利用者・家族等の声を反映

利用者及び家族の生活に対する意向を聴き、施設サービス計画書に反映させました。

① 利用者集会、食事懇談会等を開催し、利用者の意見・要望を直接聴きました。

② 利用者及び家族等に満足度調査を実施しました。

③ 家族懇談会を年度中に 2 回以上実施しました。

（１３）その他生活支援

希望される利用者に対してサービスの提供や手続の代行を行いました。

・理美容サービス　　・行政手続きなどの代行　　・日用品などの購入

（１４）預貯金などの保管及び管理

利用者本人又は家族等において利用者の預貯金等の保管を行うことが困難な場合、申し出により必要な範囲で預かり、出納管理を行いました。

（特養　表 23）利用者預かり金状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設名	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	合計
人数（人）	2	0	0	1	3
総額（千円）	2,624	0	0	594	3,218

4　短期入所生活介護事業（ショートステイ）

短期入所生活介護(ショートステイ)の介護サービスは一部を除き、特養と同様に提供しました。

令和5年度から、特別養護老人ホーム東が丘で、介護者の急な疾病などに対応するため、緊急ショートステイ 1 床を新たに整備し、特別養護老人ホーム東山と合わせ 2 床に拡充し、対象となる利用者の受入れを行いました。また、特養の利用者の入院等で生じた空床を利用した受け入れも実施しました。

施設内で新型コロナ発生時には事業を休止せず、ご利用者、ご家族の意向を踏まえ感染症対策を講じ受け入れを継続しました。

（特養　表 24）短期入所の要介護度別利用状況（空床利用分を含む）（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設別 / 区分別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援１	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援２	0	0	0	0	0	0	72	2.0
要介護１	358	9.5	363	9.4	110	5.2	794	22.4
要介護２	833	22.0	755	19.5	380	18.1	943	26.6
要介護３	1,068	28.3	1,133	29.3	732	34.5	715	20.2
要介護４	620	16.4	698	18.1	335	16.6	520	14.8
要介護５	900	23.8	914	23.7	542	25.6	496	14.0
合　計	3,779	100.0	3,863	100.0	2,099	100.0	3,540	100.0
平均介護度	3.2		3.3		3.3		2.7	

注 1）平均介護度計算　要支援 1、2 は 0.375 として計算します。

（特養　表 25）短期入所の利用状況

〔特養東が丘〕定員：9 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	66	59	69	54	59	31	50	41	42	38	37	41	
送迎件数	111	94	111	85	100	59	99	89	84	73	77	84	1,066
延利用可能床数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	261	279	3,294
延利用床数	270	279	270	279	279	216	279	270	279	279	261	279	3.240
利用率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.4

〔特養東山〕定員 9 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	44	45	43	47	41	41	42	33	38	37	32	34	
送迎件数	75	70	73	77	74	66	67	71	55	58	58	68	812
延利用可能床数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	261	279	3,294
延利用床数	260	279	270	279	272	242	276	270	279	279	238	279	3,223
利用率（%）	96.3	100.0	100.0	100.0	97.5	89.6	98.9	100.0	100.0	100.0	91.2	100.0	97.8

〔特養中目黒〕定員：5 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	27	28	28	25	25	20	22	25	26	26	24	25	
送迎件数	51	53	52	55	50	46	41	41	43	44	39	49	564
延利用可能床数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	145	155	1,830
延利用床数	146	155	150	155	155	150	155	150	155	155	145	155	1,826
利用率（%）	97.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.8

〔さんホーム目黒〕定員：10 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	68	73	71	67	67	67	71	71	63	63	65	65	
送迎件数	112	122	112	121	115	107	122	122	106	112	112	107	1,370
延利用可能床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	290	310	3,660
延利用床数	278	310	300	297	288	300	310	291	277	284	290	305	3,530
利用率（%）	92.7	100.0	100.0	95.8	92.9	100.0	100.0	97.0	89.4	91.6	100.0	98.4	96.4

〔特養東が丘 緊急ショートステイ〕定員：1 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	4	4	5	6	4	1	3	2	4	4	1	6	44
送迎件数	6	4	7	5	4	1	4	1	5	0	1	2	40
延利用可能床数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用床数	22	28	25	29	25	1	31	14	23	25	11	18	252
利用率（%）	73.3	90.3	83.3	93.5	80.6	3.3	100.0	46.7	74.2	80.6	37.9	58.1	68.9

〔特養東山 緊急ショートステイ〕定員：1 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	3	6	4	5	6	4	5	5	4	4	2	5	53
送迎件数	3	2	4	6	6	4	3	6	1	3	0	3	41
延利用可能床数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用床数	17	27	15	26	25	19	31	19	15	24	17	27	262
利用率（%）	56.7	87.1	50.0	83.9	80.6	63.3	100.0	63.3	48.4	77.4	58.6	87.1	71.6

注 1）延利用可能床数：定員×各月の日数
注 2）延利用床数：各月の利用者延べ数（空床利用は除く）
注 3）利用率（%）＝延利用床数÷延利用可能床数×100

（特養　表 26）空床利用の状況（延利用床数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
特養東が丘	29	21	43	41	15	0	52	8	30	17	54	14	324
特養東山	0	45	20	10	0	0	0	7	53	24	0	22	181
特養中目黒	0	5	0	27	2	20	31	54	31	45	41	17	273
さんホーム目黒	0	8	2	0	0	5	5	0	0	0	2	0	22

5　緊急一時保護

目黒区からの緊急の保護の要請により、その家庭で介護を受けることが困難な在宅の高齢者を積極的に受け入れました。

（特養　表 27）緊急一時保護受入件数

施設別／年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒	合　計
令和 5 年度	5	8	8	1	22
令和 4 年度	1	4	0	0	5
令和 3 年度	4	10	0	5	19

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

6　地域との連携

地域に開かれた施設となるよう近隣の保育園、小中学校等や地元町会とも連携するとともに、地域行事の参加や家族の施設行事への参加を段階的に再開しました。

（1）ボランティア

① ボランティアの受け入れ状況

感染予防対策を講じ、理美容の受け入れを継続するとともに、施設の状況に応じ段階的に受け入れを再開しました。

（特養　表 28）ボランティアの受け入れ状況

種別＼施設別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	0	0	0	0	5	84	0	0
クラブ活動支援	0	0	0	0	0	0	0	0
技術支援	3	36	7	77	0	0	0	0
定例行事支援	8	8	0	0	2	24	0	0
行事支援	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	11	44	7	77	7	108	1	2

注 1）生活支援：散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみ等
注 2）技術支援：理美容等
注 3）定例行事支援：夏祭り等

② ボランティア懇談会

毎年 3 月に開催していますが、新型コロナの影響により中止としました。

（2）地域貢献活動

地域包括ケアシステムの一翼を担い、地域との連携を深めると共に、特別養護老人ホームの特徴を生かして地域に必要とされ、地域に貢献できる施設運営に努めました。新型コロナが５類に移行になったことから、段階的に活動を再開しました。

① 地域交流サロン(いきいきサロン)・会食サービス事業の実施

週 1 回、地域交流スペースを地域に開放し、希望するひとり暮らし等高齢者に食事を提供する地域交流サロン(いきいきサロン)、会食サービス事業については、区と協議のうえ後期より再開しました。

（特養　表 29）いきいきサロン延べ参加者数（令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月）

	東が丘	東　山	中目黒	さんホーム目黒
開催曜日	金曜日	木曜日	火曜日	水曜日
令和 5 年度	128	329	283	122

（特養　表 30）会食サービス延べ参加者数(登録人数)

施設別 / 区分	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
前期	中止	中止	中止	中止
後期	132(9)	233(11)	208(15)	124(6)

② 地域はつらつセミナー

地域交流スペース活用の一環として、各施設が持つ資源を地域に還元するために、介護・福祉・医療に関する講座や、交流を目的としたアクティビティなどのセミナーを開催しました。

（特養　表 31）地域はつらつセミナー延べ参加者数

	東が丘	東　山	中目黒	さんホーム目黒
開催日	3 月 2 日	2 月 22 日	3 月 26 日	
講座名	知っておく！からはじめる～介護予防・フレイル～	元気なうちに始める相続準備	月にウォーキング	
参加人数（人）	1	21	10	

③ 「ふれあいの居場所」（中目黒ホーム）

再開に向けボランティアグループと検討を行いましたが、再開に至りませんでした。

④ 目黒区の「めぐろシニアいきいきポイント事業」

同事業のサポーターに、各施設において活動の場を提供する予定でしたが、新型コロナの影響により、ほとんど実施できませんでした。

（特養　表 32）めぐろシニアいきいきポイント事業サポーターの受け入れ状況

	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
人数（人）	0	0	0	0	1	16	0	0

⑤ 実習生、研修生、中学生の体験学習等の受け入れ

各施設において、実習生、研修生及び中学生の体験学習等の受け入れを新型コロナの感染状況を見極め可能な限り受け入れを行いました。

（特養　表 33）実習生等の受入状況

〔東が丘〕

実　習　依　頼　校　等	実　習　目　的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	11	55
合　計		11	55

〔東　山〕

実　習　依　頼　校　等	実　習　目　的	実人数	延日数
日本福祉教育専門学校	介護福祉士	4	96
日本福祉教育専門学校	社会福祉士	5	119
東京福祉保育専門学校	介護福祉士	1	14
首都医校	社会福祉士	2	25
東京福祉大学	社会福祉士	4	66
東京福祉大学	保育	1	23
品川区社会福祉協議会	社会福祉士	2	16

実　習　依　頼　校　等	実　習　目　的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	28	140
十文字学園女子大学	管理栄養士臨地実習	4	40
東京家政大学	管理栄養士臨地実習	6	30
合　計		57	569

〔中目黒〕

実　習　依　頼　校　等	実　習　目　的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会	教員免許介護等体験	19	95
東京医療保健大学	老年看護学	4	20
東京医科歯科大学歯学部	行動科学基礎	1	3
合　計		24	118

〔さんホーム中目黒〕

実　習　依　頼　校　等	実　習　目　的	実人数	延日数
東京保健医療大学	看護学実習	5	25
合　計		5	25

⑥ 家族介護教室

在宅で高齢者を介護する家族や援助者及び介護技術や知識の習得を希望される地域の方などに対し感染症防止対策を講じながら開催しました。

（特養　表 34）家族介護教室の実施状況

開催場所	開催日	内容	定員	実参加人数	延参加人数
特養東が丘	10/29	午前：ベッド上での介護	10	3	9
		午後：ベッドからの移乗	10	6	
	12/9	午前：在宅での介護予防	10	4	10
		午後：楽しく安全な食事介助	10	6	
特養東山	11/12	午前：移動・移乗介助	10	2	5
		午後：排泄・更衣介助	10	3	
	1/27	午前：楽しく安全な食事介助	10	5	10
		午後：移動・移乗介助	10	5	
特養中目黒	2/18	午前：「日常生活での体の変化とその対応」①動作編	10	5	10
		午後：「日常生活での体の変化とその対応」②食事編～	10	5	

開催場所	開催日	内容	定員	実参加人数	延参加人数
さんホーム目黒	11/25	午前：移乗、移動、（リフト、介護ベット、車いす）の取り扱い、おむつのあて方選び方	10	7	15
		午後：自助具の活用方法。（入浴・食事の自助具）	10	8	

⑦ 施設見学会

例年 11 月 11 日の介護の日にちなみ施設を見学できるよう、目黒区民を対象にした「高齢施設見学バスツアー」を計画していますが、今年度は、従来型とユニット型の比較ができるよう、中目黒ホームとさんホーム目黒の見学会を実施しました。

（特養　表 35）施設見学会参加人数

施設別 / 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度			22	57
令和 4 年度	3	中止		9
令和 3 年度	0	4		16

⑧ 講師派遣

施設に配置している福祉･医療の専門職員を、地域で開催される講座等に講師として派遣しました。

（特養　表 36）講師派遣実績表

講座名等	実施日	テーマ	主 催	派遣職員
ノーリフティングケア推進事業	8/22	ノーリフティングケアの推進	目黒区	施設長

⑨ 地域交流スペース貸出支援事業

特養利用者に影響のない、中目黒ホーム、さんホーム目黒で貸出を再開しました。

⑩ 車いす貸出事業

施設資源を地域に提供するため、1 回 1 週間を原則として車椅子を無料で貸出しています。

（特養　表 37）貸出回数

施設別 / 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度	5	3	4	2
令和 4 年度	12	0	2	2
令和 3 年度	21	4	1	2

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

7　運営管理

（1）会議

利用者サービスと合理的な施設運営を円滑に行うため、各職種間、職員相互間で必要に応じて各種会議を開催しました。施設間の会議は WEB も活用し開催しました。

（特養　表 38-1）施設合同会議

会議名	内容	開催回数
施設長連絡会議	特養 3 施設の運営について共通課題の検討、情報の交換をしました。	年 5 回
特養担当者会議	特養 3 施設共通の課題の検討、統一マニュアルの作成と定期的見直しを実施しました。	年 5 回

（特養　表 38-2）施設共通会議

会議名	内容	開催回数
サービス担当者会議	利用者のニーズに基づいて施設サービス計画の立案と決定、評価をしました。	月 2～6 回
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月 1～2 回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画・方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月 1 回
特養会議	新規入所者調整、各職種間の連携調整及びサービス提供における懸案事項の検討・計画・実施・評価をしました。	月 1 回
防災会議	防災訓練の計画立案・実施・評価をしました。 施設内の防災点検を実施しました。	月 1 回
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。 定期的、臨時に会議を開催し、感染症拡大を未然に防ぐ為の対策を検討し実施しました。	3 月に 1 回
介護サービス課調整会議	介護サービス課間のサービス、職員管理などの調整及び事業計画の進捗管理をしました。	月 1 回
介護サービス課･係長会議（ユニットリーダー会議）	課の課題の把握と改善策の検討並びにサービス提供状況の確認・検討及び職員や業務の管理をしました。	月 1 回
介護サービス課職員会議（ユニット会議）	サービス提供の進捗管理、課題の検討、連携・チームワーク強化、業務見直し及び評価、連絡調整などをしました。	月 1 回

（2）委員会

施設サービスの向上と業務の見直しをするために各種の専門委員会を設置し、問題解決に向けて各委員会の担当職員が主体的に検討・企画・実施しました。

（特養　表 39）特別養護老人ホームの委員会活動（共通）※開催回数は、施設毎で設定

委員会名	内容
サービス向上委員会	利用者サービスの向上を図るため、サービス内容の見直しや点検、企画と環境整備等の検討・実施・評価をしました。
行事委員会	利用者の声を聞き取りニーズに合った年間計画を作成し、企画・実施・評価をしました。
研修委員会	年間計画に基づき、施設内研修を実施、参加者に対して研修アンケートを実施、次年度の研修計画に反映しました。
実習生・新人育成委員会	新人職員の育成を効果的に実施するために、委員が個別の育成計画を作成し OJT を実施しました。実習生は年間受入計画を作成し計画に基づいて受け入れました。受け入れマニュアルを見直しました。
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施し再発防止に努めました。
人権委員会	身体拘束、高齢者虐待、個人情報など人権に関して検討しました。
苦情解決委員会	申し出のあった苦情・要望について調査し、改善案を検討・実施しました。
褥瘡予防委員会	褥瘡予防策の検討並びに褥瘡治療中の利用者の把握と改善策を検討しました。
広報委員会	利用者、家族、地域の方に向けた広報誌を発行しました。

委員会名	内容
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討し実施しました。
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討実施しました。産業医の健康相談を実施しました。
医療ケア委員会	介護職員が喀痰吸引等を安全に行うための施設内の実施体制の整備、喀痰吸引業務の実施計画や実施状況の管理を行いました。
腰痛予防対策委員会	厚労省「職場における腰痛予防対策指針」（改訂版）に基づき、介護現場における腰痛リスクを低減するために、介護方法の見直し、福祉機器の活用方法、職員への腰痛予防の啓発を行いました。
身体的拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化のための対策や、身体的拘束につながる不適切な援助がないか等を検討しました。

（3）研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通しての OJT を実施しました。都、目黒区及び東京都社会福祉協議会、その他の関係団体が実施する外部の研修（WEB 研修を含む）に参加しました。

また、当事業団が例年行う職層研修へは、対象職員が参加しました。

（特養　表 40-1）外部研修

[特養東が丘]

研修名	主催者	参加人数
介護サービス事業所等における BCP 作成研修（WEB 研修）	目黒区	2
リスクマネジメント研修（WEB 研修）	日本慢性期医療協会	1
施設ケアマネジメントの本質について（WEB 研修）	東京都社会福祉協議会	1
東京都高齢者福祉施設協議会　職員研修委員会　生活相談員研修委員会　全大会	東京都社会福祉協議会	1
ICF と褥瘡予防の観点に基づいたポジショニング・シーティング	東京都社会福祉協議会	1
認知症介護基礎研修（WEB 研修）	社会福祉法人東北福祉会	2
社会福祉施設長資格認定講習	全国社会福祉協議会	1
防火・防災管理講習	東京消防庁	1

[特養東山]

研修名	主催者	参加人数
介護報酬事務に関する研修会	東京都社会福祉協議会	3
東京都介護職員等によるたん吸引等の実施のための研修	東京都福祉保健局	4
ソーシャルワーク・アカデミー研修	東京都高齢者福祉施設協議会	1
防災対策検討委員会 KIZUKI～災害想定ゲーム～研修会	東京都社会福祉協議会	2
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修） 「高齢者虐待防止～高齢者の人権と尊厳を守ろう～」	目黒区	3

［特養中目黒］

研修名	主催者	参加人数
採用担当者研修・情報交換会	東京都社会福祉協議会	1
虐待防止の体制整備に関する研修	目黒区	1
栄養ケア・マネジメント研修会	東京都社会福祉協議会	1
特定給食管理講習会	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「ご利用者に対する声掛けと傾聴」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「介護職員に必要な医療知識」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「口腔ケアの大切さを知ろう」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「高齢者のレクササイズ」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「緊急時の介護　～とっさの症例判断・対応～」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「感染症の基礎知識と予防対策」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「認知症当事者から見た世界」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「利用者や家族からのハラスメントへの対応」	目黒区	1

［さんホーム目黒］

研修名	主催者	参加人数
特定給食管理講習会	目黒区	1
第 2 回特定給食管理講習会（WEB 研修）	目黒区	1
第 3 回特定給食管理講習会（WEB 研修）	目黒区	1
人が集まる経営とは	東京都社会福祉協議会	1
介護報酬請求事務に関する研修会（WEB 研修）	東京都社会福祉協議会	1
多職種で学ぶライフ加算マネジメント（WEB 研修）	東京都社会福祉協議会	1
経営実態調査フォローアップ研修	東京都社会福祉協議会	1
災害備蓄食の基礎知識	東京都社会福祉協議会	1
2024 年介護報酬改定	東京都社会福祉協議会	1
福祉職のためのメンタルヘルス	東京都保健福祉財団	3
生産性向上セミナー	東京都保健福祉財団	1
人材育成セミナー	東京都保健福祉財団	1
ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	2
ユニットリーダー実地研修	日本ユニットケア推進センター	1
ユニットリーダー実地研修	全国個室ユニットケア型施設推進協議会	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「利用者や家族からのハラスメント対応」	目黒区	2
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB 研修）「腰痛予防」	目黒区	5

（特養　表 40-2）主な施設内研修

〔施設内研修〕実施回数（回）

研修名	研修内容	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
新規職員研修	人権、個人情報、接遇マナー、認知症、事故防止、プライバシー保護	個別 1	1	1	1
	他職種研修（移乗・ポジショニング、自立支援、腰痛予防、栄養、感染症、ケアプラン作成	個別 1	2	0	1
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修管理職員研修	2	3	0	1
人権研修	人権・虐待防止・個人情報保護、ハラスメント	2	4	0	4
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に基づいた研修内容	2	2	0	2
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災害、苦情対応等	4	1	0	2
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎やインフルエンザへの対応	2	2	0	2
介護技術研修	口腔ケア、自立支援、「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」研修、サービスマナー研修	6	0	2	4
看取り研修	看取りの対応について	1	1	1	1
緊急対応研修	緊急対応（事例検討含む）	1	3	0	1

〔専門研修〕実施回数（回）

研 修 名	研修内容	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
職員の健康管理研修	メンタル・腰痛予防・産業医研修	1	0	0	1
ユニットリーダー研修	ユニットリーダーについて	0	0	1	1
ユニットケア研修	ユニット型特養について	0	0	1	1

（特養　表 40-3）法人研修（再掲）（人）

研 修 名	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
新任職員研修	7	10	3	11
入社 2 年目研修	2	5	1	6
サービス専門職A4 年目研修	5	1	0	1
サービス専門職A7 年目研修	2	1	1	0
サービス専門職A9 年目研修	1	1	0	0
指導職 2 級昇格者研修	2	0	0	1
指導職 2 級 5 年目研修	1	0	1	0
指導職 1 級昇格者研修	1	0	0	1
管理職 2 級昇格者研修	0	1	0	0
管理職 2 級 3 年目研修	0	0	1	0

（4）施設間評価

例年実施している施設間評価については、新型コロナの感染防止のため、施設訪問とオンラインを交えた委員会を開催しました。各施設の「良いと思う取り組み」や「課題」について事前に書面で調査を行い、会議にて現状の情報を共有、自施設で取り組める内容をそれぞれ検討しました。

（特養　表 40-4）施設間評価

対象施設	調査日	調査者
さんホーム目黒	12 月 5 日	特養東が丘介護士 1 人・特養東山介護士 1 人
特養東山	12 月 6 日	特養東が丘介護士 1 人・特養中目黒介護士 1 人・ さんホーム目黒介護士 1 人
特養東が丘	12 月 7 日	特養東山介護士 1 人・さんホーム目黒介護士 1 人
特養中目黒	12 月 7 日	特養東山介護士 1 人

（5）苦情・要望

施設ごとに、苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、規程に基づき速やかに対応し、内容を施設内に掲示しました。なお、「権利擁護センターめぐろ」等の外部機関に相談できることを重要事項説明書や掲示物にて示しています。

（特養　表 41）苦情・要望の件数（短期入所含む）

施設別／区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
苦情件数	0	0	3	2	4	3	2	0
処理件数	0	0	3	2	4	3	2	0
要望件数	0	0	2	1	1	1	0	0

（6）拘束をしない事故防止対策と事故発生時の緊急対応

各施設において、身体拘束することなく事故防止に努めました。また、「事故防止指針」に基づいて、事故防止のための定期的な委員会の開催、研修の実施等により事故の分析、防止に努めました。事故発生時は速やかに緊急対応を実施しました。

（特養　表 42）事故等の状況

施設別／区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
事故総数	513 (6)	35 (2)	522 (15)	62 (2)	96 (2)	12 (0)	304 (10)	30 (1)
ヒヤリハット	503	62	721	91	72	3	318	33

注 1)（　）内は事故総数のうち通院に至った事故

注 2）ヒヤリハット・・・事故ではないが事故になりそうな状態など

（7）個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて、個人情報の利用目的を明示し全利用者に対して説明の上、同意を得て個人情報を取り扱いました。また、個人情報保護について研修を行い、基本的な知識・取り扱い方法を周知徹底するように努めました。

（特養　表 43）個人情報開示実施数（短期入所含む）

施設別／区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
個人記録	0	0	18	5	13	0	3	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0

注 1）その他は、健康診断結果

（8）情報発信

① 施設毎に広報誌を作成しました。また、ホームページ上で施設の PR に努めました。

（特養　表 44）広報誌発行実績（回）

施設別 / 年度別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
令和 5 年度	6	12	9	24
令和 4 年度	5	11	3	8
令和 3 年度	4	11	4	4

注 1）特養中目黒：建物改修のため、令和 3 年度は 4 月～7 月、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績
注 2）さんホーム目黒：令和 3 年度は、運営を開始した 8 月からの実績

② 介護サービス情報の公表

介護サービス情報公表制度の調査を受け、インターネットで施設の情報を公表しています。

（9）防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、感染症対策を行い、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を行いました。また、地元の町会・自治会、消防署、消防団等の参加による総合訓練を一部再開しました。

消防署と区内特養ホームが防災対策等について連携していくための防災連絡協議会は、WEB 会議で行いました。

（特養　表 45）防災訓練実施状況（回）

施設別 / 訓練別	特養東が丘	特養東山	特養中目黒	さんホーム目黒
総合訓練	4	1	0	2
避難訓練	2	2	2	4
火災想定訓練	2	9	2	4
地震想定訓練	総合訓練に含む	8	0	4
夜間（想定）訓練	総合訓練に含む	9	2	2
通報訓練	0	3	1	4
図上訓練	0	2	1	5
その他の訓練	5	4	2	4
その他の訓練の内容（各施設の状況に応じ実施）	防災設備・自火報設備について、継走網訓練・地震体験・煙体験・AED 操作訓練 等			

（１０）衛生管理

居室の清掃、消毒を実施し、衛生的な環境を提供しました。また、寝具は週 1 回の交換を原則とし、年に 1 回のマット消毒と合わせ、清潔な寝具環境を提供しました。

新型コロナの感染予防のためマニュアル等に基づいた対応を行いました。

（１１）職員の健康管理

衛生委員会を定期的に開催し、職員のメンタル面を含めた健康管理の向上に努めました。

（１２）福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、指定管理施設は各施設において 3 年毎に第三者評価を受審、さんホーム目黒は毎年度受審しています。

評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

（特養　表 46-1）ひがしがおかホーム 評価結果

特に良い点	・サービスの終了時は入所者の状態や希望に応じ入院支援、看取りケアやグリーフケアを行っている。（長期入院での退所時病院でのカンファレンス参加、終末期の看取りケア、看取りケアで退所後のグリーフケア等） ・コロナ禍でも行事やレクリエーションを各フロアで行い、生活を楽しめるように支援している。（年間行事を各階で移動なく行う、体操、風船バレー、クイズ等レクリエーションをフロアごとに工夫して行い、生活を楽しめるよう支援している） ・各種会議、委員会や職員との面談などを通じて職員の意見、要望の把握に努めている。
更なる改善点	・コロナ禍を巡る環境に変化があったので地域との関係づくりの再構築を積極的に進めるとよい。 ・新型コロナウイルス対策を図り施設への見学や問い合わせには土曜日、日曜日、祝日も含めて随時対応することが望まれる。 ・利用者の重度化に伴い食堂が手狭になっており、落ち着いた雰囲気での食事を提供するため工夫するとよい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

（特養　表 46-2）なかめぐろホーム 評価結果

特に良い点	・事業所の機能を活かして地域貢献に取り組んでいる。（セミナー「特養の暮らしとは」開催、家族介護教室共催、地域活動グループ［手ぬぐい体操］へのスペース提供等） ・日常生活やレクリエーションに機能訓練の要素を取り入れ、利用者の ADL の維持・回復を図っている。（廊下や屋上までの歩行練習や風船バレー、輪投げ、トランプ等レクリエーションに機能訓練の要素を取り入れている） ・通信や利用者一人ひとりの家族に宛てたレターを送付し家族懇談会を開催するなど、家族との連携を大切にしている。
更なる改善点	・職員へのキャリアパスの理解が深まるような説明を工夫するとよい。 ・インフラがダウンした時のシミュレーションを行い BCP（事業継続計画）の実行性を高めるとよい。 ・車いすの整備・点検は、担当者を決めチェック表を作るなどして定期的に行うとよい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

（特養　表 46-3）さんホーム目黒 評価結果

特に良い点	・毎月「人権・サービス評価表」をチェックし、結果を共有するなど福祉業務に従事するのに相応しい職員の育成に取り組んでいる。 ・夜間看護師を配置しており、医療的ケアの必要な利用者に対応できる体制を整えている。 ・日常の支援では、業務優先ではなく、利用者の生活リズムに業務を合わせる事を意識して個人の意思や生活習慣を尊重している。
更なる改善点	・家族に利用者一人ひとりのホームでの様子を伝える方法を工夫するとよい。 ・経営層の役割や責任について、職員の理解は業務遂行上肝要なことであるが、種々の事情で理解度が低いので、理解促進に取り組まれたい。 ・法人及びホームの人材不足対策は、職員採用方法の創意工夫と併せて、退職抑止対策にも鋭意取り組むことを期待したい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

第２　在宅ケア多機能センター

在宅ケア多機能センターでは、介護保険法に基づく指定事業所として、小規模多機能型居宅介護サービス（以下、「多機能」という。）及び認知症対応型通所介護サービス（以下、「認知デイ」という。）を実施しました。

新型コロナの取り扱いは５類に移行しましたが、感染予防対策は、継続して実施しました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	「人権・サービス評価表」を毎月実施し、毎月の虐待防止検討委員会・人権委員会で日々の業務を振り返りながら、虐待を疑われるような介護を行っていないか委員会で確認し、施設内の他事業所とも情報を共有し、必要があれば検討しました。 また、全職員が「虐待の芽チェックシート」「人権自己チェックシート」の作成、チェックするとともに、高齢者虐待防止研修を実施し自身のサービス提供時の対応について振り返りと皆で考える機会としました。
(2) 新型コロナの予防対策を徹底し、発生と蔓延を防ぎます。	新型コロナの取り扱いが「５類」に引き下げられましたが、感染症予防対策は継続して行い、ご利用者やご家族、ケアマネジャーへ新型コロナに感染した場合等の対応についてもお知らせしました。感染者が発生した場合でも、ご本人やご家族にお知らせした上で、事業は継続しました。 また、東京都「高齢者入所施設向け感染症対策リーダー研修」を受け、それをもとに職員に対して研修を行いました。
(3) 地域の町会・自治会と連携し、行事や防災訓練等協力関係作りに努めます。	運営推進会議では、地域の行事の実施予定、状況等を伺い、都や区内での感染症の動向を確認しながら、地域の行事への参加やボランティアの受け入れを行いました。 また、学生の職場体験等も受け入れました。

（在宅　表 1）構成施設と定員

施設別／項目	東が丘在宅ケア多機能センター		東山在宅ケア多機能センター	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
各施設名	東が丘多機能 ホームあすなろ	東が丘デイホーム しいの木	東山多機能 ホームけやき	東山デイホーム いちょう
利用定員	登録定員　29 人 通い定員　18 人 泊り定員　 7 人	12 人	登録定員　29 人 通い定員　18 人 泊り定員　 7 人	12 人

２　令和５年度の利用実績

（在宅　表 2）利用率（%）

施設別／年度別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和５年度	79.7	65.8	78.6	58.3
令和４年度	77.9	60.8	82.1	71.7
令和３年度	80.0	59.3	79.3	70.0

注 1）多機能は登録定員に対する 1 日あたりの登録者数の割合

（在宅　表 3）新規契約者数と契約終了者数（人）

区分＼施設別		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
新規	介護	8	7	8	11
	予防	1	0	0	0
終了	介護	9	11	7	11
	予防	0	0	0	0

3　第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果等

（1）　東が丘多機能ホームあすなろ（多機能）

改善事項	具体的な取組みと結果
利用者、家族の要望等を再度確認していきます	夕食後に帰宅、入浴方法（自宅での入浴と同じように)、歩行の機会、買い物同行、歩行訓練としての中庭散歩など、利用者本人や家族の希望をケアプランに盛り込み、通いサービスで実施しました。
利用者送迎を工夫します	送迎担当職員の勤務シフトを工夫し、夕食後帰宅送迎の対応をしましたが、年度中途での職員の退職等があり、年間通した実施が困難でした。

（2）東が丘デイホームしいの木（認知デイ）

改善事項	具体的な取組みと結果
個別活動の拡充を図ります	集団で行う活動の合間の時間に、個別でできる用具等を用意し、個別でやって興味を持ってもらえたものは継続して行えるようにしました。
機能訓練の充実を図ります	拘縮がすすんでいる利用者に対してのマッサージや車椅子利用者でもデイ利用中は椅子に座り替え歩行する機会を多く取り入れました。また、個別で行う活動を脳トレーニングや指先を使った訓練として取り入れました。

（3）東山多機能ホームけやき（多機能）

改善事項	具体的な取組みと結果
利用されている皆さんが楽しめるように活動を工夫して提供します	区内の催し物について情報収集し、それぞれの利用者が好みそうな催しに参加していただきました。 馴染みのある場所への外出や、地域の店舗からの出前による食事を企画し、楽しんでいただける機会を作りました。 上記の他、日々の活動だけでなく、個別にやりたいことを聞き取り、やりたい事を実現するための支援を行いました。
地域の一員として、地域の活動などに参加できる機会を増やします	使用済み切手や電池のリサイクル活動を始め、季節の作品を作り近隣の店舗に飾らせていただくなど、地域の活動に参加する場を広げました。 また地域のお祭りでは、手作りのベビーカステラを利用者さんと一緒に販売するなど、新しい取り組みを始めました。

（4）東山デイホームいちょう（認知デイ）

改善事項	具体的な取組みと結果
個別性を大切に、一人ひとりが楽しめる活動の充実に努めます	集団での活動だけでなく、利用者お一人おひとりが楽しめる・希望する活動を個別に行えるように支援しました。活動内容はボランティアの方に来ていただいくものや、施設内だけでなく、外出したり、地域のお祭りに参加するなど、コロナ禍ではできなかった地域の方との交流の機会を作るようにしました。
デイでの活動状況を積極的に発信し、ご家族が安心して利用できるようにします	毎月発行する『いちょう便り』に写真を多くしたり、家族懇談会では、活動・ゲームなどの場面の写真を中心とした活動報告を行うなど、ご家族にデイホームでの活動の様子を伝えられるようにしました。

4　在宅ケア多機能センターの事業

多機能のサービス提供に当たっては、居宅サービス計画書及び小規模多機能型居宅介護計画書を作成し、利用者（家族等）に内容を説明、確認の上、サービスを提供しました。

また、認知デイのサービス提供に当たっては、居宅介護支援事業者または利用者（家族等）が作成した居宅サービス計画書に基づき認知症対応型通所介護計画書を作成し、利用者（家族等）に内容を説明、確認の上、サービスを提供しました。

（在宅　表 4）小規模多機能の利用状況

［東が丘多機能］　登録定員：29 人・通い定員：18 人・泊まり定員：7 人

月別 / 項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
登録者数	23	25	24	23	23	25	25	24	24	24	24	25	289
延登録者数	674	717	684	666	689	745	694	707	737	744	696	708	8,461
1 日平均登録者数	22.5	23.1	22.8	21.5	22.2	24.8	22.4	23.6	23.8	24.0	24.0	22.8	23.1
登録率（%）	77.6	79.7	78.6	74.1	76.6	85.5	83.8	81.4	82.1	82.8	82.8	78.6	79.7
通い利用者数	22	24	23	23	22	24	24	23	23	23	23	23	277
延通い利用者数	368	395	383	356	353	363	321	359	365	374	370	369	4,376
1 日平均通い利用者数	12.3	12.7	12.8	11.5	11.4	12.1	10.4	12.0	11.8	12.1	12.8	11.9	12.0
通い利用率（%）	68.3	70.6	71.1	63.9	63.3	67.2	57.8	66.7	65.6	67.2	71.1	66.1	66.7
宿泊利用者数	15	14	15	16	14	14	14	13	13	14	13	15	170
延宿泊利用者数	158	178	167	123	128	111	89	127	141	142	153	159	1,676
1 日平均宿泊利用者数	5.3	5.7	5.6	4.0	4.1	3.7	2.9	4.2	4.5	4.6	5.3	5.1	4.6
宿泊利用率（%）	75.7	81.4	80.0	57.1	58.6	52.9	41.4	60.0	64.3	65.7	75.7	72.9	65.7
訪問利用者数	9	10	10	7	7	9	11	7	7	7	7	7	98
延訪問回数（回）	63	73	61	56	48	52	49	45	47	45	39	43	621
短期入所者数	0	0	0	2	1	2	1	2	1	1	0	1	11
延短期利用日数	0	0	0	18	14	6	31	33	3	6	0	3	114

［東山多機能］　登録定員：29 人・通い定員：18 人・泊まり定員：7 人

月別 / 項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
登録者数	25	24	24	26	25	24	25	24	22	22	23	22	286
延登録者数	720	744	720	729	687	631	731	712	682	682	632	678	8,348
1 日平均契約者数	24.0	24.0	24.0	23.5	22.2	21.0	23.6	23.7	22.0	22.0	21.8	21.9	22.8
登録率(%)	82.8	82.8	82.8	81.0	76.6	72.4	81.4	81.7	75.9	75.9	75.2	75.5	78.6
通い利用者数	23	23	23	25	24	24	25	24	22	22	23	22	280
延通い利用者数	429	469	460	450	457	435	458	469	450	469	430	445	5,421
1 日平均 通い利用者数	14.3	15.1	15.3	14.5	14.7	14.5	14.8	15.6	14.5	15.1	14.8	14.4	14.8
通い利用率 (%)	79.4	83.9	85.0	80.6	81.7	80.6	82.2	86.7	80.6	83.9	82.2	80.0	82.2
宿泊利用者数	14	13	15	15	14	13	12	12	11	11	12	12	154
延宿泊利用者数	182	209	201	192	207	199	193	204	200	214	179	191	2,371
1 日平均 宿泊利用者数	6.1	6.7	6.7	6.2	6.7	6.6	6.2	6.8	6.5	6.9	6.2	6.2	6.5
宿泊利用率 (%)	87.1	95.7	95.7	88.6	95.7	94.3	88.6	97.1	92.9	98.6	88.6	88.6	92.9
訪問利用者数	12	12	13	15	15	15	17	15	16	16	18	17	181
延訪問回数 (回)	216	201	215	248	205	247	285	270	254	213	245	255	2,854
短期入所者数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
延短期利用日数	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4

注 1）登録者数＝各月内に有効な登録期間が 1 日でも含まれていた登録者の数
注 2）延登録者数＝各月の開所日ごとの登録者の月の延べ数
注 3）１日平均登録者数＝延登録者数÷開所日数
注 4）登録率（%）＝1 日平均登録者数÷登録定員×100
注 5）利用者数＝各サービスを各月に 1 日でも利用した利用者の数
注 6）延利用者数＝各サービスの各日の利用者の月の延べ数
注 7）1 日平均利用者数＝各サービスの延べ利用者数÷開所日数
注 8）利用率（%）＝1 日平均利用者数÷定員×100
注 9）延訪問回数＝各月に訪問サービスを行った延回数
注 10）介護予防小規模多機能居宅介護の利用者はいない

（在宅　表 5）認知デイの利用状況

［東が丘認知デイ］　定員：12 人

月別 / 項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
契約者数	27	27	27	26	25	25	28	26	25	24	24	23	307
延契約者数	299	310	301	309	303	303	336	308	330	304	276	287	3,666
1 日平均契約者数	10.0	10.0	10.0	10.0	9.8	10.1	10.8	10.3	10.6	9.8	9.5	9.0	10.0
利用者数	27	27	27	26	24	24	26	24	24	24	24	21	298
延利用者数	251	262	256	242	233	225	260	249	264	228	207	210	2,887
1 日平均利用者数	8.4	8.5	8.5	7.8	7.5	7.5	8.4	8.3	8.5	7.4	7.1	6.8	7.9
利用率（%）	70.0	70.8	70.8	65.0	62.5	62.5	70.0	69.2	70.8	61.7	59.2	56.7	65.8

［東山認知デイ］　定員：12 人

項目＼月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
契約者数	25	27	27	27	26	26	26	27	26	26	26	25	314
延契約者数	267	270	279	287	283	290	291	260	250	258	230	226	3,191
1 日平均契約者数	8.9	8.7	9.3	9.3	9.1	9.7	9.4	8.7	8.1	8.3	7.9	7.3	8.7
利用者数	24	26	25	26	26	24	26	25	24	25	24	23	298
延利用者数	223	226	235	239	220	204	211	204	206	210	185	190	2,553
1 日平均利用者数	7.4	7.3	7.8	7.7	7.1	6.8	6.8	6.8	6.6	6.8	6.4	6.1	7.0
利用率（%）	61.7	60.8	65.0	64.2	59.2	56.7	56.7	56.7	55.0	56.7	53.3	50.8	58.3

注 1）契約者数＝各月内に有効な契約期間が 1 日でも含まれていた契約者の数
注 2）延契約者数＝各月の開所日ごとにその日を利用日とする契約者の月の延べ数
注 3）1 日平均契約者数＝延契約者数÷開所日数
注 4）利用者数＝各月に 1 日でも利用をした利用者の数
注 5）延利用者数＝各日の利用者の月の延べ数
注 6）1 日平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数
注 7）介護予防通所介護の利用者はいない
注 8）利用率（%）＝1 日平均利用者数÷定員×100

（在宅　表 6）利用者の年齢構成（令和 6 年 3 月 31 日現在）

年齢層別＼施設別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40～59 歳	0	0	0	0	0	0	0	1
60～64 歳	0	0	0	0	0	0	0	1
65～69 歳	0	0	0	0	1	0	0	1
70～74 歳	0	0	0	3	0	0	2	0
75～79 歳	0	1	2	1	1	0	0	0
80～84 歳	1	5	1	0	1	4	3	1
85～89 歳	0	5	2	7	1	2	1	3
90～94 歳	0	9	1	3	1	5	2	5
95～99 歳	1	1	0	1	1	3	0	3
100 歳～	0	0	0	0	1	1	0	0
合計	2	21	6	15	7	15	8	15
最低年齢	81	77	76	71	66	82	74	59
最高年齢	96	99	92	95	100	101	93	98
平均年齢	88.5	87.7	83.3	84.8	85.7	90.4	83.1	85.4
	87.0		84.4		88.0		84.2	

（在宅　表 7）利用者の要介護状態区分（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分別＼施設別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
現在申請中	0	0.0	0	0.0	1	4.5	0	0.0
要支援 1	2	8.7	0	0.0	0	0	0	0.0
要支援 2	2	8.7	0	0.0	1	4.5	0	0.0
要介護 1	3	13.1	1	4.8	3	13.6	1	4.3
要介護 2	7	30.4	2	9.5	8	36.4	2	8.7
要介護 3	5	21.7	3	14.3	3	13.6	10	43.5
要介護 4	1	4.3	5	23.8	4	18.2	2	8.7
要介護 5	3	13.1	10	47.6	2	9.2	8	34.8
合　計	23	100.0	21	100.0	22	100.0	23	100.0

（在宅　表 8）平均介護度の推移

年度別＼施設別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和 5 年度	2.3	4.0	2.4	3.6
令和 4 年度	2.5	3.9	2.5	3.7
令和 3 年度	2.9	3.6	2.5	3.3

注 1）平均介護度計算　要支援 1、2 は 0.375 として計算します。

（1）介護サービス

利用者の心身の状況、心理状況に応じた援助を行いました。

（在宅　表 9）日常生活動作等の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

状況別＼施設別		東が丘				東山			
		多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
契約者数		23		21		22		23	
内訳		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
食事介助	自立	18	78.3	9	42.8	15	68.2	8	34.8
	見守り等	3	13.0	1	4.8	3	13.6	3	13.0
	一部介助	0	0.0	6	28.6	2	9.1	4	17.4
	全介助	2	8.7	5	23.8	2	9.1	8	34.8
口腔ケア	自立	16	69.6	6	28.6	13	59.1	7	30.4
	一部介助	5	21.7	8	38.1	8	36.4	6	26.1
	全介助	2	8.7	7	33.3	1	4.5	10	43.5
入浴介助	自立	4	19.0	0	0.0	1	5.5	0	0.0
	一部介助	13	62.0	9	52.9	15	83.4	6	33.4
	全介助	4	19.0	8	47.1	2	11.1	12	66.6
	(機械浴)	1	4.5	1	5.9	1	5.5	8	44.4
	(リフト浴)	3	13.6	12	70.6	3	16.7	3	16.6

施設別 / 状況別		東が丘				東山			
		多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
契約者数		23		21		22		23	
内訳		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
移動介助	自立	8	34.9	3	14.3	10	45.4	0	0.0
	見守り等	5	21.7	1	4.7	4	18.2	5	21.8
	一部介助	5	21.7	11	52.4	6	27.3	9	39.1
	全介助	5	21.7	6	28.6	2	9.1	9	39.1
	(車椅子使用者)	6	25.0	11	50.0	2	9.1	9	39.1
移乗介助	自立	12	52.2	4	19.0	13	59.1	2	8.7
	見守り等	5	21.8	4	19.0	5	22.7	8	34.8
	一部介助	3	13.0	7	43.0	3	13.6	5	21.7
	全介助	3	13.0	4	19.0	1	4.6	8	34.8
着脱介助	自立	7	30.4	6	27.3	5	22.7	2	8.7
	見守り等	7	30.4	2	9.1	6	27.3	4	17.4
	一部介助	6	26.1	7	31.8	8	36.4	6	26.1
	全介助	3	13.1	7	31.8	3	13.6	11	47.8
排泄介助	自立	10	43.5	3	14.3	15	68.2	0	0
	見守り等	0	0.0	8	38.1	0	0	8	34.8
	一部介助	10	43.5	3	14.3	6	27.3	3	13.0
	全介助	3	13.0	7	33.3	1	4.5	12	52.2

（2）入浴サービス

入浴を希望される利用者に週 1～2 回実施しました。入浴ではプライバシーに配慮し、利用者の障害や健康状態に応じて、機械浴・リフト浴・一般浴により行いました。

（3）食事サービス

食事は、管理栄養士が作成したメニューに基づき常食のほか、主食では粥・ミキサー食等、副食では刻み食・極刻み食・ミキサー食等、利用者の咀嚼（そしゃく）機能、消化・吸収機能等の身体状況に合わせて提供しました。

なお、アレルギーなどで食べられない食品がある場合は、他の食品に代えて提供しました。

（在宅　表 10）利用者の食事形態（令和 6 年 3 月 31 日現在）

施設別 / 形態別		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
主食	米飯	18	12	16	15
	全粥	4	6	6	3
	パン	1	0	0	0
	パン・粥ミキサー	0	2	0	0

形態別＼施設別		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
副食	常食	18	7	15	8
	刻み	5	6	3	7
	極刻み	0	6	3	3
	ミキサー食	0	1	1	0
経管栄養		0	1	0	5
その他（持参）		0	0	0	0

注 1）糖尿病・腎臓病等については別に個別対応

（4）機能訓練サービス

利用者が日常生活を営むのに必要な筋力の維持・向上を図るための訓練を実施し、在宅で主体的な生活を送り、また、社会参加ができるよう援助を行いました。

機能訓練の実施には、看護師や機能訓練指導員が関わる機会を作り、機能訓練の質の向上を図りました。

（5）アクティビティサービス

レクリエーション・趣味活動・体操・行事などの活動を通して、利用者相互の交流を深め、生きがいのある快適で豊かな日常生活を送れるよう支援しました。活動内容については利用者にアンケートを実施し、利用者自身が活動を選択し希望の活動に参加することにより、精神的満足度を高められる体制を整えました。

新型コロナの感染予防のため、行事計画を見直し、内容の変更や規模を縮小して実施しました。また、感染予防のためボランティアの受け入れは中止していましたが、演芸・演奏などのボランティアは受け入れを再開しました。

（在宅　表 11）主な実施行事

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
4	・お花見 ・茶話会	・お花見 ・中庭散歩 ・アロマの会	・お花見 ・お花見弁当	・お花見
5	・菖蒲湯 ・端午の節句	・菖蒲湯 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・香り湯 ・端午の節句 ・園芸 ・防災訓練	・菖蒲湯 ・壁掛け作品作り
6	・近隣ドライブ （駒沢公園） ・おやつレク	・しいの木喫茶 ＆おやつ作り ・アロマの会	・バイオリンコンサート ・防災訓練	・避難訓練(火災想定) ・小外出（中目黒） ・家族見学、相談会 ・壁掛け作品作り ・防災訓練
7	・七夕 ・外出 （パーシモンほたる祭）	・七夕 ・アロマの会 ・書道 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・七夕ウィーク ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・七夕 ・壁掛け作品作り
8	・夏祭り	・夏祭り ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・けやき夏祭り （3 日間）	・納涼会（3 日間） ・壁掛け作品作り

9	・敬老会	・敬老会 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶 ・防災訓練	・敬老週間 ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・敬老会 ・壁掛け作品作り
10	・運動会 ・お楽しみ会 ・東根住区祭り ・貝塚まつり ・総合防災訓練	・運動会 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・貝塚祭り ・防災訓練	・ドライブ(東京タワー) ・壁掛け作品作り
11	・焼き芋の会 ・近隣へドライブ ・アウトリーチコンサート ・保育園と交流会 ・総合防災訓練	・歌声喫茶 ・おやつ作り ・音楽レクリエーション ・アウトリーチコンサート ・外出(目黒歴史資料館)	・運動会 ・天空公園収穫祭 ・防災訓練	・ドライブ(神宮外苑) ・運動会 ・壁掛け作品作り ・避難訓練(火災想定)
12	・望年会 ・ゆず湯	・望年会 ・ゆず湯 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・ゆず湯 ・望年会 ・出前を楽しむ会 ・防災訓練	・ゆず湯 ・望年会 ・壁掛け作品作り
1	・新年会 ・初詣	・初詣 ・新年会 ・書き初め ・歌声喫茶 ・音楽レクリエーション	・初詣(祐天寺等周辺神社) ・紅白雪合戦とお汁粉 ・新春バイオリンコンサート ・防災訓練	・初詣外出(祐天寺) ・お正月 ・お汁粉作り(中止) ・ドライブ(駒沢公園) ・壁掛け作品作り
2	・節分	・節分 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・節分 ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・節分 ・壁掛け作品作り
3	・ひな祭り ・お花見 (中庭・ドライブ)	・ひな祭り ・お花見外出(祐天寺) ・歌声喫茶 ・音楽レクリエーション ・外出(中根住区センター文化祭) ・近隣散歩(区民キャンパス内公園)	・ひな祭り ・そして100年の音楽会 ・お花見ウィーク ・お花見弁当 ・防災訓練	・ひな祭り ・家族懇談会 ・お花見

(6) 生活相談

利用者・家族が安心して在宅生活を継続できるよう、認知デイでは居宅介護支援事業所のケアマネジャー等とも連携を図り、介護、健康、栄養等について個別に助言を行い相談に応じました。

(7) 健康状態の確認

活動前のバイタルチェック、月1回の体重測定を実施しました。また、利用中の体調変化等の疾病の早期発見に努め、健康状態に変化があった場合は家族へ連絡しました。

新型コロナに対する予防対策や感染症対策を「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」に基づき実施を徹底しました。

高齢者施設の施設内で業務する全従業者を対象にPCR検査を毎週実施しました。

(在宅　表12) 新型コロナ感染症発生状況 (延人数)

施設別 / 区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
利用者	0	5	8	1
職員	4	5	8	4

（8）家族との連携の充実

在宅介護の支援と情報提供を行うとともに、連絡ノート等を活用し利用者の在宅生活の状況や体調変化を共有できるよう家族との連絡を密にしました。

（在宅　表 13）家族懇談会等実施状況

	東が丘				東山			
	小規模多機能		認知症対応デイ		小規模多機能		認知症対応デイ	
	回数	参加	回数	参加	回数	参加	回数	参加
家族懇談会	0	0	1	8	0	0	1	3
活動見学会	0	0	0	0	0	0	0	0

（9）利用率向上の取り組み

多機能ホームについては、東が丘、東山ともに目標登録率が 80%を超える月もあるなど、利用終了者がでた場合でも新たな利用者を速やかに確保することができ、年間を通して 80%に近い登録率を維持できました。

認知デイについては、東が丘、東山ともに、居宅介護支援事業所あてに毎月お知らせ等を配布し、利用者募集と事業所ＰＲに努めましたが、特養ホーム等への入所や入院から利用終了となる方が多く目標利用率には届きませんでした。

5　運営管理

（1）会議・委員会

特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所等が併設されている施設機能を有効に活用し、職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を行うための意見交換ならびに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

施設間の会議については、感染症予防対策のため WEB 会議も活用しながら開催しました。

（在宅　表 14）各種会議・委員会

施設合同会議		
会議名	内容	開催回数
在宅担当者会議	2 施設共通の課題の検討、事業の報告等を実施しました。	年 5 回（紙面・WEB・対面を活用）

施設共通会議・委員会		
会議名	内容	開催回数
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月 1～2 回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月 1 回
防災会議	毎月 1 回防災巡回を実施し、改善点の検討、訓練の具体的内容の検討、意見調整等を行い、効果的な訓練を実施	月 1 回
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。定期的、臨時に会議を開催し感染症拡大を未然に防ぐ為の対策を検討・実施	3 月に 1 回
多機能会議	利用者サービス・業務に関すること	月 1 回
デイホーム会議（認知デイ）	利用者サービス・業務に関すること	月 1 回
ケース会議	通所介護計画の作成・検討・評価	月 1～2 回

施設共通会議・委員会		
会議名	内容	開催回数
サービス担当者会議	小規模多機能居宅介護計画書の作成・検討・評価	月 1～2 回
研修委員会	研修開催についての検討実施	月 1 回
苦情解決委員会	苦情要望の内容について検討実施	月 1 回
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	月 1 回
虐待防止検討委員会 人権委員会	虐待防止・個人情報保護・成年後見人について実施	月 1 回
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施	2 月に 1 回
腰痛予防委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	2 月に 1 回
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討・実施	年 3 回

（2）研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通しての OJT を実施しました。また、多くの研修が中止等になりましたが、東京都社会福祉協議会等、他の関係機関、団体が実施する外部の研修（WEB 研修を含む）に参加しました。

事業団が毎年委託にて実施する職層研修は、今年度も予定通り実施され対象職員が参加しました。

(在宅　表 15-1）外部研修

[東が丘]

研修名	主催等	参加人数
高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健財団	2
西部地区ケアマネジャー研修会	西部包括支援センター	1

[東山]

研修名	主催等	参加人数
在宅療養研修	北部包括支援センター	1
小規模多機能、看護小規模多機能について	目黒区事業所連絡会 短期入所・地域密着型分科会	1
介護職員のためのスキルアップ研修	目黒区	8
発達障害を正しく知り、事例を通し本人そして家族への支援方法を学ぶ	ケアマネ分科会	1
BPSD ケアプログラム研修	目黒区健康福祉部福祉総合課	1
区西南部高次脳機能障害者支援普及事業 「専門的リハビリテーションの充実」	日産厚生会玉川病院	2
管理職向け研修 マネージャーとしての課題を整理する	インソース公開セミナー	1
認知症介護実践者研修	東京都福祉人材センター研修室	1
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	1
認知症対応型サービス事業管理者研修	社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	1

（在宅　表 15-2）法人研修（再掲）（人）

研 修 名	東が丘	東山
新任職員研修	0	1
入社 2 年目研修	0	1
サービス専門職A4 年目研修	2	0
サービス専門職A7 年目研修	0	1
サービス専門職A9 年目研修	1	1
指導職 2 級昇格者研修	1	0
指導職 1 級昇格者研修	1	0
管理職 2 級昇格者研修	0	1
管理職 2 級 3 年目研修	0	1

（在宅　表 15-3）主な施設内研修実施回数（全職員対象）

研修名	研修内容	東が丘	東山
新規職員研修	人権、個人情報、接遇マナー、認知症、事故防止、プライバシー保護	0	2
	他職種研修（移乗・ポジショニング、自立支援、腰痛予防、栄養、感染症、ケアプラン作成	0	1
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修 管理職員研修	3	1
人権研修	人権・虐待防止・個人情報保護、ハラスメント	2	2
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に基づいた研修内容	2	1
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災、苦情対応害等	2	2
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎やインフルエンザへの対応	2	1
介護技術研修	サービスマナー研修、ポジショニング研修、食事介助・栄養研修	2	1
緊急対応研修	緊急対応（事例検討含む）	1	個別
認知症研修	認知症についての理解、周辺症状等について	2	個別
レクリエーション研修	各状況に応じたレクリエーションの紹介、各フロアでの情報交換等	2	0
個人情報保護研修	個人情報保護について	1	1
申し送り・報連相研修	マニュアルを使用しポイントを確認する	1	0

（3）苦情・要望

事業所ごとにサービス内容に関する相談や苦情の窓口及び責任者を設置し、規程により要望・苦情等に速やかに対応できる体制を整えています。

（在宅　表 16）苦情・要望の件数

施設別 / 区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
苦情件数	0	2	3	3
処理件数	0	2	3	3
要望件数	0	0	2	0

（4）安心、安全なサービス提供

各施設において身体拘束を行うことなく、また、事故の防止に努め安心で安全な環境を提供しました。

高齢者を介護・支援する過程においては、事故が起こる可能性が常にあるため、安全な環境かどうか常に見直しを行い、介助方法の統一を図りケアプランに基づいた安心・安全なサービス提供を行いました。

（在宅　表 17）事故件数

施設別 / 区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
事故総数（転倒・外傷等）	13（1）	2（1）	14（5）	8（0）
ヒヤリハット	8	17	3	21

注 1）（　）内は事故総数のうち、通院し医療機関で治療検査受けかつ目黒区に届け出た件数
注 2）ヒヤリハット･･･事故に至らないが、事故になりそうな状態

（5）個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、全利用者に対して説明の上、同意を得て個人情報を取り扱いました。

情報開示については、事業団の情報開示規程に基づき行います。

（在宅　表 18）情報開示申請数

施設別 / 申請数	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
情報開示申請数	0	0	0	0

（6）利用前の事前説明

利用にあたっては、利用前に自宅へ訪問し、契約書・重要事項説明書、サービス内容やサービス提供体制などについて、理解していただけるように説明しました。また、小規模多機能型居宅介護計画書や認知症対応型通所介護計画書の作成に当たっては、利用者の要望に沿って作成し、丁寧に説明を行い利用者の承諾を得る等、利用者が利用に際して意思決定がスムーズにできるように支援しました。

小規模多機能型居宅介護の利用開始にあたっては、サービスに関しての説明を十分に行い、利用がスムーズに移行できるように、利用前のケアマネジャーや利用事業所からの引継ぎ等を密に行い、居宅サービス計画書を作成しました。

（7）防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、感染症予防のため規模を縮小するなど内容を変更し、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を行いました。

（8）地域との交流・ボランティアの受入

新型コロナへの感染予防対策を講じ、理・美容、バイオリン演奏や、夏体験ボランティアなどを受け入れました。

（在宅　表 19）ボランティアの受入状況

施設別／内容別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	4	6	6	7	0	0	0	0
クラブ活動支援	0	0	0	0	0	0	0	0
技術支援	1	46	1	37	1	18	1	9
定例行事支援	8	12	6	6	26	46	20	20
行事支援	9	9	5	5	6	12	0	0

注 1）生活支援・・・散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみなど
注 2）技術支援・・・理美容

（9）　実習生、研修生、中学生の体験学習等の受け入れ

各施設において、実習生、研修生及び中学生の体験学習等の受け入れを新型コロナの感染状況を見極め可能な限り受け入れを行いました。

（在宅　表 20）実習生等の受入状況

〔東が丘〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	18	90
田園調布学園大学	介護福祉士	2	4
合　計		20	94

〔東　山〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	16	80
合　計		16	80

（１０）運営推進会議

新型コロナウイルスが５類に移行したことにより、サービスを地域に開かれたものとし、サービスの質の向上を図ることを目的として、コロナ禍以前のように定期的に開催しました。ご家族をはじめ、地域の方や目黒区、包括支援センターの職員に出席していただき、事業所のサービス向上に繋がるようにしました。

（在宅　表 21）運営推進会議の開催状況

［東が丘小規模多機能］

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5/18	5	2	3	1	3	利用者状況、運営状況、事故等報告、意見・情報交換
7/20	3	2	1	1	3	
9/21	5	2	1	1	3	
11/16	2	1	2	2	3	
1/18	4	2	1	0	2	
3/21	5	2	0	1	3	利用者状況、運営状況、事故等報告、意見・情報交換　外部評価

［東が丘認知症対応デイ］

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5/18	8	0	3	1	3	出席者紹介、事業計画説明、現状報告
11/16	7	0	2	2	3	利用者状況、運営状況、事故報告、意見・情報交換

［東山小規模多機能］

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5/25	3	0	5	1	3	利用者状況、運営状況、事故等報告、意見・情報交換
7/27	新型コロナウイルス感染症発生のため書面での開催					
9/28	2	0	2	2	1	利用者状況、運営状況、事故等報告、意見・情報交換
11/30	3	0	4	1	2	利用者状況、運営状況、事故等報告、意見・情報交換　外部評価
1/29	2	1	3	1	2	
3/21	2	0	2	2	2	

［東山認知症対応デイ］

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
9/28	3	0	2	2	1	利用者状況、運営状況、事故等報告、意見・情報交換
3/21	2	0	2	2	3	

第３　ケアプランセンター

各ケアプランセンターで、介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業所として居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等を行うとともに質の高いケアマネジメントの実施に取り組みました。

なお、利用者への安定した質の高いサービス提供、効率の良い事業運営を行うため、東が丘ケアプランセンターは、5月で事業終了しましたが、同センターの利用者には、意向を確認の上、東山ケアプランセンター及びさんホーム目黒ケアプランセンター等へ移行していただきました。

新型コロナの取り扱いは5類に移行しましたが、感染予防対策は、継続して実施しました。

１　令和5年度重点項目の具体的な取組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
人権意識の徹底を図り、虐待防止に取り組みます	東京都や目黒区の虐待防止研修を受講した職員が、その内容を他の職員に周知し共有しました。 併設の特別養護老人ホームと共に、月１回「虐待セルフチェックシート」を作成し、職員自らの行動を振り返る機会を作りました。地域包括支援センターと連携・協力し、地域で暮らす要介護者などの在宅生活の支援を総合的に行いました。
収益の改善に向け取り組みを強化します。	収支状況を含めた運営上の課題を総合的に判断し、5月に東が丘ケアプランセンターの事業を終了し、配置職員を 6 月から東山及びさんホーム目黒ケアプランセンターへ異動させ、職員体制の充実図るとともに、介護保険の体制加算取得などにより収支改善を図りました。
研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります。	各職員のスキルの状態に応じた研修に参加し、対人援助、介護支援専門員としてのスキルをさらに向上させました。また、各所での毎日のミーティングをはじめ、ケース会議、センター会議をとおし職員間の連携を図り専門性を高めました。

（ケア　表1）利用率（%）

	東が丘	東山	さんホーム目黒
令和5年度	44.4%	87.5%	93.1%
令和4年度	82.1%	80.0%	99.5%
令和3年度	83.5%	72.4%	96.2%

注）利用率(%)＝(ケアプラン作成件数＋予防プラン作成件数/2)÷介護支援専門員担当上限数合計 1,404 件

２　第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

（１）東山

改善事項	具体的な取り組みと結果
ケアプランセンター以外の苦情、要望等の申し立て窓口の周知を再度行います	苦情、要望等は、法人の苦情解決第三者委員、行政等の外部の機関への申し立て、相談ができることを、今年度の利用者アンケートの配布の際、案内書類と共に丁寧に説明したことで、周知度が上がりました。

（2）さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者の不安や迷いに寄り添った支援を継続する	訪問先でも過去の相談履歴や介護保険情報などが確認できるように、ケアマネ専用アプリを搭載したタブレット端末と Wi-Fi を訪問へ持参し、迅速にプランの提示等を行い、利用者の不安に寄り添った支援を継続しました。

3　居宅介護支援事業

（1）居宅サービス計画の作成

居宅サービス計画（ケアプラン）作成においては利用者宅を訪問し、利用者及び家族に面接して要望・意見を聞き取り、支援するうえで解決すべき課題の把握及び分析を行い、介護保険法の自立支援の観点に立って作成しました。 また、毎日のミーティングでケース報告を丁寧に時間をかけて行い、作成したケアプランが「自立支援」に資する適切なものであるか、運営基準、解釈通知に適合しているかを職員相互で検証しました。

（2）サービス事業者との連絡調整

当該地域における居宅サービス事業の内容を把握するために、事業者連絡会に積極的に参加し、情報収集に努めるとともに、サービスを安定して提供できるように事業者との連絡調整を行いました。特に併設のサービス事業所（通所介護・短期入所生活介護等）とはその利点を活かし、利用者情報の交換を積極的に行いました。

（3）居宅サービス計画の実施状況把握

居宅サービス計画作成後においても、利用者宅を訪問して課題把握を行い、居宅サービス計画の実施状況把握に努めました。把握した課題について所内の職員ミーティングにて検討し、他職員からの助言や意見を活かし改善に努めました。

前年度に引き続き、新型コロナの感染予防のため、訪問から電話に切り替えて課題の把握を行うなど非日常下においても柔軟に対応しました。

（4）サービス担当者会議の開催

居宅サービス計画を効果的なものとするために、必要に応じてサービス担当者会議を開催し、広く利用者・家族及びサービス担当者、関係者から意見を求めました。

（5）サービス提供方法の説明等

制度やサービスの内容については、パンフレット等を活用し分かりやすい説明に努めました。

利用者が複数のサービス事業者紹介やサービス事業者等の選定理由の説明を求めることができることを契約書に記載し、利用者に説明しました。

（ケア　表 2）ケアプラン作成件数（要介護のみ）

〔東が丘〕※5 月末で事業終了

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約件数		70	66											136
介護給付実績	要介護 1	29	14											43
	要介護 2	17	11											28
	要介護 3	11	2											13
	要介護 4	4	2											6

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	要介護5	4	3											7
	合　　計	65	32											97
	利用率（%）	61.9	30.5											46.2
新規契約件数		0	0											0
契約終了件数		5	66											71
契約終了理由	非該当へ	0	0											0
	要支援へ	1	0											1
	施設入所	2	2											4
	長期入院	0	0											0
	死亡	0	1											1
	その他	2	63											65

〔東山〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数		104	140	138	138	135	137	135	136	133	136	137	138	1,607
介護給付実績件数	要介護1	39	53	52	51	51	50	46	46	45	45	52	53	583
	要介護2	23	33	35	34	36	36	40	37	35	36	37	36	418
	要介護3	17	28	30	29	29	30	33	33	33	32	32	30	356
	要介護4	8	9	8	9	6	9	6	4	3	3	3	3	71
	要介護5	10	9	10	9	8	8	7	8	7	8	6	8	98
	合　　計	97	132	135	132	130	133	132	128	123	124	130	130	1,526
	利用率（%）	92.4	94.3	96.4	94.3	92.9	95.0	94.3	91.4	87.9	88.6	92.9	92.9	92.8
新規契約件数		4	32	3	3	3	1	1	3	2	4	10	5	71
契約終了件数		3	0	3	2	5	1	7	2	5	3	9	4	44
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援へ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
	施設入所	2	0	1	2	2	1	4	1	4	1	1	3	22
	長期入院	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	4
	死亡	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	2	0	7
	その他	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	3	1	8

〔さんホーム目黒〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数		106	106	133	133	135	136	141	138	136	136	127	118	1,545
介護給付実績件数	要介護1	51	50	60	56	60	59	58	55	53	53	46	39	640
	要介護2	19	25	31	33	33	39	36	43	41	41	38	38	417
	要介護3	13	19	19	18	24	20	26	20	18	19	19	16	231
	要介護4	12	13	16	13	11	13	12	12	10	11	12	12	147
	要介護5	5	2	7	8	8	7	10	12	12	12	9	8	100
	合　　計	100	109	133	128	136	138	142	142	134	136	124	113	1,535
	利用率（%）	95.2	103.8	95.0	91.4	97.1	98.6	101.4	101.4	95.7	97.1	88.6	80.7	95.3

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約件数		3	5	29	7	7	7	8	6	1	1	1	0	75
契約終了件数		4	5	2	7	5	6	3	9	3	1	10	9	64
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援へ	0	0	1	2	2	2	1	1	0	0	0	2	11
	施設入所	2	4	1	1	0	2	2	5	3	1	0	1	22
	長期入院	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	死亡	0	1	0	2	1	0	0	1	0	0	3	3	11
	その他	0	0	0	1	2	2	0	1	0	0	7	3	16

注 1）利用率(%)＝プラン作成件数÷介護支援専門員担当上限数

注 2）月遅れ請求の場合は、国保連へ請求した月に計上

4　介護予防支援事業

包括支援センターとの委託契約に基づき、依頼のあった利用者に対し、利用者本位の自立した生活が送れるよう計画を作成し支援しました。

（ケア　表 3）予防プラン作成件数（要支援のみ）

〔東が丘〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数		9	10											19
予防給付実績	要支援 1	5	3											8
	要支援 2	4	2											6
	合　　計	9	5											14
	利用率（%）	37.5	20.8											29.2
新規受託件数		1	1											2
受託終了件数		0	10											10
受託終了理由	非該当へ	0	0											0
	要介護へ	0	0											0
	施設入所	0	0											0
	長期入院	0	0											0
	死亡	0	0											0
	その他	0	10											10

〔東山〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数		12	17	17	17	17	16	15	14	14	11	12	11	173
予防給付実績	要支援 1	4	6	6	6	6	4	4	3	3	2	2	1	47
	要支援 2	7	10	10	10	10	10	9	10	10	8	8	7	109
	合　　計	11	16	16	16	16	14	13	13	13	10	10	8	156
	利用率（%）	48.5	50.0	50.0	50.0	50.0	43.8	40.6	40.6	40.6	31.3	31.3	25.0	41.5
新規受託件数		1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
受託終了件数		0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0	1	6

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	5
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

〔さんホーム目黒〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数		19	17	23	22	22	21	21	21	21	21	16	12	236
予防給付実績	要支援1	7	7	9	9	8	6	8	7	7	8	5	7	88
	要支援2	11	11	16	17	18	17	17	17	18	17	12	12	183
	合　　計	18	18	25	26	26	23	25	24	25	25	17	19	271
	利用率（%）	75.0	75.0	78.1	81.3	81.3	71.9	78.1	75.0	78.1	78.1	53.1	59.4	73.6
新規受託件数		0	0	7	1	1	0	0	1	0	1	0	1	12
受託終了件数		0	2	1	2	1	1	0	1	0	1	5	5	19
受託終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	0	2	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	6
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	5	11

注1）利用率(%)＝プラン作成件数÷介護支援専門員担当上限数合計 24件

注2）月遅れ請求の場合、国保連へ請求した月に計上

5　介護保険認定調査

目黒区との契約に則り、介護保険認定調査を行いました。

（ケア　表4）介護保険認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東が丘	0	0											0
東　山	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	10
さんホーム目黒	2	3	3	1	3	2	2	2	1	3	2	2	26

6　運営管理

（1）会議・委員会

利用者サービス向上と施設運営を円滑に行うため、包括担当部内で必要に応じて各種会議を開催しました。

また、併設する特別養護老人ホームとは、施設環境や防災体制の整備に協同で取り組みました。

（ケア　表 5）各種会議

〔東が丘・東山・さんホーム目黒共通〕

会 議 名	内 容	開催回数
ケアプランセンター担当者会議	ケアプランセンター事業運営全般の検討・調整 重点項目、改善事項についての進捗報告 危機管理に関すること 苦情に関すること オンライン開催	1 回/2 ヶ月
ケアプランセンター所長会	業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換 オンライン開催	1 回/2 ヶ月
ケアプランセンター会議	業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換	第 1・3 週
ケース会議	ケースにかかる課題分析・解決策の検討 利用者のニーズに基づくケアプランの作成・検討・評価	月 1 回

※さんホーム目黒におけるケアプランセンター会議及びケース会議の開催は、適宜での開催。

（2）研修

職員の資質向上のため、東京都、目黒区その他の関係団体が実施する外部の研修に積極的に参加したほか、部内・センター内でも職場研修を実施しました。またこれらの研修のほか、日常の職務を通しての 0JT に努めました。

（ケア　表 6-1）外部研修

研 修 名	主 催 者	東が丘	東 山	さんホーム目黒
目黒区主任介護支援専門員連絡会研修	目黒区	0	7	4
目黒区認定調査員現任研修	目黒区	0	1	0
地区介護支援専門員連絡会幹事会研修	包括支援センター	0	1	0
地区高齢者虐待防止研修	包括支援センター	0	1	1
地区認知症地域支援連絡会	包括支援センター	0	2	1
地区多職種研修	包括支援センター	0	1	1
事業者連絡会全体会研修（年 5 回）	目黒区事業所連絡会	0	5	5
事業者連絡会ケアマネ研修（年 4 回）	目黒区事業者連絡会 ケアマネ分科会	1	13	8
目黒区在宅医療と介護の連携に関する研修	目黒区福祉総合課	0	0	1
介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	東京都	0	1	0
東京都介護支援専門員更新研修	東京都	0	1	0
東京都主任介護支援専門員更新研修	東京都	0	1	0
令和 5 年度社会福祉事業従事者人権研修	東京都	0	0	0
特定事業所合同研修・事例検討会	地区特定事業所	0	4	3
目黒区介護支援専門員現任研修	目黒区介護保険課	0	2	2
目黒区主任介護支援専門員研修	目黒区介護保険課	0	0	1
目黒区高次脳機能障害者サポーター研修	目黒区	0	3	0

（ケア　表 6-2）法人研修（再掲）

研 修 名	東が丘	東 山	さんホーム目黒
管理職 2 級昇格者研修	0	0	1

（ケア　表 6-3）法人包括・施設部内・センター内研修

研 修 名	講 師	東が丘	東 山	さんホーム目黒
対人援助援助職実務者現任研修	外部講師	0	1	2
介護支援専門員現任研修		0	2	3
人権研修	施設部内講師・ケアプランセンター所長	0	4	4
センター内研修	施設部内講師・ケアプランセンター職員	2	46	36

（3）苦情・要望

（ケア　表 7）苦情・要望の件数

	令和 5 年度			令和 4 年度		
	東が丘	東 山	さんホーム目黒	東が丘	東 山	さんホーム目黒
苦情件数	0	0	0	0	0	0
要望件数	0	0	0	0	0	0

（4）防災対策

感染症対策は併設する特別養護老人ホームと連携して取り組みました。また、防災対策においても、防災訓練、継走訓練への参加をとおし災害発生時に備えました。

大規模災害発生時に備え、利用者安否確認名簿を作成・更新し、安否　確認への備えを行いました。

（5）実習生・研修生等の受け入れ

（ケア　表 8）実習生等の受入状況

実 習 名	実 習 者	東が丘	東 山	さんホーム目黒
介護支援専門員実務研修実習	介護支援専門員実務研修受講者	0	2	0

第４　心身障害者センター

障害にかかわる各種相談、デイサービス等の生活支援など、心身障害者に対して総合的なサービスを提供しました。

新型コロナの取り扱いは５類に移行しましたが、感染予防対策は、継続して実施しました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 区と連携し指定特定相談支援の充実化を図ります	計画相談支援においては、組織体制を強化することにより、困難ケース等の新規の受入れ要請があった場合でも、区立事業所の特性を踏まえ、原則として受入れることを前提に、積極的に対応しました。
(2) 心身障害者センター事業の見直しを行います	ショートリハビリの取り組みを体系化することで利用者のモチベーションの向上に繋がり、利用率が向上しました。

２　第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

改善事項	具体的な取り組みと結果
不満・要望などの意見を施設運営に反映できる仕組み、施設外の機関に相談できる仕組みについてさらなる情報提供に努めます	施設外の機関に相談できる仕組みを年度当初および定期的に伝達を行い、利用者アンケートにおいて外部機関に相談できることを伝えられているかの設問に「はい」の割合が約 60%から約 80%に上昇しました。

３　サービス内容

（１）障害者総合支援法に基づく事業

①　特定相談支援事業

ア　計画相談支援

相談支援専門員が、障害福祉サービス利用に関するサービス等利用計画の相談、作成等に対応しました。

（心障　表 1-1）計画相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
相談件数	309	324	356	417	360	359	410	374	357	379	344	307	4,296

（心障　表 1-2）計画相談内容件数（重複計上）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
居宅介護	170	181	135	171	160	186	156	193	174	174	160	166	2,026
重度訪問介護	17	18	31	49	24	30	24	30	40	14	23	8	308
同行援護	0	1	10	1	1	7	1	1	6	3	0	5	36
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養介護	0	2	0	0	0	0	0	2	4	7	0	0	15
生活介護	21	36	52	30	52	30	16	39	28	22	65	36	427

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
短期入所	99	82	87	96	108	89	69	77	78	88	82	44	999
重度障害者等包括支援	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	7
グループホーム	70	67	80	111	107	100	133	100	77	62	97	54	1,058
施設入所支援	30	25	17	10	7	9	11	6	9	1	17	9	151
自立訓練	3	2	3	11	5	1	8	1	9	18	6	15	82
就労移行支援	37	22	18	21	8	8	2	17	7	5	7	11	163
就労継続支援	73	79	106	144	111	80	80	91	103	85	50	37	1,039
就労定着支援	5	1	7	1	1	1	2	0	6	8	12	3	47
自立生活援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
その他	230	237	267	323	271	317	350	331	295	241	192	111	3,165
計	756	753	813	968	855	859	852	888	836	733	714	499	9,526

（心障　表 1-3）計画作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	2	4	3	6	3	1	1	1	0	14	3	0	38
継続契約者	8	11	9	5	6	7	7	11	3	7	9	13	96
計	10	15	12	11	9	8	8	12	3	21	12	13	134

（心障　表 1-4）モニタリング件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	3	3	1	1	3	1	1	1	0	3	5	1	23
継続契約者	24	31	27	37	43	33	31	40	26	31	30	38	391
計	27	34	28	38	46	34	32	41	26	34	35	39	414

イ　基本相談支援

リハビリテーション科医師、相談支援員等がリハビリやサービス利用に関する相談等に対応しました。

（心障　表 2-1）基本相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	110	91	88	78	85	76	95	80	68	58	44	41	914

（心障　表 2-2）基本相談内容件数（重複計上）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害福祉サービス利用	69	78	50	25	58	55	73	55	51	52	31	32	629
地域活動支援センター利用	18	8	27	36	14	13	22	14	12	3	9	7	183
配食サービス利用	3	0	3	5	4	1	4	6	2	1	0	2	31
福祉機器相談	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
医学的相談	4	2	4	2	2	4	2	1	3	0	2	2	28
対人関係	2	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	7
金銭管理	3	5	2	5	4	0	0	0	0	1	0	0	20
健康管理	2	5	2	5	4	1	0	2	0	1	0	0	22
生活設計	9	15	5	10	5	1	3	4	0	1	1	0	54

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
その他	21	18	10	27	13	8	18	13	4	6	1	3	142
計	131	132	104	115	107	83	122	95	72	66	44	46	1,117

② 短期入所事業

心身に障害があり、保護者が緊急な事情等で一時的に保護が必要な時や、自立のための生活体験を希望される時、宿泊を伴う介助・支援を行いました。

（心障 表3）短期入所利用状況 定員２人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数		30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	29	31	365
契約者数		21	17	21	21	26	19	21	25	22	19	15	20	
内訳	男	12	13	12	15	15	13	15	16	11	13	8	13	
	女	9	4	9	6	11	6	6	9	11	6	7	7	
延利用者数		67	72	68	62	80	74	65	65	60	60	43	65	781
1日平均利用者数		2.2	2.3	2.3	2.0	2.6	2.5	2.1	2.2	2.0	1.9	1.5	2.1	2.1

③ 生活介護事業

重度の肢体不自由及び重度の知的障害がある利用者に対し、日常生活援助、生産活動、社会参加活動、ストレッチ等の身体活動などを行い、あわせて医療的ケアを要する利用者の受け入れについて、対応の安定に努めました。また、コロナ禍において活動見学が出来ないご家族と連絡を密にし、フォトカードを作成して活動の様子をお知らせしました。

（心障 表4）生活介護事業利用状況 定員：21人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		20	20	22	20	22	20	21	20	18	18	19	20	240
契約者数		13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
内訳	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
延利用者数		226	250	260	234	237	219	244	226	221	222	206	240	2,785
1日平均利用者数		11.3	12.5	11.8	11.7	10.8	11.0	11.6	11.3	12.3	12.3	10.8	12.0	11.6

（心障 表5）生活介護事業活動内容

グループ	主な活動
ぷらたなす	マットで体操、身体機能・感覚機能に働きかける活動、レクリエーション、散歩など
けやき	体操、織物作業、園芸、レクリエーション、外出、など

（心障 表6）生活介護事業主な実施行事

月	けやきグループ	ぷらたなすグループ
4月	歓迎会 家族懇談会	歓迎会 家族懇談会
	外出（八雲図書館） 園芸 防災訓練	園芸 散歩 防災訓練
5月	鯉のぼり会 園芸 散歩	鯉のぼり会 園芸 散歩
	外出（八雲図書館） バスドライブ 目黒市民コンサート	外出（八雲図書館） 目黒市民コンサート

月	けやきグループ	ぷらたなすグループ
6月	健康診断　防災訓練　園芸	健康診断　防災訓練　散歩　園芸
	じゃがいも掘り　バスドライブ	
7月	七夕会　家族懇談会　園芸	七夕会　家族懇談会
	バスドライブ	バスドライブ
8月	園芸　バスドライブ	園芸　バスドライブ　散歩
	スイカ割り　外出（八雲図書館）	スイカ割り
9月	外出（八雲図書館）外出（買い物）	外出（八雲図書館）　バスドライブ
	園芸	
10月	宿泊体験（舞浜）	宿泊体験（舞浜）　散歩
	買い物（駄菓子屋）　防災訓練	
	ﾊﾟｰｼﾓﾝﾎｰﾙｱｳﾄﾘｰﾁﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	ﾊﾟｰｼﾓﾝﾎｰﾙｱｳﾄﾘｰﾁﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
11月	買い物（近隣スーパー）	買い物　散歩　避難訓練
12月	あいアイまつり	あいアイまつり
	クリスマス会　家族懇談会	クリスマス会　家族懇談会
	外出（八雲図書館）	
	買い物（近隣スーパー）	
1月	新年会　初詣（氷川神社）	新年会　初詣（氷川神社）
2月	節分会　外出（八雲図書館）	節分会
3月	雛祭り会　外出（八雲図書館）	雛祭り会　バスドライブ
	家族懇談会	家族懇談会
	お花見　終了式	お花見　終了式

（心障　表7）時間外受入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者延数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
利用時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.5	0	1.5

④　障害者活動訓練事業

ア　デイサービスコース

中途で病気や事故等により身体に障害を有することとなった方に対し、生活のリズム作りと心身機能維持を目的として、個別の支援計画を立てて、グループでの運動や趣味・生きがい活動、外出等のサービスを提供しました。また、利用者個々のニーズに応える活動として「個別リハビリテーション」等、全般に満足度向上につながりました。

（心障　表8）デイサービスコース利用状況

〔Aコース（月・水・金）〕定員15人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		12	12	13	12	12	12	12	12	11	11	10	12	141
契約者数		14	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
内訳	男	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	女	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
延利用者数		150	158	169	166	152	150	154	160	146	146	129	152	1,832

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日平均 利用者数	12.5	13.2	13.0	13.8	12.7	12.5	12.8	13.3	13.3	13.3	12.9	12.7	13.0

〔Bコース（火・木)〕定員15人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		8	8	9	8	10	8	9	8	7	7	9	8	99
契約者数		11	12	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
内訳	男	6	7	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
	女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
延利用者数		70	71	82	96	112	95	98	78	78	78	95	87	1,040
1日平均 利用者数		8.8	8.9	9.1	12.0	11.2	11.9	10.9	9.8	11.1	11.1	10.6	10.9	10.5

（心障　表9）デイサービスコース活動内容

コース	主な活動
Aコース （月・水・金）	体操、口の体操、歌、散歩、レクリエーション、趣味活動（組紐、手芸、頭の体操、塗絵、レジン、草履作り、パソコン、ゲーム、カラオケ、映画等)、一日外出、半日外出、季節行事、個別リハビリテーション、個別の言語障害・認知障害への取り組み、個別相談(看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士)
Bコース （火・木）	体操、頭の体操、レクリエーション、趣味活動（組紐、手芸、レジン、ゲーム、パソコン、麻雀、映画等)、一日外出、半日外出、季節行事、個別リハビリテーション、個別の言語障害・記憶障害への取り組み、個別相談（看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士）

（心障　表10）デイサービスコース主な実施行事

月	Aコース行事	Bコース行事
4月	オリエンテーション	オリエンテーション
5月	半日外出	半日外出
6月	半日外出　　芋掘り	半日外出
7月	七夕会	
8月	スイカ割り　試食会　活動見学会	スイカ割り
9月		
10月	ﾊﾟｰｼﾓﾝﾎｰﾙｱｳﾄﾘｰﾁﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	
11月		
12月	あいアイまつり	あいアイまつり
1月	書き初め　一日外出	書き初め　一日外出
2月	一日外出	試食会　活動見学会　一日外出
3月	お花見　　修了会	お花見　　修了会

イ　機能訓練コース

主に脳血管障害、外傷等の中枢神経障害（脊髄損傷含む）の方に対し、機能維持・向上を目的として集団体操等を行いました。また、活動アンケートを行い、利用者個々のニーズを聞き取り、実施につなげました。その結果、高い満足度となりました。

なお、相談窓口を通じての車椅子等の作製に係る評価や助言等も行いました。

（心障　表 11）機能訓練コース利用状況

〔A コース（月・水・金)〕定員 8 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		12	12	13	12	12	12	12	12	11	11	10	12	141
契約者数		12	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
内訳	男	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	女	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
延利用者数		78	60	64	71	67	72	72	64	72	65	55	63	803
1 日平均利用者数		6.5	5.0	4.9	5.9	5.6	6.0	6.0	5.3	6.5	5.9	5.5	5.3	5.7

〔B コース（火・木)〕定員 8 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		8	8	9	8	10	8	9	8	7	7	9	8	99
契約者数		10	10	10	9	10	10	10	10	11	11	10	10	
内訳	男	9	9	9	8	9	9	9	9	10	10	9	9	
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
延利用者数		52	48	49	41	58	42	43	38	42	41	51	49	554
1 日平均利用者数		6.5	6.0	5.4	5.1	5.8	5.3	4.8	4.8	6.0	5.9	5.7	6.1	5.6

（心障　表 12）機能訓練コース活動内容

コース	主な活動
A コース（月・水・金）	はじめの会、体操（マット、椅子)、創作活動（組紐、水引、レジン、革細工、絵手紙等)、歩行練習、ストレッチ、ストレッチポール、ホットパック、個別活動計画面談、外出、個別リハビリテーション
B コース（火・木）	はじめの会、体操（マット、椅子、立位)、個別活動計画面談、外出、個別リハビリテーション、屋外歩行

（心障　表 13）機能訓練コース主な実施行事

	A コース行事	B コース行事
4 月		外出
5 月		
6 月	半日交流会外出	半日交流会外出
7 月		
8 月	活動見学会	
9 月		
10 月	交流会	交流会
11 月		
12 月	あいアイまつり　クリスマス交流会	あいアイまつり　クリスマス交流会
1 月		
2 月		活動見学会
3 月	終了式	終了式

⑤　施設入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、施設において機械浴槽または一般浴槽による入浴支援を行いました。また、季節湯を実施しました。

（心障　表 14）施設入浴サービス事業利用状況

〔機械入浴〕

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約者数		23	23	23	23	24	24	24	24	24	25	25	25	
内訳	男	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	
	女	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18	
延利用者数		85	96	97	86	101	86	88	99	80	84	88	88	1,078

〔介助入浴〕

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約者数		28	29	29	30	30	29	28	27	27	27	27	27	
内訳	男	18	19	20	20	20	19	19	18	18	18	18	18	
	女	10	10	9	10	10	10	9	9	9	9	9	9	
延利用者数		80	101	91	100	104	90	97	93	80	86	83	92	1,097

（心障　表 15）季節湯実施状況

内 容	期 間
菖蒲湯	15 月 18 日～15 月 12 日
ゆず湯	12 月 18 日～12 月 22 日

⑥　巡回入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、自宅において巡回入浴車による入浴支援を行いました。

（心障　表 16）巡回入浴サービス事業利用状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約者数		10	10	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	
内訳	男	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	
延利用者数		28	28	29	28	26	31	34	28	33	31	28	31	355

（２）その他法令に基づく事業

①　訪問食事サービス事業

心身に障害があり、一人暮らし等で調理が困難な方に昼食を提供するとともに、安否確認を実施しました。

（心障　表 17）訪問食事サービス事業利用状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
提供日数		20	23	22	21	23	21	22	22	19	19	21	21	254
契約者数		21	21	21	21	22	20	21	21	22	22	22	22	
内訳	男	13	13	13	13	13	12	13	13	14	14	14	14	
	女	8	8	8	8	9	8	8	8	8	8	8	8	
延利用者数		157	172	177	138	156	175	170	160	128	132	145	150	1,860
1 日平均利用者数		7.9	7.5	8.0	6.6	6.8	8.3	7.7	7.3	6.7	6.9	6.9	7.1	7.3

② 心身障害者に関する啓発

心身障害者に関する啓発のための講座や地域との協力事業等各種事業を実施しました。

（心障　表 18）あいアイ講座「ことばの集い」実施状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数		3	3	5	4	3	5	4	3	4	3	3	5	45
登録者数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
内訳	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
延利用者数		17	19	31	24	18	28	24	17	26	19	19	30	272

（心障　表 19）心身障害者に関する啓発実施状況

実施日	内　　容	主催者・講師	参加人数	場　　所
10 月 14 日	あいアイ講座「失語症会話パートナー養成講座」（基礎講座）	心身障害者センター ＮＰＯ法人和音他	12	心身障害者センター
10 月 21 日	あいアイ講座「失語症会話パートナー養成講座」（実技講座）	心身障害者センター ＮＰＯ法人和音他	11	心身障害者センター
11 月～3 月	あいアイ講座「失語症会話パートナー養成講座」（実習）	心身障害者センター 地域当事者団体	6	心身障害者センター 地域当事者団体

③ 心身障害者団体が活動を行う場の提供

団体交流室を開放し、心身障害者団体の活動を支援しました。

④ 会議室等の利用

一般利用、登録団体、区役所等に対し、会議室等の貸し出しを行いました。

4　運営管理

（1）会議

運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当者会議を設置し、計画的に業務を進めました。

（心障　表 20-1）障害 4 施設合同会議

会　議　名	内　　容	開催回数
部課長会議	障害 4 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

（心障　表 20-2）施設内会議

会　議　名	内　　容	開催回数
運営会議	施設運営全般に関する事項の検討・協議	毎月
安全衛生担当者会議	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生に関し、産業医の助言を受けて検討実施	年 1 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	毎月
医療担当者会議	医行為、医療的ケア等にかかる検討・調整	年 5 回

（2）委員会

（心障　表 21）各種委員会

委　員　会　名	内　　容	開催回数
安全対策委員会	事故及びヒヤリハット事例の分析、再発防止策の検討	年 4 回
食事委員会	食事に関する事項の検討	毎月
虐待防止委員会	利用者の人権擁護対策の検討・実施	毎月
身体拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化に取り組むため、事例の報告・適正化策の検討及び従業者への周知	年 4 回
防災委員会	施設の防災対策の検討、消防訓練の企画実施	随時
バス委員会	送迎バスコース編成、課題の検討・対応 祝日入浴バスコース編成	毎月
あいアイまつり実行委員会	あいアイまつりの企画・立案・実施	随時

（3）研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、職場内研修も実施しました。

（心障　表 22-1）外部研修

研　　修　　名	主　催　者	参加人数
令和 5 年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	公益財団法人東京都福祉保健財団	1
令和 5 年度強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	公益財団法人東京都福祉保健財団	2
令和 5 年度西部地区在宅療養多職種研修会	目黒区西部包括支援センター	2
令和 5 年度高次脳機能障害者研修会	目黒区西部包括支援センター	1
障害福祉サービス等事業所における BCP 作成研修	目黒区健康福祉部健康福祉計画課	1
令和 5 年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修（障害者福祉施設等職員コース）	公益財団法人東京都福祉保健財団	1
第 46 回てんかん基礎講座	公益財団法人日本てんかん協会	2
虐待防止の体制整備に関する研修	目黒区健康福祉部健康福祉計画課	1
第 140 回摂食・嚥下指導（基礎・実習）講習会	心身障害児総合医療療育センター	1
第 64 回重症障害児（者）医療看護師講習会	心身障害児総合医療療育センター	1
医療・福祉事業所内メンタルヘルスケア研修	東京都福祉保健局	1
令和 5 年度第 2 回東京都サービス管理責任者基礎研修	公益財団法人総合健康推進財団	1
令和 5 年度東京都サービス管理責任者更新研修	公益財団法人総合健康推進財団	1
令和 5 年度東京都相談支援従事者初任者研修	東京都	1
障害福祉サービス等事業所における虐待防止及び身体拘束適正化の体制整備に関する研修	目黒区健康福祉部健康福祉計画課	1
目黒区基幹相談支援センター事例検討会	目黒区基幹相談支援センター	3

研　　修　　名	主　催　者	参加人数
目黒区基幹相談支援センター研修会「介護福祉と障害福祉の交流研修」	目黒区基幹相談支援センター	1
令和5年度精神保健医療福祉関係機関向け勉強会	目黒区保健予防課	1

（心障　表 22-2）法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
新任職員研修	2
入社 2 年目研修	1
サービス専門職A7 年目研修	3
サービス専門職A9 年目研修	1
指導職 2 級 5 年目研修	1
指導職 1 級 3 年目研修	1

（心障　表 22-3）施設内研修

研　　修　　名	講　　師	参加人数
新任職員 0JT 研修	チーフリーダー、担当者	1
虐待防止研修	令和5年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修動画	通所課職員
衛生研修	株式会社サラヤ	全職員
虐待防止研修「障害者虐待について考えよう」	相模女子大学人間社会学部准教授	全職員

（4）苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知しました。また、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

（心障　表 23）苦情件数

	令和５年度	令和４年度	令和３年度
苦情	0	1	1
要望	2	0	0

（5）事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策シート・ヒヤリハットシートを活用し、事故やヒヤリの発生時は、翌日朝礼での全体周知とともに、送迎・給食・入浴等の委託業者との情報交換など情報の周知徹底を図り、事故の再発防止に努めました。また、安全対策委員会を通じて、事故の記録を分析し、研修会を実施しました。

（心障　表 24）事故・ヒヤリハット件数

	令和５年度	令和４年度	令和３年度
事故件数	13	48	62
ヒヤリハット件数	8	31	6

注１）令和５年度より事故件数の集計基準を、健康等に係わるものとして見直しました。

（6）防災対策

消防計画に基づき、避難、通報、消火等の訓練及び総合訓練を 2 回実施し、その他事業ごとに

避難路確認等の防災対策を行いました。また、災害時への対策として、防災用品や備蓄品の整備確認を行いました。

（7）利用者・家族の声を反映

家族懇談会を 2 回開催し、利用者ご家族との緊密な連携を行いました。また、サービス向上検討委員会を 2 回開催し、サービスの質の向上に努めました。

（8）地域との交流

あいアイまつりや福祉機器体験など各種イベントを通じて、地域との交流を図りました。

（9）ボランティアの活動

（心障　表 25）日常活動ボランティアの受け入れ状況

内　　容	人 数
1 日外出付き添い、デイサービス活動補助、けやき作業補助	65

（心障　表 26）学校等団体からのボランティア体験受け入れ実績

体験依頼校等	延人数
田園調布雙葉高等学校	6
普連土学園高等学校	6

（１０）実習生・研修生の受け入れ

（心障　表 27）実習生等の受け入れ状況

実　習　依　頼　校　等	実　習　目　的	実人員	延日数
アルファ医療福祉専門学校	社会福祉士実習	1	8
読売理工医療福祉専門学校	介護福祉士実習	1	6
東洋英和女学院大学	保育実習	3	36
合　計		5	50

（１１）職員の健康管理

職員の健康管理の維持向上に努めるとともに、メンタルヘルスに関しては産業医による個別相談を実施しました。

（１２）福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、指定管理施設は各施設において 3 年毎に第三者評価を受審しています。

評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

（心障　表 28-1）心身障害者センター生活介護事業　評価結果

特に良い点	・利用者・家族や職員意向を業務改善につなげている。 ・事業所の機能を活用して地域貢献に取り組んでいる。 ・連絡帳や電話連絡等で日欧的に利用者の状態や家族の思いなどを把握し、支援に活かしている。
更なる改善点	・経営層のリーダーシップのあり方を改善するとよい。 ・キャリアパスの説明の方法を工夫するとよい。 ・求人用の動画は、利用希望者等へのＰＲにも活用するとよい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

（心障　表 28-2）心身障害者センター短期入所事業　評価結果

特に良い点	・多様な障害特性を持った利用者を受け入れ、それぞれの個別性に配慮して支援している。 ・地域の関係機関と情報を共有し、利用者が地域で自立した生活を送ることができるよう支援している。 ・苦情等に対し組織的に対応する仕組みを整備し、利用者・家族等へ説明するとともに居室内にも苦情受付窓口を掲示している。
更なる改善点	・災害や特に深刻な事故に備えて、事業継続計画（ＢＣＰ）を策定しているが、さらなる職員への周知を図ると良い。 ・食事の献立は利用者の希望に沿っているが、栄養バランスを考えた献立にするなど工夫するとさらによい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

（心障　表 28-3）心身障害者センター障害者活動訓練事業（デイサービスコース）　評価結果

特に良い点	・各種機能を持つ部屋を広い廊下沿いに設置し、利用者が適切な生活訓練を受けられるよう環境を整えている。 ・利用者の障害特性・意向を反映した支援計画を作成するため、基本的な利用者情報を詳しく収集・共有し、アセスメントに役立てている。 ・「利用者対応表」を活用して支援内容の共有化を図っており、年 4 回更新することで利用者の状態変化に対応できるようにしている。
更なる改善点	・虐待や苦情については会議や委員会で適時検討しているが、事象が起きた際の対応を明記したマニュアルはないので整備するとよい。 ・リスクマネジメント最大の課題である２つの事業継続計画（ＢＣＰ）を整えたが、計画に基づく実地訓練が必要である。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

（心障　表 28-4）心身障害者センター障害者活動訓練事業（機能訓練コース）　評価結果

特に良い点	・家族とも連携し、自宅でも簡単な体幹を整えるストレッチができるよう訓練を行っている。 ・関係機関に積極的に声掛けをして活動見学会で事業の内容を知らせている。 ・「利用者対応表」を活用して支援内容を共有しており、適宜更新することで利用者の状態変化に対応できるようにしている。
更なる改善点	・虐待防止について委員会や研修等で取り組んでいるが、事象が起きた際の対応を明記したマニュアルはないのでマニュアルを整備するとよい。 ・リスクマネジメント最大の課題である２つの事業継続計画（ＢＣＰ）を整えたが、計画に基づく実地訓練が必要である。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

（１３）新規事業の獲得、運営開始準備

目黒区が設置している「目黒区立のぞみ寮」（知的障害者グループホーム）の運営を令和 6 年 4 月から行う指定管理者の公募があり、事務局と連携して書類作成等を行い同公募に応募したところ、次期指定管理者として選定されました。

令和 6 年 4 月からの運営に向け、前事業者から引継ぎを受ける等準備を進めました。

第５　かみよん工房

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナの取り扱いは５類に移行しましたが、感染予防対策は、継続して実施しました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)受注量の安定を図ります	区内施設の除草作業やチラシの封入作業、記念品用羊毛フェルトの大量注文等、単発で納期の短い作業も積極的に受注し、就労支援事業収入の向上に繋がりました。 パンや焼き菓子の袋を利用者の絵と文字を使ったシールでデコレーションすることで、お客様に喜ばれ、作業確保にもつながりました。
(2)生産ロス縮小と販売方法の工夫に取り組みます	パン販売では、製造量の調整や販売方法の工夫（委託販売、置き菓子販売方式）等フードロスの取り組みを継続し廃棄パンはほぼゼロとなりました。 その結果、原材料費の高騰が続く中、値上げは一部商品のみにとどめながら、就労支援事業の収入増、利用者工賃のアップにつながりました。
(3)高齢化・重度化による障害状況の変化に対応する工夫を行い、安全なサービス提供に努めます	利用者の高齢化・重度化に対応するため、作業と外出プログラム等の割合を見直し、利用者の状態に合ったプログラムが組めるように工夫しました。 就労を希望する利用者に対しては、ジョブコーチ支援を伴う企業実習や目黒障害者就労支援センターと連携して職業評価等行うなど、就労に向けた個別支援を行いました。
(4)地域の方が参加しやすいイベントを実施し開かれた施設運営に努めます	コロナ禍のため恒例の工房祭りは３年間休止していましたが、５年度は「かみよんしごとフェス 2023」として、利用者主体で地域の方にパン作りを体験していただく場等を用意するなどオープンな雰囲気で開催したところ、多くの方が参加されご好評をいただき、施設の特性などをアピールすることができました。

２　第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

改善事項	具体的な取り組みと結果
イベントへの参加再開を検討して行きます	感染症対策を継続しながら、年間を通して利用者の販売参加を再開しました。 また、地域企業とコラボした製品作り、町会まつりや近隣の高校文化祭への出店等を行うなど、販路や作業種の拡大を行うとともに地域交流を促進しました。

3　サービス内容（就労継続支援Ｂ型事業）

（1）利用者数

（かみよん　表 1）利用状況数　定員：40 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		20	20	22	20	22	20	21	20	19	18	19	20	241
契約者数		33	33	32	33	32	33	33	33	33	33	34	33	
内訳	男	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	20	19	
	女	13	13	13	14	13	14	14	14	14	14	14	14	
延利用者数		583	558	619	583	604	530	587	586	555	522	535	527	6,789
1 日平均利用者数		29.2	27.9	28.1	29.2	27.5	26.5	28.0	29.3	29.2	29.0	28.2	26.4	28.2

（かみよん　表 2）利用者年齢構成（令和 6 年 3 月 31 日現在）

	～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60 歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	1	1	0	2	2	5	3	4	1	24	72	47.1
女	0	2	2	0	4	3	2	0	0	1	22	60	38.2

（2）サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性が身につくように支援しました。

（3）作業支援

（かみよん　表 3）作業活動内容

作業部名	活 動 内 容
食品部	自主生産品としてパン、焼き菓子の製造・販売を行いました。 フードロス削減を意識し、製造量の調整や販売方法の工夫を行ったところ、廃棄パンはほぼゼロとなり、収入増にもつながりました。（再掲） 地域企業との連携で、ドライフラワーと焼き菓子のコラボ商品を販売し好評でした。
企業部	近隣企業との「顔の見えるつながり」を意識し、利用者とともに、材料の受け取りや配達を行いました。作業確保と作業意欲向上、収入増につながりました。
開発部	目黒区や企業から清掃作業を受託し作業を行いました。公園清掃でも、感染症対策を徹底して作業を行いました。
自主製品製作	高齢化・重度化する利用者への新たなプログラム作りに向け、3 部連携して、新商品として羊毛フェルトのキーホルダー、メモ帳、エコバック等の自主生産品を製作・販売しましたが、作業工程が増えたことで、利用者の状態にあった作業の確保につながりました。 施設の玄関店舗販売では、利用者自身がデザインした製品をお客様が選ばれる様子を見て、作業意欲も向上しています。

（かみよん　表 4）食品部販売先状況

販売先／納品先	備 考
かみよん工房店舗販売	平日毎日
さんまるしぇ委託販売	平日毎日
COHANA 委託販売	月曜日以外の平日
区役所販売	週 1 回
パーシモンホール販売	週 1 回
ジャックス販売	年間 12 回
かみよん工房給食	週 1 回
大橋えのき園給食	週 1 回
あいアイ館給食	週 1 回
下目黒福祉工房給食	週 1 回
桑の実中目黒保育園給食	週 1～2 回
ウエルミ―上目黒つどいの家給食	週 2 回
目黒若葉寮給食	週 1 回
ダイケンビルサービス焼き菓子納品	月 1 回
第一生命（祐天寺オフィス）出張販売	年間 11 回
あいアイ館販売（デイサービス利用者向け）	年間 8 回
事業団各施設（職員向け）	不定期
区内他施設地域行事等	不定期
その他個人注文販売	不定期

（かみよん　表 5）企業部受注作業受託先

受注先企業名	作業内容
宮川製菓	飴袋シール貼り
マーチフォース	だるまシール貼り、梱包
Virtuous circle	岩塩の仕分け、梱包
Sasaokaya	商品の仕分け、梱包
あそ商事	洗剤の梱包
目黒区	イベントチラシの封入・封緘

（かみよん　表 6）開発部清掃作業受託先

受注先企業名	作業内容
目黒区みどりと公園課	上四児童遊園・蛇崩川緑道・東山公園清掃
サッポロ不動産開発	草取り作業
目黒区	区立施設の除草作業

（かみよん　表 7）自主生産品（メモ帳・エコバック・フェルトボール）販売先状況

販売先／納品先	備 考
かみよん工房店舗販売	
ＫＵＲＵＭＩＲＵ	
区役所販売	週 1 回
パーシモンホール販売	週 1 回

（かみよん　表 8）工賃支給状況

月	支払総額	最高額	最低額
4 月分	524,950	21,800	4,800
5 月分	487,600	21,500	3,000
6 月分	552,400	23,750	4,700
7 月分	529,250	27,300	4,500
8 月分	541,950	29,850	5,400
9 月分	491,900	28,300	3,550
10 月分	455,500	20,600	1,800
11 月分	474,550	20,850	3,000
12 月分	459,300	20,400	1,800
1 月分	396,800	14,750	5,050
2 月分	436,000	16,400	4,450
3 月分	468,650	18,250	8,100
調整手当	3,885,452	145,064	7,870
計	9,704,302		
平均工賃月額（※）	28,677	※平均工賃月額 算出方法 支給総額計÷1 日平均利用者数(28.2 人)÷12 か月	

（4）就労支援

利用者の障害特性やニーズに応じて、社会人マナー講習等の特別プログラムを実施しました。外部実習では、ジョブコーチ支援を行いました。

（かみよん　表9）就労支援実績

内 容	利用者数	期間・回数	就労先・実施内容など
就労体験（定期販売）	12	週1回	区役所、パーシモンホール等
就労体験（不定期販売）	4	不定期	桜修館高校文化祭、烏森住区祭り等
就労支援センター実習	1	10日間	事務業務、清掃業務等
ひがしやまホーム実習	1	26日間	間接業務

（5）生活支援

身だしなみチェック表を活用し、基本的生活習慣の確立に向けた支援を行いました。

調理実習や館内清掃活動を通じて家事一般における技術習得を行い、金銭管理について学習する機会を設け、社会性の向上に向けた支援を行いました。また、ショートステイの見学や社会資源について学習する時間を設けました。

（6）余暇支援

毎月 2～3 回実施するクラブ活動や外出活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験を積む支援を行いました。

（かみよん　表 10）クラブ活動

クラブ名	内 容
癒しのお菓子	お菓子作りを楽しむ。
カラオケ	カラオケを楽しむ。
アトリエ	絵を描くことを楽しむ。 ・障害者記念事業パネル展参加 ・東社協「第 36 回心をつなげる福祉マラソン大会」イラスト募集にてプログラムにイラスト掲載
カメラさんぽ	利用者の希望等により映画鑑賞や周辺の散歩を楽しむ。

（かみよん　表 11）主な行事

月	行 事 名
4 月	家族懇談会 防災訓練
5 月	
6 月	かみよんまつり（かみよんしごとフェス 2023） 防災訓練
7 月	サービス向上検討委員会 調理実習
8 月	健康診断 調理実習　　A 班就労支援センター見学
9 月	家族懇談会 防災訓練 調理実習
10 月	宿泊体験行事（新浦安オリエンタルホテル東京ベイ）
11 月	外出行事（A 班：池袋サンシャイン　B 班：新横浜ラーメン博物館） 給食試食会
12 月	外出行事 C 班：武蔵小杉グランツリー
1 月	新年会（初詣・工房でのお楽しみ会） 工房内検診 C 班社会資源の活用について勉強会（講師　相談支援専門員）
2 月	サービス向上検討委員会 工房内検診 防災訓練 B 班ショートステイ見学
3 月	家族懇談会

（7）食事サービス

栄養士の指導管理の下に、調理委託業者との連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食をとり入れ、利用者に喜ばれる食事の提供を行いました。

また、利用者を対象にした栄養相談や給食委員会を実施し、利用者の栄養管理と給食サービスの向上に努めました。

家族等を対象とした試食会を実施しました。

（8）健康管理

利用者の健康に配慮して、年2回の定期健康診断、年2回の体重・体脂肪測定、月1回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

4　運営管理

（1）会議

施設の決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当者会議を設置し、計画的に業務を進めました。

（かみよん　表12-1）障害4施設合同会議

会 議 名	内 容	開催回数
部課長会議	障害4施設の運営に関する事項の検討・協議	月1回

（かみよん　表12-2）施設内会議

会 議 名	内 容	開催回数
総括会議	事業報告、事業計画	年1回
運営会議	施設運営	月1回
販売戦略会議	受注・販売計画、収支状況確認等	月1回
リーダー会議	グループ間協力体制の検討	月1回
職員会議	事業全般	週1回
ケース会議	個別支援計画	年1回 （利用者1名につき）
給食会議	給食サービス全般	年6回

（2）委員会

（かみよん　表13）各種委員会

委員会名	内 容	開催回数
サービス向上検討委員会	サービス全般	年3回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月1回
虐待防止委員会	虐待防止策の検討	年7回
身体拘束適性化委員会	身体拘束の問題意識の共有	年2回
給食委員会	給食サービス意見要望の確認	月1回

（3）研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、職場内研修も随時実施しました。

（かみよん　表14-1）外部研修

研 修 名	主 催 者	参加人数
東京都サービス管理責任者更新研修	東京都	2
食品衛生責任者講習会	東京都食品衛生協会	2
高齢者・障害者虐待防止の体制整備に関する研修	目黒区	1

（かみよん　表 14-2）法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
新任職員研修	1
指導職 2 級昇格者研修	1
総合職転換者研修	1

（かみよん　表 14-3）施設内研修

研 修 名	講 師	参加人数
異動職員 OJT 研修	グループリーダー他	1
安全対策について	チーフリーダー	10
虐待防止について	チーフリーダー	10
食中毒・感染症防止研修	栄養士	10
他作業部体験研修	各作業部職員	5

（4）苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知しました。また、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

（かみよん　表 15）苦情件数

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
苦情件数	0	0	2
要望件数	0	0	0

（5）事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

（かみよん　表 16）事故・ヒヤリハット件数

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
事故件数	14	4	24
ヒヤリハット件数	0	1	2

注１）令和５年度より事故件数の集計基準を、健康等に係わるものとして見直しました。

（6）防災対策

消防計画に基づき、年間 4 回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

また、防災訓練のうち 1 回は、大規模災害対策計画の状況別行動マニュアルに沿って実施しました。

（7）利用者・家族の声を反映

利用者ご家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に必要に応じて電話連絡等で情報交換に努めました。

さらに、サービス向上検討委員会を開催し、利用者、家族、施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

（8）地域との連携

地元企業からの作業受注、パン製品の販売、目黒区からの公園清掃の受託、これら作業活動を通しての地域とのつながりを継続的に構築しています。

（9）ボランティアの受入れ

新型コロナの取り扱いが 5 類に移行したことから、コロナ禍のため休止していたボランティアの方に再開するお声がけをしましたが、思うような参加が得られなかったため、新たなボランティアを開拓しました。

（かみよん　表 17）ボランティア活動状況（行事での介護人含む）

活 動 月	内 容	人 数
6 月	かみよんまつり	2
10 月	宿泊体験	5

（１０）実習生、研修生の受け入れ

（かみよん　表 18）実習生等の受け入れ状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
明治学院大学	社会福祉士資格取得	1	25
アルファ医療福祉専門学校	社会福祉士資格取得	1	24
日本福祉教育専門学校	社会福祉士資格取得	1	8
東洋英和女学院大学	保育士資格取得	1	12
東京都社会福祉協議会	教員免許取得	2	10
東京医科歯科大学	医師免許取得	1	3
目黒区立十一中学校	職場体験	2	6
合　計		9	88

（かみよん　表 19）特別支援学校等施設体験生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
都立田園調布特別支援学校（3 年生）	体験実習	1	5
青鳥特別支援学校（3 年生）	体験実習	2	10
目黒区	体験実習	3	15
合　計		6	30

（１１）職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

第６　大橋えのき園

18 歳以上の知的障害を有する方に対して、作業活動や生活支援等に関わるサービスを提供し、基本的生活習慣の確立及び社会生活能力の維持・向上を図る取り組みを実施しました。

新型コロナの取り扱いは５類に移行しましたが、感染予防対策は、継続して実施しました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	毎月１回、外部委員を招いて、権利擁護・利用者支援研究会の開催を継続し、個々の利用者支援方法を見直し適切な支援の研究・実践をすすめ、虐待予防に努めました。身体拘束防止に向けて振り返りをするための学習会を定期的に実施しました。
(2) 自主生産量の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	毎週木曜日の施設の玄関前での自主生産品販売を継続しました。利用者は常連客や地域の方と接することが多く販売を楽しむことが出来ました。 地域のお祭りや学園祭で自主生産品販売を行い、販売を通して地域の方との交流や当施設を紹介する機会となりました。作品販売の売上も好調でした。 新商品を販売したことで、全体の売上げ増につながりました。

２　第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
よりわかりやすい情報提供に努めます	ご家族が抱く不満・要望などの意見を、施設外の外部機関に相談できることその仕組みについて家族懇談会で定期的に周知しました。

３　サービス内容

（１）生活介護

① 利用者数

（えのき　表 1）利用状況　定員：57 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		20	20	22	20	22	20	21	20	19	18	19	20	241
契約者数		41	40	40	39	39	37	36	36	36	36	35	35	
内訳	男	32	31	31	30	30	29	28	28	28	28	27	27	
	女	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	
延利用者数		671	680	738	640	702	647	649	626	603	558	582	622	7,718
1 日平均利用者数		33.6	34.0	33.5	32.0	31.9	32.4	30.9	31.3	31.7	31.0	30.6	31.1	32.0

（えのき　表 2）利用者年齢構成（令和 6 年 3 月 31 日現在）

	～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60 歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	2	3	5	3	3	5	4	1	0	1	19	60	36.9
女	0	1	1	0	0	2	3	0	0	1	22	60	41.2

② サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業活動及びグループ別活動を通じて、個々の利用者の特性に応じた支援を行いました。

③ プログラム内容

ア）日々の基本的な活動単位となるグループについて、多様化したニーズに応えるため5グループに分けて、各グループの特性に合わせた作業・グループ活動を実施しました。

イ）商品は区内工房・地域のイベント等で販売しました。なお、売上金は利用者全員に還元することとしています。

ウ）グループ活動では各利用者の特性を踏まえ柔軟な活動を行いました。

（えのき　表3）作業・生産活動

作 業 名	内 容
食　品	ピクルス、パスタソース、レトルトカレーの製造を行いました。
紙漉き	ポチ袋、タグなどを作りました。また、材料の牛乳パックの回収作業を通して、地域交流を図りました。
ガラス	箸置き、アクセサリーなどを作りました。
美　術	外部専門家と協働で絵画を中心に行いました。
書　道	月1回、書道の先生との協働で行いました。
音楽・身体表現	月1回、音楽専門家との協働で行いました。
その他	必要に応じて個別の取り組みを行いました。

（えのき　表4）グループ活動

活 動 名	内 容
散　歩	体力・脚力に応じたグループ分けにより、個々の利用者に適した運動量を確保し、心身のリフレッシュを図りました。実施に際しては、安全確保に充分配慮して行いました。
バスハイク	施設の送迎バスを利用し、近隣の公園等を目的地として、通常より行動範囲を拡大して実施することで、心身のリフレッシュを図りました。
体　験	近隣のコンビニエンスストアへお菓子や飲み物を中心とした買物体験を実施し、同時に地域の方との交流の場としました。
カルチャー	四季を感じ自然に親しむ文化的な活動を目指して、園芸、かかし創作、などを実施しました。
室内運動	風船バレーなど室内で体を動かす取り組みを行い、運動量の保障を図りました。
OT レク	作業療法士と協働で、椅子ストレッチや椅子エアロビなどを行いました。

④ 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の生活場面において必要な支援を行いました。

⑤ 各種行事

（えのき　表5）主な実施行事

月	行 事 名	行事の内容等
5月	一日芸術 DAY①	時間を区切らず自由に作品制作する

月	行 事 名	行事の内容等
6月	一日外出① ふれあい広場①	葛西臨海公園、横浜ランドマークタワー、 日本科学未来、しながわ水族館、電車とバスの博物館 駒場体育館にて運動交流会
7月	三宿保育園との交流会	園児による出し物
8月	一日芸術DAY② 和太鼓交流会① 宿泊体験①	 駒場太鼓の会との交流会 新浦安オリエンタルホテル東京ベイ宿泊
9月	宿泊体験②	新浦安オリエンタルホテル東京ベイ宿泊
10月	こまばのまつり えのき祭 みんなでダンス	かかしコンクール えのき祭 駒場体育館にてダンス交流会
11月	ふれあい広場② 一日芸術DAY③ ワークショップ	 成年後見人について(外部講師)
1月	一日外出② 和太鼓交流会②	葛西臨海公園、羽田空港、イクスピアリ、お台場 日本科学未来館
2月	一日芸術DAY④	
3月	ふれあい広場③	

⑥ 食事サービス

栄養バランスに留意して季節感のある食事の提供をし、行事食やメニューのリクエスト等に対応しました。栄養相談は随時行いました。

また、食事委員会を定期的に実施し、利用者の状況に応じた食形態・姿勢・補助食器等の検討をしました。

⑦ 健康管理

利用者の健康に配慮して、年2回の定期健康診断、毎月の体重測定、月2回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

⑧ 利用前の事前説明、個人面談

利用の開始にあたり、施設が提供できるサービス内容や利用料金等の重要事項について説明を行い、利用者からの同意を得ました。

また、個別支援計画の作成に伴い、2～3月の期間に施設内又は家庭訪問による個別面談を行いました。

⑨ 利用時間外受入れ

（えのき　表6）時間外受入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者延数	6	7	4	1	2	1	1	2	2	4	4	5	39
利用時間数	8.75	9.0	5.75	1.5	1.75	1.5	1.5	3.0	2.25	5.0	5.25	3.65	48.9

（2）利用時間外活動支援事業（日中一時支援）

障害者通所支援事業終了後における障害者の活動の場を提供するとともに、共働きやひとり親等の障害者世帯の就労を支援することを目的として実施しました。

① 活動支援

本人状況及び要望等を把握し、利用者の意向を踏まえたうえで各種の活動を提供しました。

② 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動その他の必要な支援を行いました。

（えのき　表 7）利用状況　定員：10 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約者数		3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	
内訳	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	女	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
延利用者数		41	44	47	30	32	29	33	28	27	26	23	29	389

4　運営管理

（1）会議

職員相互の理解と協力による施設運営と利用者支援を円滑に行うため、各種会議及び委員会を行いました。

（えのき　表 8-1）障害 4 施設合同会議

会 議 名	内 容	開催回数
部課長会議	障害 4 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

（えのき　表 8-2）施設内会議

会 議 名	内 容	備 考
運営会議	運営管理、運営方針の検討	月 1 回
職員会議	運営管理、業務全般、各種報告	週 1 回
年度末総括会議	事業報告、事業計画の作成、検討	2 月及び 3 月
ケース会議	個別支援計画の確認、報告	各利用者年 2 回以上
グループ会議	個別支援計画の検討、グループ運営	ケース会議時期、随時
リハ担当者会議	リハビリテーション計画の確認	年 6 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	年 6 回
バス担当者会議	送迎サービスにかかる検討・調整	月 1 回

（2）委員会

（えのき　表 9）各種委員会

委員会名	内 容	備 考
安全対策委員会	安全対策全般	月 1 回
権利擁護・利用者支援研究会	利用者支援の向上による虐待防止に関する取り組み、研修	月 1 回
身体拘束廃止委員会	身体拘束廃止に向けた検証	月 1 回
食事委員会	利用者の状況等による環境整備など	年 6 回
各種業務担当会議	各種業務の企画、運営	随時

（３）研修

関係諸機関や団体が実施する研修会等参加し、また、現状の現場の問題解決に即した実践研修を実施しました。他に事業団内の職層等研修、施設内の新規職員を対象とした OJT 研修や全職員を対象に安全衛生・自己啓発等の研修を実施しました。

（えのき　表 10-1）外部研修

研 修 名	主 催 者	参加人数
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修（障害者福祉施設等職員コース）	東京都福祉局	1
強度行動障害支援公開講座基礎講座	東京都福祉保健財団	1
第 46 回てんかん基礎講座	日本てんかん協会	2
強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	東京都社会福祉協議会	1
自閉症の方々とかかわるための基本	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1
第 8 回ダウン症支援セミナー「青年期・成人期・高齢期を考える」	公益財団法人日本ダウン症協会	1
社会福祉士実習指導者講習会	アルファ医療福祉専門学校	1
高齢知的障害者への支援のあり方	東京都社会福祉協議会	1
サービス管理責任者基礎研修	東京都サービス管理責任者等研修事務局	1
相談支援従事者初任者研修	東京都福祉局	1
サービス管理責任者更新研修	東京都サービス管理責任者等研修事務局	1
管理職のためのメンタルヘルス講習会	東京都福祉局	1
令和５年度食品衛生実務講習会	目黒保健所	1
虐待防止及び身体拘束適正化の体制整備	目黒区	1

（えのき　表 10-2）法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
新任職員研修	2
入社 2 年目研修	1
サービス専門職Ａ4 年目研修	1
サービス専門職Ａ7 年目研修	1
指導職 1 級昇格者研修	1

（えのき　表 10-3）施設内研修

研 修 名	講 師	参加人数
強度行動障害への対応を知ってお互いに安全に	外部講師 権利擁護委員会	15
応急救護訓練（心肺蘇生法・AED の使い方）	目黒消防署	16
強度行動障害支援公開講座基礎講座（伝達研修）	えのき職員	14
第 46 回てんかん基礎講座（伝達研修）	えのき職員 2 名	16
自閉症の方々とかかわるための基本（伝達研修）	えのき職員	15

研 修 名	講 師	参加人数
第8回ダウン症支援セミナー「青年期・成人期・高齢期を考える」（伝達研修）	えのき職員	13
高齢知的障害者への支援のあり方（伝達研修）	えのき職員	16
手洗い～自分の手洗いの癖を知ろう～	看護師	21
嘔吐物の処理方法	看護師	12
身体拘束廃止に向けた職場内研修	身体拘束廃止委員会	12
虐待防止チェックリストと障害者虐待防止法の理解と対応読み合わせについて	権利擁護委員会	21
虐待に繋がる「小さな出来事」を共有し支援を見直そう①	外部講師 権利擁護委員会	15
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修（障害者福祉施設等職員コース）（伝達研修）及び身体拘束廃止に向けて	えのき職員	12
災害時における食中毒予防について	管理栄養士	14
虐待に繋がる「小さな出来事」を共有し支援を見直そう②	外部講師 権利擁護委員会	12

（4）苦情・要望

苦情・要望の窓口を明確にして対応をしました。また、家族との連絡や意見交換のために連絡帳を幅広く活用しました。

（えのき　表11）苦情件数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
苦情件数	1	0	6
要望件数	0	0	1

（5）事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策委員会を中心に、安全対策シート・ヒヤリハットシート等にてサービス支援時における利用者の事故防止に努めました。また、事故発生の際は敏速に対応できるように研修を行いました。

（えのき　表12）事故・ヒヤリハット件数

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
事故件数	1	36	38
ヒヤリハット件数	1	9	23

注1）令和5年度より事故件数の集計基準を、健康等に係わるものとして見直しました。

（6）防災対策

消防計画に基づき、隣接の社会福祉法人愛隣会との総合訓練を4回実施しました。

（7）利用者・家族の声を反映

家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を定期的に開催しました。また、サービス向上検討委員会を開催し、利用者、家族、施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

（8）地域との交流

新型コロナの影響により、例年実施していた地域交流行事のほとんどが中止となりましたが、駒場かかしプロジェクト実行委員会に感謝のかかしを出展しました。

また、日常活動で買い物体験等を行う中で、近隣商店との関係を深めました。

（9）ボランティアの受入

（えのき　表 13）ボランティアの活動状況

月	内 容	実人員
6 月・1 月	一日外出付添い	8
通年	書道指導	1
通年	太極拳・健康体操指導	1

(10) 実習生、研修生の受入れ

（えのき　表 14）実習生等の受入状況

実習依頼元	実習目的	実人員	延日数
日本福祉教育専門学校	社会福祉士実習	2	30
専門学校高崎医療福祉カレッジ	社会福祉士実習	1	8
東京ボランティア・市民活動センター	教員免許取得介護等体験施設体験	4	20
合　計		7	58

（えのき　表 15）特別支援学校等施設体験生の受入状況

施設体験生依頼元	目 的	実人員	延日数
田園調布特別支援学校（2 年生）	職場体験	1	5
田園調布特別支援学校（1 年生）	1 日職場体験	1	1
目黒区	入所に向けた実習	1	5
合　計		3	11

(11) 職員の健康管理

メンタルヘルスに関して、法人内障害部門共通で産業医による講演会・懇談会や個別相談を実施しました。

第７　下目黒福祉工房

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナの取り扱いは５類に移行しましたが、感染予防対策は、継続して実施しました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 自主生産品の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	革作業班においては、新たに刺繍作品や乾燥野菜を材料にした食品の開発に取り組みました。また、利用者の提案等からアート作品ブランド「RE*BORN」(「きずな*うまれかわる」の意) を立ち上げて、ギャラリーでの展示販売など販路拡大に取り組みました。
(2) プログラムの見直しや、グループの再編成などを行い、より一人ひとりの能力に応じたサービス提供に努めます	各活動において利用者の希望と障害状況に応じたグループ編成を行い、個々の能力や適性に応じた活動内容と作業環境を整備してサービス提供を行いました。

２　第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

事業計画	具体的な取り組みと結果
より分かりやすい情報提供に努めます	不満要望などの意見を外部機関に相談をできる仕組みについて、利用者・ご家族に対して丁寧に説明を行いました。

３　サービス内容

（１）就労継続支援Ｂ型事業

① 利用者数

（下目　表 1）利用状況数　定員 40 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		20	20	22	20	22	20	21	20	19	18	19	20	241
契約者数		37	37	37	37	37	36	36	36	36	36	36	36	
内訳	男	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	
	女	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
延利用者数		693	695	767	696	714	675	727	683	657	622	644	660	8,233
1 日平均利用者数		34.7	34.8	34.9	34.8	32.5	33.8	34.6	34.2	34.6	34.6	33.9	33.0	34.2

（下目　表 2）利用者年齢構成（令和 6 年 3 月 31 日現在）

	～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60 歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	3	3	1	3	3	2	0	1	4	20	65	40.9
女	1	0	1	1	0	0	7	5	0	1	19	61	44.9

② サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性への支援を行いました。

③ 作業支援

（下目　表 3）作業活動内容

作業班名	活動内容
菓子班	自主生産品として、シフォンケーキ及びマドレーヌ等の製造・販売を行いました。販売見込数に応じて計画的に商品を製造し、販売機会を確保することで売上利益の維持に取り組みました。
革　班	自主生産品として、革小物等の製造・販売を行いました。また、新たに刺繍作品や乾燥野菜を材料にした食品の開発に取り組みました。
印刷班	印刷業として名刺、封筒等の注文を受けて行いました。また、地域商店街等へ営業活動を行い、受注数の拡大に取り組みました。
受注班	企業から軽作業を積極的に受注し、売上の向上につなげました。また、「工房まるしぇ」（工房玄関前での販売）や他班の配達の仕事に協力しました。

（下目　表 4）菓子班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
工房まるしぇ（工房玄関前販売）	毎日(水曜日除く)
土曜まるしぇ（工房玄関前販売）	土曜日(不定期)
さんまるしぇ	委託販売
コハナ	委託販売
区役所販売	月１～2 回
あいアイ館販売	月１回
ス～ハ～マーケット	随時
アロハクリニック	随時
公益財団法人小原白梅育英基金	随時
医療法人社団プラタナスイーク丸の内	随時
その他個人注文	不定期

（表 151）革班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
さんまるしぇ	委託販売
コハナ	委託販売
ス～ハ～マーケット	随時
その他個人注文	不定期

（下目　表 5）印刷班受託先

受注先	作業内容
目黒区	めぐろ区報デイジー版、名刺、封筒など
国立病院機構東京医療センター	カレンダー
城南職業能力開発センター	受講票、修了証
目黒区手をつなぐ親の会	名刺など
八ツ目や　にしむら目黒店	名刺、ショップカード、商品説明カード
その他個人注文	名刺、封筒、ショップカードなど

（下目　表 6）受注班受託先

受注先企業名	作業内容
株式会社ノバコローナ	包装、梱包など
天恩山五百羅漢寺	財布解体など
株式会社 C.R.F	組立、袋詰など
プリメーラ株式会社	組立、袋詰など
株式会社ササオカヤ	シール貼り、袋詰めなど
株式会社あそ商事	箱の組立、箱詰めなど
有限会社並川平兵衛	和紙のしわ加工など
目黒区	高齢者住宅清掃

（下目　表 7）工賃支給状況

月	支払総額	最高額	最低額
4 月分	218,640	6,480	800
5 月分	226,560	6,400	1,600
6 月分	250,800	7,200	1,600
7 月分	222,320	6,400	1,600
8 月分	235,560	6,800	1,600
9 月分	219,680	6,400	4,000
10 月分	235,440	6,800	4,400
11 月分	185,320	5,600	3,600
12 月分	183,600	5,600	3,080
1 月分	191,320	5,600	4,320
2 月分	204,200	6,000	4,000
3 月分	229,640	6,800	4,800
調整手当	2,197,700	64,304	41,966
計	4,800,780		
平均工賃月額（※）	11,698	※平均工賃月額 算出方法 支給総額計÷1 日平均利用者数(34.2 人)÷12 か月	

④ 就労支援

利用者の障害特性やニーズに応じて、職場見学などを実施しますが、本年度は実績がありませんでした。

⑤ 生活支援

生活に身近な園芸や芸術活動などを通じて、その人らしい表現活動を支援しました。

（下目　表 8）生活芸術活動

クラブ名	内 容
アート	絵画や音楽などで個性や感性を表現する活動で、作成した作品を展示、出品するなどして、達成感や社会性の醸成を図っています。
園芸	自然を対象とした意識の醸成を図るため、植物を育てる園芸活動を行っています。
自治会	利用者自らが、工房に関係することがらを自ら企画、立案、実行する活動で、地域との交流を深めることなども実施しています。

⑥ 余暇支援

クラブや外出活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験の拡大に向けた支援を行いました。

（下目　表 9）クラブ活動

クラブ名	内容
カラオケ	カラオケを利用して、各自がリラックスして歌を楽しめる活動
散歩	さまざまな場所に出かけ心身のリラックスを図る
スポーツ	卓球・ボーリング・バッティング等を楽しみながら体を動かす
よりあい	本人の希望・興味・関心のあることを通して充実した時間を過ごす

（下目　表 10）主な行事

月	行事名
4 月	家族懇談会
5 月	防災訓練、サービス向上委員会
6 月	一日外出
7 月	一日外出、健康診断、家族懇談会
9 月	防災訓練、家族懇談会
10 月	サービス向上委員会
11 月	宿泊体験、砧ふれあいスポーツ
12 月	宿泊体験
1 月	防災訓練
2 月	防災訓練、サービス向上委員会
3 月	サンクスイベント（あすなろまつり代替行事)、家族懇談会

⑦ 食事サービス

栄養士の指導管理の下、調理委託業者と連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食などの提供を行いました。

⑧ 健康管理

利用者の健康に配慮して、定期健康診断の他、月 1 回の精神科医及び整形外科によるカウンセリングを実施しました。

⑨ 送迎サービス

送迎バスにて自宅等から工房までの送迎を行いました。

（2）利用時間外活動支援事業（日中一時支援事業）

障害者通所支援事業終了後における障害者の活動の場を提供するとともに、共働きやひとり親等の障害者世帯の就労を支援することを目的として実施しました。

① 活動支援

本人状況及び要望等を把握し、利用者の意向を踏まえたうえで各種活動を提供しました。

② 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の必要な支援を行いました。

（下目　表 11）利用状況　定員：10 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		20	20	22	20	22	20	21	20	19	18	19	20	241
契約者数		3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
内訳	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	女	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
延利用者数		51	49	58	49	51	56	54	54	50	49	48	54	623
1 日平均利用者数		2.6	2.5	2.6	2.5	2.3	2.8	2.6	2.7	2.6	2.7	2.5	2.7	2.6

4　運営管理

（1）会議

施設の意思決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当者会議を設置し、計画的に業務を進めました。

（下目　表 12-1）障害 4 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 4 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

（下目　表 12-2）施設内会議

会議名	内容	開催回数
総括会議	事業全体、作業活動の総括	年 1 回
運営会議	施設運営	月 1 回
商品開発等会議	工房の商品開発等の計画	随時
職員会議	事業全般	隔週 1 回
ケース会議	個別支援計画	各利用者年 1 回
給食会議	給食サービス全般	隔月
バス担当者会議	バス運行に関する全般	月 1 回

（2）委員会

（下目　表 13）各種委員会

委員会名	内容	開催回数
サービス向上委員会	サービス全般	年 3 回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月 1 回
虐待防止委員会	虐待防止対策の確認	月 1 回
身体拘束適正化委員会	身体拘束の問題意識の共有	年 2 回

（3）研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、職場内研修も随時実施しました。

（下目　表 14-1）外部研修

研修名	主催者	参加人数
社会福祉士実習指導者講習会	東京社会福祉士会	1
日本赤十字社救命講習会	日本赤十字社	1
食品衛生責任者講習会	東京都食品衛生協会	1
食品衛生実務講習会	東京都食品衛生協会	2
特定給食管理講習会	目黒保健所	1

（下目　表 14-2）法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
新任職員研修	1
サービス専門職A7 年目研修	2
総合職 4 年目研修	1
指導職 2 級昇格者研修	1

（下目　表 14-3）施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員オリエンテーション、 OJT 研修	施設長、チーフリーダー、リーダー他	3
防災研修	東京都福祉保健局(WEB 研修)	18
感染症・食中毒対策研修	東京都福祉保健局(WEB 研修)	18
虐待防止研修	大学講師	18

（4）苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知しました。また、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

（下目　表 15）苦情件数

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
苦情件数	0	2	1
要望件数	2	0	0

（5）事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

（下目　表 16）事故・安全対策・ヒヤリハット件数

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
事故件数	13	12	20
ヒヤリハット件数	3	3	2

注１）令和５年度より事故件数の集計基準を、健康等に係わるものとして見直しました。

（6）防災対策

消防計画に基づき、年間 4 回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

（7）利用者・家族等の声を反映

利用者家族等との適切な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に電話連絡等で情報交換に努めました。サービス向上委員会では利用者代表と意見交換を行いました。

（8）地域との連携

工房前での販売活動（水曜日除く、土曜日）が定着し、地域における施設の活動の認知度が高まりました。

（9）ボランティアの受入

（下目　表 17）ボランティア活動状況

活動月	内容	人数
随時	印刷班作業活動補助	40
随時	菓子班作業活動補助	160

（１０）実習生、研修生の受入

（下目　表 18）実習生等の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
日本体育大学	保育実習	2	20
武蔵野大学	社会福祉士現場実習	2	24
合　計		4	44

（下目　表 19）特別支援学校等施設体験生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
田園調布特別支援学校（3 年生）	進路検討に向けた実習	2	10
青鳥特別支援学校（3 年生）	進路検討に向けた実習	2	10
田園調布特別支援学校（2 年生）	進路検討に向けた実習	1	5
港特別支援学校（2 年生）	進路検討に向けた実習	1	5
ゆたかカレッジ	進路検討に向けた実習	1	5
その他（企業就労者）	進路検討に向けた実習	1	5
合　計		8	40

（１１）職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

（１２）福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、指定管理施設は各施設において 3 年毎に第三者評価を受審しています。

評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

（下目　表 20）評価結果

特に良い点	・利用者・家族や職員意向を業務改善等につなげている。 ・適宜アセスメントを丁寧に行い、利用者の課題を場面ごとに分析し明示している。 ・工程の細分化で、一人ひとりの力が発揮できるように支援し、活躍の場をつくっている。
更なる改善点	・キャリアパスの理解度について、職員間のバラつきの要因を分析するとよい。 ・利用者の情報を職員間で共有化しているが、そのための会議を効率化するとよい。 ・必要に応じマニュアルを見直しているが、不十分なものもあるので定期的に見直すとよい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

第８　みどりハイム

みどりハイムは、児童福祉法に基づく母子生活支援施設として以下の事業を行いました。

新型コロナに係る所定の感染予防対策は、年間を通して、徹底して実施しました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 関係機関と連携した支援の強化を図ります	母子保護の決定を行う子ども家庭支援センターとの、情報共有・相談は適宜行いました。（主に、電話・月例報告） その他の関係機関（保育園・学校・児相・放課後等デイサービス等）とも、連携を図りました。特に、区外への退所時には、転出先の関係機関と事前に情報共有、母子の関係機関への訪問に同行するなど丁寧な引き継ぎを行いました。
(2) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	職場内研修では、支援力アップ講座（全６回）を実施。トラウマインフォームドケアと愛着障害とトラウマについて、知識の習得と事例検討を行いました。 スーパーバイザーによる専門研修を年５回実施し、事例検討を通して、支援内容の見直しや振り返りを行いました。また、こどもの意見表明権について学び、日常の児童への支援を振り返る機会となりました。 伝達研修は、開催方法の見直しを行いながら実施しました。 他の母子生活支援施設と合同で、家計相談支援に関する研修を行いました。（全３回）今後、家計相談支援マニュアルを作成する等、職員間で共有を図ります。
(3) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	児童虐待防止マニュアルに沿って、母子の様子を適切に把握し、状況に応じて母子の関係調整や子の保育を行うなど、虐待の予防・防止に努めました。
(4) マニュアル・業務標準書等の新規作成及び点検・見直しを定期的に実施します。	「子どもの安全計画」を作成し、職員間で共有を図りました。 大規模災害発生時の BCP についても、研修会に参加するなど、見直しを開始しました。その他のマニュアル・業務標準書等については、横断的に点検・見直し・改訂を行いました。
(5) 母子生活支援施設の入所者への支援にとどまらず、地域で生活するひとり親家庭への支援を推進します	入所世帯の退所時の児童との面談については計画的に実施しました。 退所世帯へのアフターケアについては、各種相談に加え、行事への招待や食支援を行いました。 地域で生活するひとり親家庭への支援については、コロナ禍で中止していた、「ママのためのヨガ教室」を特別養護老人ホーム中目黒の地域交流スペースで再開することができました。また、みどりキッズクラブ（子どもの居場所）、食支援など、地域の関係団体のご協力を得ながら進めました。

２　第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
様々な個別状況に対応できるよう就労支援の見直しを行います	プレ就労支援の一環として、ほっとサロン（日中活動・趣味活動の場）を毎週水曜日の午前中開催しました。 また、下目黒福祉工房の協力により、ボランティア活動への機会も得られています。

3　母子生活支援施設の支援

利用者個々と自立支援面談を行い、職員と利用者が共同で「自立支援計画」を作成し、それに沿っての自立支援を実施しました。計画作成後は適宜見直し面談も行い、計画の進捗確認を実施しました。また、退所後も、必要な支援（相談・訪問など）を実施しました。

（母子　表 1）入退所状況（各月の末日現在）定員：20 世帯

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
退所	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4
世帯数（月末）	14	13	13	12	11	11	11	11	10	10	10	11	
利用者数（月末）	35	31	31	29	27	27	27	27	25	25	25	27	
うち児童数	21	18	18	17	16	16	16	16	15	15	15	16	
（男）	(10)	(8)	(8)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(8)	
（女）	(11)	(10)	(10)	(10)	(9)	(9)	(9)	(9)	(8)	(8)	(8)	(8)	
（幼児）	7	7	7	6	5	5	5	5	5	5	5	6	
（小学生）	11	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	
（中学生）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
（高校生）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
（その他）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

（1）相談支援

子育て、健康、就労、そのほか生活全般における様々な相談を受け、必要に応じて支援を行いました。

（2）子育て支援

①　補助保育

母親の就労時間中や体調不良時等に補助保育を実施しました。また、乳幼児の体調不良時に、母親が外出しなければならない時には病児保育を実施しました。

（母子　表 2）幼児補助保育・病児保育実施状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
補助保育	15	17	21	20	25	19	28	35	40	30	21	33	304
病児保育	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

②　保育ルーム

乳幼児の交流と家事援助を目的として、週 1 回程度、夕食準備時間に乳幼児を対象に保育ルームを開催しました。

（3）児童への支援

下校後及び土曜日の遊び、学習の場として学習室を開放し、職員がともに過ごしました。季節に合わせた行事を実施し、児童同士が協力し合う経験の場、達成感を味わえる場としました。平日の 17 時から 18 時は、学習の時間としました。

また、児童による子ども会議及び夕食会を毎月開催し、施設内での生活などについてみんなで考える機会をつくりました。

さらに、「話意話意の会」（個別面談）を行い、個別の意向や希望の聞き取りを行い、児童自立支援計画書の作成に反映させました。

（4）生活への支援

緊急時の家庭用品の貸し出し、居室片付け手伝い、不在時の荷物預かりや代引き受け取り、買物の代行、家計管理、諸手続き支援など、個々の状況に応じて支援しました。

また、必要に応じて関係機関及び医療機関と連携、連絡調整を行い支援につなげました。

（5）健康とこころへの支援

月 1 回程度、嘱託医による健康相談を実施しました。利用者健康診断については年 2 回実施しました。（春は外部医療機関、秋は嘱託医）

また､専用の面談室において､心理療法担当職員による心理療法､遊戯療法等を実施しました。

（6）食支援

エコライフめぐろ推進協会とフードバンク目黒のご協力を得て、利用者・退所者・ひとり親学習支援事業参加児童世帯を対象に、毎週木曜日等に食品、菓子類等を配付する「ミニミニパントリー」を開催したり、日曜日に生鮮食品の配布を行ったりしました。

（7）就労支援

母親の就労に向け、履歴書、職務経歴書の作成指導、ハローワークの求人情報等の提供及び就労に関しての相談等を実施しました。

ボランティア講師によるパソコン教室を実施しました。（全6回、延べ11名参加）

（8）退所後のアフターケア

退所面談の際に退所後の連絡を取ることについて事前確認の上、アフターケアを実施しました。主に手紙や電話などを利用し、就労や母子の健康、児童の様子などを聞き、相談を受けました。

（母子　表3）アフターケアの件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	37	28	23	43	44	38	45	30	56	33	17	31	425

（母子　表4）主な支援内容及び支援方法

主な支援内容	主な支援方法
〔母親への支援〕 メンタルサポート、病院同行、引っ越し後の整理等、 各種生活相談、関係機関調整等 〔児童への支援〕 学習支援、放課後活動等、行事招待、心理療法、遊戯療法	・電話 ・訪問（同行） ・来所

（9）みどりハイム便り

毎月 1 回発行し、月間予定や前月の行事等の報告、その他連絡事項の広報に努め、子どもの通っている関係機関及び法人内各施設に配布しました。

（１０）利用者懇談会

4月と10月に開催。利用者と職員はもとより、利用者同士の交流の機会としました。

利用者、職員ともに自由に意見が言えるような雰囲気作りに努めました。

（１１）合同研修会

NPO法人シーボウル海の教室のご協力を得て、「赤ちゃん・子どもの救命/応急手当講座」を実施しました。

4　各種行事等の実施

年間計画に沿って、対象者ごとの行事を実施しました。

（母子　表 5）主な実施行事

月	行事名	行事の内容等
4 月	進学・進級おめでとう会	小学生以上・キッズクラブ児童対象：世田谷公園
5 月	子どもの日行事	未就学児：スリッパデコレーション工作・紙粘土
6 月	お泊まり会	小学生以上：コロナ禍のため中止
7 月	七夕飾り	全利用者：七夕飾り
	納涼会	全利用者・退所者：縁日（ゲーム）・お弁当配布
	児童キャンプ（日帰り）	小学生以上・退所児童：落合キャンプ場（あきる野市）　川遊び
8 月	夏休み児童活動（工作）	小学生以上・退所児童・キッズクラブ児童：スノードーム製作
9 月	地域祭り参加	全利用者：町会の子ども神輿に参加
10 月	ハロウィン	全利用者・退所者・キッズクラブ児童： 仮装・写真撮影コーナー設置
11 月	母子遠足	全利用者・退所者：千葉こどもの国　キッズダム
12 月	お楽しみ会	全利用者・退所者：100 万人のクラッシックコンサート（バイオリンとピアノの生演奏）・ビンゴ大会
	子ども大掃除&忘年会	小学生以上・キッズクラブ児童：学習室の大掃除・林試の森公園
2 月	豆まき	全利用者：鬼打豆の配布
3 月	ひなまつり	全利用者：ひなあられの配布

注 1）キッズクラブ児童：みどりキッズクラブに参加している児童

注 2）銭湯行事(男子小学生対象)は、4 月～11 月まで 7 回実施。(延べ参加者数 9 名)

注 3）子ども会議夕食会（小学生以上・キッズ対象）は、全 10 回実施しました。

5　緊急一時保護（1 室）

今年度は１件、７日間の受け入れを実施しました。

（母子　表 6）緊急一時保護世帯数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
入所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延利用日数	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7

6　運営管理

（1）会議・委員会

職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を図るための意見交換並びに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

（母子　表 7）各種会議・委員会

会議名	内容	開催日
運営会議	施設運営方針・事業計画等の進捗管理 施設全体に係るケース検討 自立支援計画・行事等の進捗管理	毎月 1 回
職員会議	運営・業務全般に関する事項の検討、事業計画等の進捗状況確認、月間予定、経営・運営会議等報告	毎月 4 回
個別ケース会議	全ケースの状況確認、具体的な支援内容の確認	週 1 回
調整会議	ケースの月例報告及び所管との連絡調整	毎月 1 回
利用者支援調整会議	全ケースのケース検討	年 2 回
感染対策会議	感染症発生時の対策を検討・実施、感染予防研修の開催	適宜
人権・苦情解決委員会	苦情・要望の検討・解決、人権研修開催	年 4 回
防災委員会	訓練内容の検討・訓練を実施	年 4 回
事故防止委員会	ヒヤリハットの検討等	年 4 回
研修委員会	施設内外研修の企画・運営	毎月 1 回

（2）研修

東京都、東京都社会福祉協議会、その他の関係団体が実施する研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、平成 22 年度後期から実施している、同一講師によるスーパーバイズを受けました。

（母子　表 8-1）外部研修

研修名	主催者	参加人数
新任職員研修会	東京都社会福祉協議会　母子福祉部会	1
最新の離婚前後の法律手続き・法律知識（WEB 研修）	東京都ひとり親家庭支援センターはあと	1
相談員・職員のための基礎講座	東京ウィメンズプラザ	1
DV サバイバーと協働するための支援者トレーニング	公益財団法人東京 YMCA	1
職場内研修担当者研修（WEB 研修）	東京都社会福祉協議会	1
関東ブロック母子生活支援施設研究協議会	関東ブロック母子生活支援施設協議会	1
児童福祉施設における専門的対応とは	東京都社会福祉協議会	1
BCP 作成研修	東京都福祉保健局	2
全国母子生活支援施設職員研修会（WEB 研修）	全国母子生活支援施設協議会	1
母子生活支援施設における家計相談支援研修	東京都社会福祉協議会　母子福祉部会他	3
子どもが安心できる施設作り	東京都社会福祉協議会	1
困難を抱える親子への寄り添い方	東京都ひとり親家庭支援センターはあと	1
子ども・子育て全国フォーラム 2023	全国社会福祉協議会	1

（母子　表 8-2）法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
入社 2 年目研修	1
サービス専門職A9 年目研修	1
指導職 2 級 5 年目研修	1

（母子　表 8-3）施設内研修

研修名	講師	参加人数
スーパービジョン（6 回）	立正大学大学院心理学研究科 片岡　玲子　氏	各回 7～8
職場内研修（支援力アップ講座　全 6 回）	みどりハイム　各職員	各回 6～8
防犯研修（不審者対応）	防災担当職員	8
人権研修（子どもの意見表明権について）	少年指導員	9
システム・セキュリティ研修	システム担当職員	7
感染症研修（感染性胃腸炎について）	衛生担当職員	7

（3）苦情・要望

苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、苦情対応規程に基づき対応し、その内容を施設内に掲示することにしています。

苦情処理の手続きについては、利用者へは懇談会及び掲示、職員へは苦情解決委員会にて周知を図りました。

苦情解決第三者委員の活用については、委員の定期訪問と年間苦情情報の報告をしました。

（母子　表 9）苦情・要望の件数

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
苦情件数	0	0	0
処理件数	0	0	0
要望件数	3	1	0

（4）事故防止と事故発生時の緊急対応

事故防止委員会を中心に、ヒヤリハット等にて支援時における利用者の事故防止に努めました。

（母子　表 10）事故の件数

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
事故件数	0	2	1
ヒヤリハット件数	16	11	14

（5）個人情報保護

事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、個人情報を取り扱いました。また、新入所者には個人情報使用の同意を取りました。

個人情報の開示請求について、今年度申請はありませんでした。

（6）防災・防犯対策

消防計画に基づき、所定の避難、消火等の訓練及び夜間(想定)訓練を毎月実施しました。消防設備点検を 6 か月毎に実施しました。

また、DV 加害者の追跡を想定した防犯訓練を実施しました。

（母子　表 11）防災訓練実施状況

実施内容	回数
避難訓練	12
消火訓練	12
通報訓練	1
地震訓練	2
継走訓練(メール等)	2
夜間(想定)訓練	4
大規模災害想定訓練	1

（7）ボランティアの受入

パソコン教室開催時に、ボランティア講師を依頼しました。児童行事のボランティア（主に学生）の受け入れも行いました。

（8）実習生の受け入れ

地域貢献及び福祉人材育成の一環として、各種実習生を受け入れました。

（母子　表 12）実習生受入状況

実習依頼校	実習目的	実人員	延日数
品川区社会福祉協議会	社会福祉士	1	8
聖徳大学幼児教育専門学校	保育士	1	11
日本女子大学	保育士	1	12
こども教育宝仙大学	保育士	1	12
高崎福祉医療カレッジ	社会福祉士	1	24
鶴見大学短期大学部	保育士	1	11
昭和女子大学	社会福祉士	1	23
東京学芸大学	社会福祉士	1	8
淑徳大学	社会福祉士	1	23
羽田幼児教育専門学校	保育士	1	11
品川区社会福祉協議会	社会福祉士	1	23
日本児童教育専門学校	保育士	1	12
大妻女子大学	社会福祉士	1	23
明治学院大学	公認心理士	16	1
合　計		29	202

（9）目黒区ひとり親家庭学習支援事業

地域貢献の一環として、目黒区ひとり親家庭学習支援事業の小学校高学年の会場として、集会室の貸し出しを行いました。令和 5 年 7 月から令和 6 年 3 月までの間に、全 40 回実施し、登録児童数は 8 名でした。

（１０）地域貢献事業

地域のひとり親家庭の児童の放課後支援の場として、「みどりキッズクラブ」を実施しました。

開始８年目を迎え、在所児童・キッズクラブ児童の双方にとって有意義な活動となりました。

（登録児童数 年間 4 名）

区内在住の 0～1 歳 6 か月未満児の母親を対象にした、保育付きの「ママのためのヨガ教室」を、特別養護老人ホーム中目黒の地域交流スペースにて開催し、5 組の母子の参加がありました。

（１１）新型コロナと感染症対策

事業全般にわたり、目黒区や保健所の指導の下、新型コロナの感染症予防対策を講じ実施しました。

（１２）福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、3 年毎に第三者評価を受審しています。今回の評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

（母子　表 13）　福祉サービス第三者評価結果

特に良い点	・自立支援計画作成のためのアンケートを行い、自立に向けた課題と計画への認識を深めている。 ・行事を地域の子どもも対象にして行うなどで、施設の子どもが地域の子どもとして自覚して成長していくことに寄与している。 ・職員の研修受講予定や超過勤務の状況、休暇の取得状況等を把握して勤務表を作成するなど、きめ細やかな人事管理等をしている。
更なる改善点	・区と協議し、施設機能を活かした短期入所や産前産後ケア等の付帯事業を導入して、地域の期待に応える施設とするとよい。 ・行事等を実施する際に子どもたちのアイデアを引き出し、子どもたちがさらに主体的に関われるよう工夫するとよい。 ・新入職員には現在の「新入職員テキスト」に基本的なマニュアルを加えて、さらに業務の標準化を図るとよい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

第９　西部包括支援センター

地域包括支援センターは、介護保険法に基づく包括的支援事業及び指定介護予防支援事業を行いました。介護予防ケアマネジメント事業の実施に当たっては、公正・中立性を確保し事業を行いました。

令和５年５月から新型コロナの取り扱いが５類となりましたが、感染対策を継続した上で通常業務を行い、地区における各研修会や懇談会等は対面方式にて開催することができました。区が主催する各研修等についても、オンライン等による新たな手法も活用しながら円滑な運営に努めました。

１　令和５年度重点項目の具体的な取組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 区の方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に取り組みます	断らない相談支援体制を整え、地域住民に身近な相談支援機関を担うべく、高齢者を中心として子どもから障害をもつ人まで、ワンストップでの対応に取組みました。また、地域の実態把握訪問（アウトリーチ）手法にて課題を抱えた方々の早期発見に努め、相談支援力の強化にも努めました。 町会長、民生児童委員、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー、地域の介護関係者を含め地域の特徴や課題について情報共有や意見交換を行ないました。 各種研修会（多職種研修会、在宅療養、認知症支援、介護予防等に係る事柄）を計画的に企画し開催しました。
(2)地域ケア会議の充実に取り組みます	「その人がいつまでも在宅生活を送るには」との視点で、各専門職と効果的な検討を行い、自立支援やケースを通して地域で不足している資源など地域課題に係る事柄について検討し、問題を整理・明確化し、区が主催する地域ケア推進会議開催に協力しました。
(3) 誰もが気軽に相談し利用できる地域包括支援センターを目指し、取り組みを継続します	自由が丘、大岡山西、東根住区センターの三カ所での出張相談を開催し、地域住民の利便性を図り、包括の認知度向上に努めました。 商店街、マンション集合住宅への訪問も積極的に行ない、地域住民の身近な相談窓口であることの周知に努めました。 当センターリーフレットや広報誌の配布、ホームページの活用を行ない、取組んでいる業務内容等の掲載を継続しました。
(4) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	職員の受講状況に合わせて、計画的に都や区が主催する各研修会へ参加しました。また、所内研修として（人権、個人情報保護、情報セキュリティ研修)を継続実施しました。 当センターが主催し、事業団内の介護支援専門員現任研修、対人援助研修を実施し、専門職の資質向上に努めました。

2　サービス内容（包括的支援事業）

総合相談支援事業

高齢者、障害をもつ人、子ども、生活困窮者、在宅介護及び療養している人々が、住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続できるよう、相談を受け止め、関係機関と連携を図りながら、きめ細かな相談支援に取組みました。

下記の業務を区の方針及び事業計画に基づき実施しました。

（1）総合相談業務

（西部 表 1-1）
総合相談種別

区分	件数
新規相談	937
継続相談	6,094
口頭相談	1,382
合　計	8,413

（西部 表 1-2）
総合相談方法

区分	件数
来　所	1,818
電　話	5,212
訪　問	1,130
その他	253
合　計	8,413

（西部 表 1-3）
総合相談の新規相談者(重複計上)

相談者	件数
本　人	298
家族・親族	479
民生委員	40
ケアマネジャー	73
近隣・知人	27
医療機関	43
CSW	1
その他	109
合　計	1,070

（西部 表 1-4）相談内容（重複計上）

		件数
Ⅰ　総合相談	介護等の相談	3,131
	施設入所	616
	疾病・医療	1,365
	訪問保健相談	21
	ひとりぐらし相談	282
	経済的問題	184
	家庭関係	293
	住宅	165
	介護保険	2,868
	見守り・安否確認	734
	行政サービス等	69
	実態把握訪問	413
	公的サービス外の案内	32
	日常的な生活相談	345
	認知症に関わる生活相談	205
	ひきこもり	12
	その他	125
	小計	10,860

		件数
Ⅱ　権利擁護	高齢者虐待	182
	消費者被害	23
	成年後見・日常生活自立支援事業	304
	老人福祉法に基づく措置	1
	相続・遺言	22
	その他	92
	小計	624
Ⅲ　介護・日常生活支援総合事業	一般介護予防	145
	予防給付、サービス事業対象	216
	小計	361
計		11,845

（西部　表 1-5）出張相談

会場	開催回数
東根住区センター	偶数月第３火曜日午後
大岡山西住区センター	奇数月第３火曜日午後
自由ケ丘住区センター	奇数月第2水曜日午後

（２）実態把握業務（アウトリーチ）

民生児童員、近隣住民や各店舗等から「気になる方々」として連絡をいただいたケースについては、当センター職員が自宅訪問を行い生活課題がある場合には、関係所管とも連携し、課題解決に努めました。また、東が丘１丁目（320 名）、自由が丘３丁目（220 名）を対象に、事前に訪問する旨の手紙と簡単なアンケートを配布し計画的に実態把握を行いました。また、終了後には各町会において町会長、民生児童委員、コミュニティソーシャルワーカー、実施地区の介護保険事業所の職員等を交え状況について情報共有と地域課題についての意見交換懇談会を開催しました。

（３）地域におけるネットワーク構築業務

新たな当センターリーフレットを区内関係機関、団体、店舗等へ訪問にて配布し、当センターの周知と情報交換を行なうなど、支援に係る事柄についてスムーズに連携が行えるよう関係づくりに努めました。また、年度内２回、関係機関連携会議を開催し、介護、医療、金融機関、店舗等、地域に存在する関係者と意見交換の機会をもち、地域共生社会に向けた活動を実施しました。

令和５年度も引続き地域のマンション、集合住宅住民との懇談会を上半期・下半期の２回開催しました。18 カ所の集合住宅から住民の参加者があり、碑文谷警察、目黒消防署の方々にも来て頂き、「孤立死、認知症、消費者被害、防災など」について懇談を行いました。

地域に「新たな居場所づくり」の為の活動に取組み、寺院内の団信徒会館を、地域に開かれた活動の場として有効活用する運びとなり、「新たな居場所づくり」として地域住民から賛同者を募り、毎月、活動内容についての話合いを開催し、令和５年度は定期的に各プログラムを作成し、計４回の催し物を開催しました。

（4）認知症総合支援事業（サポーター養成講座等）

令和５年度は地区内にある寺院の団信徒会館を活用させて頂き、東京医療センター医師の協力を得て認知症に係る区民向け啓発講座の定期開催を実施しました。

地域住民に身近な住区センター及び町会会館においても地域住民、警察、介護事業所、金融機関等の関係者を招き、「認知症になっても地域で暮らし続けられるために、地域でできること」をテーマとして認知症への理解と対応方法等についての勉強会を開催しました。認知症に係る住民も含めた多職種間での啓発活動は今後も継続する予定です。

毎年恒例である小学校でのサポーター養成講座についても、宮前小学校６年生を対象に実施し、一般区民向けの講座も年度末に八雲住区センターにて開催しました。

3　高齢者虐待防止・早期発見等権利擁護事業

目黒区福祉総合課、権利擁護センターめぐろ、障害支援課等の関係機関と協力・連携しながら以下の項目に対応しました。また、高齢者虐待防止等の啓発活動の一環として地区虐待対応研修会については地区の民生児童委員及び介護支援専門員を対象に目黒区障害支援課身体障害者相談の協力を得て、「障がい者の虐待防止」に視点を置き、中根住区センターレクリエーションホールにて開催しました。

○ 通報及び届け出の受理・確認
○ 関係機関等との連携・協力
○ 養護者に対する相談、指導及び助言
○ 高齢者虐待防止等の啓発
○ その他(成年後見・任意後見制度、相続、債務整理、遺言、遺族年金手続きなど)

（西部　表 2）権利擁護事業処理件数

		件数
高齢者虐待	相談・支援シート作成	16
	コアメンバーミーティング、個別ケース会議	33
消費者被害	消費者生活センター	1
成年後見・日常生活自立支援事業	権利擁護センター	8
	区長申し立て	0
老人福祉法上の措置	やむを得ない事由による措置	1
	養護老人ホーム入所措置	0

4　包括的・継続的ケアマネジメント事業

多職種の協働と関係機関との連携により、相談者個々の状況に応じた包括的・継続的なケアマネジメントと居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの支援方法等に対する相談に対して個別支援に努めました。 また、包括ケアシステムの深化を具体化するため、地域住民も含めた多職種間での研修会の開催や金融機関や商店各専門職間での多職種連携会議を定期開催し、ネットワーク強化に必要な具体的事項について共に考える機会を設け連携強化を図りました。

○ 地域包括支援ネットワークの構築
○ 介護支援専門員に対する個別支援
○ 地域ケア個別会議の開催及び区主催する地域ケア推進会議への協力

（西部　表 3-1）個別支援相談件数

区分	件数
新規相談	4
継続相談	231
口頭相談	22
合　　計	257

（西部　表 3-2）個別支援相談方法

区分	件数
来　　所	43
電　　話	207
訪　　問	4
そ の 他	3
合　　計	257

（西部　表 3-3）個別支援相談内容（重複計上）

	件数
担当ケースの支援方法に関すること	234
介護保険の制度・運用に関すること	14
地域資源に関すること	8
職場・服務に関すること	3
在宅療養に関すること	0
その他	9
合　　計	268

（西部　表 3-4）地区研修会開催状況

開催回数	参加人数（延べ）
14	596

5　地域ケア個別会議

事例提供者（地域の居宅介護支援事業所、ケアマネジャー）の参加、医師、他の専門職である検討委員はオンラインにての参加方式による地域ケア個別会議を開催し､｢その人がいつまでも、そこに住み続けるためには」という視点で個別課題解決、地域支援ネットワークの構築、ケアマネジメント質の向上、地域課題の発見に取り組みました。（※事例検討は毎回 2 事例実施）
また、上記、内容を整理し区が主催する地域ケア推進会議に協力をしました。

（西部　表 4）　地域ケア会議開催件数

個別会議	推進会議
2	1

6　介護予防ケアマネジメント

各介護予防教室（手ぬぐい体操等）にて勧奨が必要と判断した方々に対し、示された手順により各事業への参加申し込みを行いました。また、参加状況の確認、終了後のフォローとして、住民主体の介護予防活動や民間サービス等の適切なサービスの提供と自主活動グループ化への後方支援に努めました。

予防給付及び平成 28 年度から実施された介護予防・日常生活支援総合事業（サービス事業対象者、要支援 1、2 対象）利用者に対し、適正な介護予防ケアマネジメントを提供しました。

利用者アンケートを実施し、利用者とその家族の意見、要望、思いを把握しサービス提供の改善に努めました。

（西部　表 5）　短期集中予防サービス参加申し込み取扱い件数（延べ）

短期集中予防サービス	件数
【訪問型・通所型（グループ型・個別方）】	60

（西部　表 6）　介護予防ケアプラン作成件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
総	170	170	170	172	163	163	176	173	174	169	169	174	2,043
予	230	238	236	234	237	242	246	242	250	247	257	259	2,918
委	153	160	156	157	156	154	160	158	160	159	163	157	1,893

注）予＝予防給付（指定介護予防支援事業）

注）総＝介護予防・日常生活支援総合事業（第１号介護予防支援事業）

注）委＝委託作成分。

7　介護保険認定申請の受付等の業務

総合相談業務と連携させて、認定申請等（新規申請、更新申請、区分変更申請）の受付業務を行いました。新型コロナの取り扱いが５類となった影響等もあり、新規の認定申請等が増加しました。

8　高齢者の保健福祉サービスの受付等の業務

総合相談業務と連携させて、一人暮らし登録、訪問食事サービス・食事サービス（訪問調査、安否確認を含む）、オムツ現物支給（オムツ代金含む）障害支援に係る受付業務等を実施しました。

（西部　表 7）介護保険認定申請・高齢者保健福祉サービスの受付数

分類	申請書の種類	件数
要介護認定	要介護認定申請書	2,086
	介護保険認定申請取下届	35
	介護保険被保険者証等再交付	2
	介護サービス計画作成のための資料の提供申請書	1,477
	その他（転入継続　等）	240
介護保険給付	居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	506
	小規模多機能・看護小規模多機能サービス計画作成依頼	2
	介護保険住宅改修	4
	介護保険福祉用具購入費支給申請書	0
	高額介護（予防）サービス費支給申請書	1
	福祉用具貸与確認依頼兼確認書	32
	介護保険負担限度額認定申請書	21
	介護保険居宅サービス等利用者負担軽減認定申請書	24
	居宅サービス計画自己作成届出書	5
	介護予防ケアマネジメント依頼(変更)届出書	255
	基本チェックリスト	31
	総合事業 要介護認定申請状況確認票	31
	介護保険負担割合証再交付申請書	19

分類	申請書の種類	件数
介護保険資格	介護保険住所地特例適用・変更・終了届	7
	介護保険被保険者証等再交付申請書	20
	介護保険の転送（新規・変更・終了）申請書	24
介護保険苦情	介護保険苦情対応連絡票	2
	介護保険苦情届	0
介護保険計		4,824
高齢福祉	高齢者在宅支援ヘルパー派遣事業利用申請書兼同意書	0
	ねたきり高齢者理美容サービス申請書	100
	ねたきり高齢者等寝具乾燥消毒サービス申請書	5
	高齢者紙おむつ支給申請書	210
	高齢者おむつ代支給申請書	145
	認知症はいかい高齢者等位置情報確認サービス利用申請書	5
	ひとりぐらし等高齢者登録申請書兼登録台帳	190
	目黒区高齢者病院内介助助成金交付申請	17
	電話訪問（さわやかコール）新規・変更申請書	2
	目黒区訪問食事サービス事業利用申請書	65
	目黒区ひとりぐらし高齢者等食事サービス受給申請書	5
	高齢者火災安全機器設置事業利用申請書	5
	非常通報システム利用申請書	32
	高齢者福祉電話貸与申請書	0
	高齢者家具転倒防止器具取付申請書	0
	高齢者自立支援住宅改修給付申請書	0
	特別養護老人ホーム入所申込書	109
	登録内容変更等異動連絡票	13
	目黒区会食サービス事業利用申請書	4
	目黒区栄養改善配食事業利用申請書	0
福祉総合課	高齢者見守り訪問事業申請書等	1
	訪問保健相談申請書	1
	その他の申請書等	2
健康福祉計画	避難行動要支援者名簿登載希望申請書	0
障害者支援	都営交通無料乗車発行申請書兼更新確認等	26
	有料道路障害者割引申請書兼ＥＴＣ利用申請書等	59
保健福祉サービス計		996
合計		5,820

9　保健福祉の総合相談支援の業務

保健福祉に係わる多様な相談への一次的な対応や、複合的な問題を抱えるケースへのトータルな対応を図るため、すべての区民を対象として、次の業務を行いました。障害福祉、生活福祉、保健、子育て支援、住まい等については、区の対象別の相談支援体制を前提とし、各所管との連携の下に実施しました。

（1）総合案内

パンフレットなどによる一般的な情報提供、相談を受けてのサービス・制度の説明や支援に係る所管窓口の紹介を行いました。

（2）総合支援

福祉ニーズの多様化・複雑化するケースを踏まえ、「制度の狭間」の課題を解決する観点から対象別に各相談支援機関との連携を強化しつつ、主として高齢者に係わるケースの継続的支援を行いました。また、アウトリーチ訪問（実態把握）により、相談者本人が抱える課題のみならず、同居家族・世帯全体が抱える課題の把握に努め、継続的な支援を関係所管と協働し課題解決に努めました。また、通報による安否確認についても、迅速に福祉総合課ふくしの相談係と連携し、緊急対応を行いました。

（3）地域のネットワーク作り

区の見守りネットワーク協力機関の増を図るため、地区の各店舗等へ訪問にて勧奨を行い協力店舗数の確保に努めました。また、多職研修会を通して、地域住民も含めた医療と介護との連携を促進していくための環境・体制作りを行いました。

中根西町会地域連携会議には毎月出席し、情報共有、意見交換を実施し、また、地区内の集合住宅及びマンション管理組合等の方々との懇談会を開催し、地区担当のコミュニティソーシャルワーカーを含め意見交換と情報共有に努めました。

【高齢者以外】

（西部　表 8-1）
総合相談種別

区分	件数
新規相談	3
継続相談	68
口頭相談	163
合　計	234

（西部　表 8-2）
総合相談方法

区分	件数
来　所	47
電　話	159
訪　問	18
その他	10
合　計	234

（西部　表 8-3）
総合相談の新規相談者（重複計上）

相談者	件数
本　人	0
家族・親族	0
民生委員	0
ケアマネジャー	0
近隣・知人	1
CSW	1
その他	4
合　計	6

（西部　表 8-4）総合相談内容（重複計上）

分　類	西　部
障害者	61
子供	6
ひとり親家庭・女性	5
経済的相談	13
医療保険年金等	34
健康・医療（母子）	8
しごと	10
住宅	11
消費者被害等	0
見守り・安否確認	38
疾病・医療	52
在宅療養	3

分　類	西　部
ひきこもり	46
その他	35
合　　計	322

１０　在宅療養支援窓口相談

医療ニーズの高い高齢者や重度の要介護者などが、病院から在宅療養への円滑な移行が進み、住み慣れた地域で安心して継続して在宅療養を受け暮らし続けられるよう医療機関と地域の介護事業とも協働し支援を行いました。※コロナ禍にて、院内カンファレンス開催が困難な場合もありましたが、院内の医療ソーシャルワーカーと電話連絡、書面やオンライン会議等で連絡を密に行いました。認知症相談に対しては「物忘れ連絡票」を適宜、活用し受診、診断が円滑に行えるよう努めました。

（西部　表 9-1）疾病・医療の相談の内訳（重複計上）

	相談者	
	高齢者	高齢者以外
退院支援Ⅰ－退院カンファレンス関係	55	1
退院支援Ⅱ－他職種・家族に連絡	161	
退院支援Ⅲ－病院関係者との連絡・面会	75	
医療処置	13	4
訪問看護・リハビリ	97	4
緩和ケア・ターミナルケア	21	0
かかりつけ医や訪問診療・往診	193	8
入院支援	150	8
転院、施設入所	26	0
介護者支援、家族親族支援	117	7
通院支援(定期・通院手段・初診同行等)	40	0
セルフケア支援	323	6
その他	212	22
計	1, 483	60

（西部　表 9-2）疾患（重複計上）

	相談者	
	高齢者	高齢者以外
がん	207	2
脳血管疾患・神経難病	79	2
内科疾患	393	9
整形外科疾患	130	2
認知症	378	0
若年性認知症	4	0
その他精神疾患	197	35
その他・不明	233	3
計	1,621	53

１１　運営管理

（1）　会議

地域包括支援センター間等で円滑な運営を行うため、区内地域包括支援センターの所長が出席する「5 包括所長会」を以下のとおり開催しました。

区の福祉総合課（地域ケア推進係）主催の地域包括運営連絡会が開催され、5 つのセンターの所長が出席し、運営に係る細かな事柄について検討を行いました。

（西部　表 10-1）区内包括会議

会 議 名	内　　容	開催回数
包括運営連絡会	地域包括支援センター運営に関する検討・調整	月１回
５包括所長会	地域包括支援センター運営に関する検討・調整	月１回
苦情対応委員会	介護保険等に係る苦情について検討・情報共有	年５回
住民主体型介護予防推進チーム会議	介護予防事業業務に関する検討・調整	年３回
社会福祉士実務者連絡会	総合相談支援業務、権利擁護業務に関する検討・調整	年４回
主任ケアマネ実務者連絡会	包括的・継続的ケアマネジメント業務に関する検討・調整	年５回

（西部　表 10-2）所内職種リーダー会議

会 議 名	内　　容	開催回数
リーダー会議	センター事業運営全般の進捗状況確認・検討・調整・決定 センター内の危機管理に関すること（危機管理委員会） センター内の苦情に関すること（苦情処理委員会）	月１回

（2）　研修

東京都主催の地域包括支援センター職員研修や介護支援専門員研修等、関係団体が実施する各種研修・講演会等を積極的に受講し、職員の資質の向上を図りました。

（西部　表 11-1）外部研修

区　分	主な研修名
運営全般	都・地域包括支援センター職員研修（初任者）区・地域包括支援センター職員スキルアップ研修、情報セキュリティ研修、感染症対策研修、ハラスメント研修等
総合相談支援関連	区・健康福祉部合同研修、高齢福祉、精神保健福祉、ひきこもり研修等
介護予防関連	介護予防ケアマネジメントに関する実務者研修、介護予防指導者研修等
権利擁護関連	養護者による高齢者虐待対応研修（基礎・応用）、高齢者虐待対応職員研修、人権研修、ヤングケアラー支援者向け研修等
包括的継続的ケアマネジメント関連	自立支援・重度化防止に向けた主任介護支援専門員研修、目黒区主任介護支援専門員研修、多職種研修、保険者機能強化市町村研修等
認知症関連	都・チームオレンジコーディネーター、認知症対応力向上研修、松沢病院・地域連携を支える人材育成研修、若年性認知症相談支援研修等
在宅療養関連	都・入退院支援研修、区主催オンライン研修 、区西南部リハビリテーション研修、医療と介護の多職種研修等
介護支援専門員関連	都・介護支援専門員研修（専門Ⅰ・Ⅱ）、「保険者と介護支援専門員が共に行うケアマネジメントの質の向上ガイドライン」を活用したケアプラン点検、目黒区介護支援専門員研修（現任・主任）

（西部　表 11-2）法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
指導職 1 級 3 年目研修	1

（西部　表 11-3）内部研修

主な研修内容	講　　師	対　　象
個人情報保護研修	主任介護支援専門員	職員全員
情報セキュリティ研修	区提供 DVD	職員全員
人権研修	社会福祉士	職員全員
介護支援専門員現任研修（２回）	事例検討	包括、ケアプランセンター職員
主任介護支援専門員研修（1 回）	東京都福祉保健局介護保険課主催(WEB 研修)	包括主任介護支援専門員
対人援助研修（1 回）	外部講師	包括、ケアプランセンター職員

（３）苦情・要望

（西部　表 12）苦情・要望件数

		件数
地域包括支援センター委託業務に関する苦情処理	即時対応	0
	連絡表作成	0
介護保険に関する苦情処理	即時対応	4
	連絡表作成	2

（４）実習生・研修生等の受け入れ

看護師実習生（東京医療保健大学生 8 名　2 名一組 1 日間　5/19～6/8）

社会福祉士実習生（日本福祉大学生 1 名 7/7～8/10 武蔵野大学生 1 名 11/13～11/24

首都医校生 1 名 8/23～9/12、2/6～2/29）

別　紙

事業報告の附属明細書について

令和５年度事業報告には、社会福祉法施行規則第２条の 25 第３項に規定する「事業報告に内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

令和６年５月
社会福祉法人目黒区社会福祉事業団